

平成29年度

# 事業報告書

収支決算書

平成29年度

事業報告書・収支決算書

平成29年度

事業報告書・収支決算書

岡山商工会議所

# 2017

岡山商工会議所

# 目次

<b>総括的概要</b>	1
<b>事項別状況</b>	3
<b>I 定款および規約等</b>	3
1. 定款	3
2. 規約（規則・規程）	3
<b>II 組織</b>	6
1. 会員	6
2. 特別会員	9
3. 特定商工業者	9
4. 役員	10
5. 議員	11
6. 委員長等	14
7. 青年部・女性会	15
8. 顧問・参与	16
<b>III 事務局</b>	17
1. 事務局の機構	17
2. 事務局役職員	18
<b>IV 庶務</b>	19
1. 文書	19
2. 表彰・受章	19
3. 慶弔・儀礼（主なもの）	20
<b>V 会議</b>	22
1. 議員総会	23
2. 常議員会	25
3. 監事会	26
4. 部会・委員会	27
5. 小規模事業者経営改善資金審査会	36
6. フルーツパフェの街おかやま実行委員会	36
7. こだわりの逸品「おかやま果実」実行委員会	36
8. 諸会議	37

<b>VI</b>	<b>事業活動</b> .....	41
	1. 平成29年度主要事業 .....	41
	2. 各種事業活動 .....	45
	3. 意見活動 .....	53
	4. 調査研究 .....	64
	5. 広報 .....	65
	6. 証明・鑑定 .....	68
	7. 各種行事 .....	70
	8. 技術技能の普及検定 .....	76
	9. 業者照会 .....	80
	10. 経営改善普及事業 .....	80
	11. 経営安定特別相談事業 .....	83
	12. 中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業 .....	84
	13. 受託・共済事業 .....	84
	14. 情報処理事業 .....	85
	15. 受託事業 .....	85
	16. 補助金申請・採択状況 .....	86
<b>VII</b>	<b>登録</b> .....	87
	1. 法定台帳 .....	87
<b>VIII</b>	<b>会館・事務所等</b> .....	88
	1. 岡山商工会議所ビルディング概要 .....	88
	2. 各階床面積 .....	88
	3. 岡山商工会議所ビル入居者 .....	89
	4. 附帯駐車場の概要 .....	89
<b>IX</b>	<b>関係団体への加入および連繋</b> .....	90
	1. 日本商工会議所 .....	90
	2. 中国地方商工会議所連合会 .....	90
	3. 岡山県商工会議所連合会 .....	90
	4. その他関係団体・企業（主なもの、五十音順） .....	90
<b>X</b>	<b>外郭団体等</b> .....	93
	<b>平成29年度収支決算書</b> .....	95

# 總括的概要



# 総括的概要

## (緩やかな景気回復が続く)

堅調な世界経済を背景に、平成29年度のわが国経済は、上場企業が2年連続で最高益を更新し日経平均株価も26年ぶりに2万4,000円台を回復するなど、景気拡大期間が6年目に入り、戦後最長も目前となった。岡山県商工会議所連合会が四半期ごとに実施している「岡山県景気観測調査」の当所管内景気動向指数D I（景気の上向き傾向「良い」から景気の下向き傾向「悪い」を差し引いた値）においても、平成10年の調査開始以来、初めて一年を通してプラス（良い超）を維持し、1-3月期には5.9を記録した。しかしながら、大企業と地方の中小企業との格差は拡大傾向にあり、人手不足、後継者不足が深刻化するなど、地域の中小・小規模企業は依然として厳しい状況が続いている。

## (中心部の動きとまちづくりの推進)

岡山市中心部では、新岡山市民会館の建設や駅前町一丁目の再開発など、多くの再開発事業が進んでいる。県庁通りや西川緑道公園筋の「歩いて楽しい道路空間創出事業」も実験から実現段階へと進み、まちなかに人が集う仕組みづくりが整いつつある。また長年の懸案事項であった、路面電車の岡山駅東口への乗り入れ事業も実現に向け本格的に動き出しており、県都岡山の玄関口を中心に、都心が大きく生まれ変わろうとしている。

こうしたなか、当所では今年度、人にやさしい都市交通の推進と地域資源を活用した街の魅力づくりについて学ぶため、トラム（路面電車）を活用し、公共交通の充実と中心部への自動車の流入をコントロールすることで中心市街地の活性化に成功したフランス・ストラスブール市を岡山市や岡山大学とともに視察した。一昨年のアメリカ・ポートランド市視察に引き続き、産官学合同でまちづくりに対する共通認識を深めた。

また、建て替えが検討されている岡山市庁舎について、中四国の防災拠点としての機能を有し、スポーツによる地域の活性化や新たな産業の創出に向けて、アリーナや複合施設等を併設するよう、当所を含む経済界で提言を行った。

## (地域資源を活用した都市の魅力創出と発信)

豊かな自然環境のもと育まれた、歴史や文化、芸術、産物などの地域資源を活かし、都市の魅力づくりと情報発信に取り組んだ。「旭川さくらみちの桜を守る会」は、美しい桜並木を後世に守り継いでいく道筋をつけるという、所期の目的を達成したことから、10年にわたる活動に区切りをつけ、今後は、関係機関とともに岡山城、後楽園を含めた旭川周辺の賑わい創出に一層取り組むこととした。また、第3回目となる「岡山後楽園 春の園遊会」を開催し、岡山市の都市形成に尽力した池田家を顕彰するとともに、岡山後楽園の魅力を県内外へ発信することに努めた。さらに、岡山の強みである果物を活用した「フルーツパフェの街おかやま」や「おかやま果実」事業の取り組みでは、フルーツ王国岡山のイメージ定着や参加事業者の販路拡大を推し進めた。

西大寺地区では、五福通りの町並みを活かした事業を積極的に展開した。レトロ・マルシェの開催は地域に根ざしたイベントに定着しつつあり、また、検討を重ねている重要伝統的建造物群保存地区制度については、当所西大寺地域活性化特別委員会メンバーと地域住民が、有識者から説明を聞くなど制度への理解を深めた。

## (中小・小規模企業支援)

新しいビジネスモデルの台頭やネット販売の出現により、中小・小規模企業は、より複雑かつ多様な経営課題を抱えている。当所では行政・関係支援機関・専門家との連携を一層強化して、迅速で実効性のある経営支援に努めた。当所を代表機関として県内商工団体、金融機関、専門家団体等

57機関とが連携した「岡山県経営支援プラットフォーム」では、創業や新規事業展開、経営革新計画策定支援等の相談に対して、昨年度実績の倍近い104件の専門家派遣を実施した。

また、サービス産業の人手不足が特に顕著となっているなか、新たに「おかやまサービス産業生産性向上支援事業」に取り組んだ。意識啓発のためのセミナー開催に加え、実態把握のためのアンケート調査を実施し、課題に応じた専門家を派遣することで、IT活用や業務フローの改善などの生産性向上を支援した。

金融面から小規模事業者を支援する「マル経資金」では、当所会報や巡回での広報活動に加え、日本政策金融公庫国民生活事業、税理士等との連携を図って精力的に取り組んだ結果、全国515商工会議所の中で、件数ベースで前年度同様第6位、金額ベースではワンランク上昇し第5位となった。

#### **(交流による活力創造)**

昭和61年にアメリカのサンノゼシリコンバレー商業会議所と姉妹会議所縁組を締結し、平成28年に30周年を迎えたことから、岡崎会頭を団長とする経済訪問団をサンノゼに派遣した。シリコンバレーの革新的な企業でイノベーション哲学を学ぶとともに、両会議所は、これまでの交流の歴史を礎に、今後新しい関係構築を目指すことを確認した。また、平成19年に友好交流協定を結び、相互訪問を行うなど交流を深めている韓国・富川商工会議所からは、経済訪問団が来岡。農業機械や飲料の製造企業を訪れ、日本のものづくりを紹介し、今後も両地域の経済的な発展につながる交流を継続していくこととした。

#### **(組織・運営力の強化)**

以上のような幅広い事業を実施し、地域総合経済団体としての責務を果たしていくには、会員事業所の強力な支えがあってこそであり、当所は、組織基盤の拡充に常に努めてきた。会員ビジネス交流会や時宜に応じたセミナーの開催、会報やホームページなどで会員事業所に有益な情報を提供するとともにきめ細かな経営支援を行い、会員サービスの向上を図った。



# 事項別状況







# I 定款および規約等

## 1 定 款

定款の変更はなし。

## 2 規約（規則・規程）

### ① 職員就業規則

平成29年12月1日（金）に開催された第214回議員総会においてメンタルヘルス対策に向けた当所職員就業規則の改正を行った。

#### （1）目 的

当所職員の心の健康を促進し、生産性の向上及び活気ある職場づくりを実現するために「岡山商工会議所心の健康づくり計画」を作成し、当所職員就業規則の中に位置づけるもの。

#### （2）改正箇所

旧 条 文	新 条 文
(健康診断等) 第72条 商工会議所は、採用の際および毎年1回定期、その他必要に応じて健康診断を実施する。 2 職員は正当な理由なくこれを拒むことはできない。 3 所属長は、その所属に係る職員について必要があると認められるときは、医師の診断を受けさせる等必要な措置をとることができる。 4 所定外労働時間が100時間を超え、疲労の蓄積が認められる者が申し出た場合は、医師による面接を行うものとする。	(健康診断等) 第72条 商工会議所は、採用の際および毎年1回定期、その他必要に応じて健康診断を実施する。 2 職員は正当な理由なくこれを拒むことはできない。 3 所属長は、その所属に係る職員について必要があると認められるときは、医師の診断を受けさせる等必要な措置をとることができる。 4 所定外労働時間が100時間を超え、疲労の蓄積が認められる者が申し出た場合は、医師による面接を行うものとする。 5 <u>その他、別に定める心の健康づくり計画により、職員の心の健康づくりを推進する。</u>  附 則 第72条（健康診断等）の改正規則は、平成29年12月1日から実施する。

### ② 育児・介護休業規程

平成29年12月1日（金）に開催された第214回議員総会において育児・介護休業法の改正に伴う当所育児・介護休業規程の改正を行った。

## (1) 目的

育児・介護休業の見直しに伴い、当所育児・介護休業規程を見直し、子が1歳6ヶ月以後も保育園に入れないなどの場合には、申し出により育児休業期間を最長2歳まで延長できることとする。

## (2) 改正箇所

旧 条 文	新 条 文
<p>(育児休業)</p> <p>第1条 育児のために休業することを希望する職員であって、1歳に満たない子と同居し、養育する者は、申出により、育児休業をすることができる。ただし、期間契約職員にあっては、申出時点において、次のいずれにも該当する者に限り、育児休業をすることができる。</p> <p>(1) 入所1年以上であること</p> <p>(2) <u>子が1歳に達する日を超えて雇用関係が継続することが見込まれること</u></p> <p>(3) <u>子が1歳に達する日から1年を経過する日までに労働契約期間が満了し、更新されないことが明らかでないこと</u></p> <p>2 1にかかわらず、労使協定により除外された次の職員からの休業の申出は拒むことができる。</p> <p>(1) 入所1年未満の職員</p> <p>(2) 申出の日から1年以内（4の申出をする場合は、6ヶ月以内）に雇用関係が終了することが明らかな職員</p> <p>(3) 1週間の所定労働日数が2日以下の職員</p> <p>3 略</p> <p>4 略</p> <p>5 <u>育児休業をすることを希望する職員は、原則として、育児休業を開始しようとする日の1ヶ月前（4に基づく1歳を超える休業の場合は、2週間前）までに、育児休業申出書（様式1①）を人事担当者に提出することにより申し出るものとする。</u></p>	<p>(育児休業)</p> <p>第1条 育児のために休業することを希望する職員であって、1歳に満たない子と同居し、養育する者は、申出により、育児休業をすることができる。ただし、期間契約職員にあっては、申出時点において、次のいずれにも該当する者に限り、育児休業をすることができる。</p> <p>(1) 入所1年以上であること</p> <p>(2) <u>子が1歳6ヶ月（5の申出にあっては2歳）に達する日までに労働契約が満了し、更新されないことが明らかでないこと</u></p> <p>2 1にかかわらず、労使協定により除外された次の職員からの休業の申出は拒むことができる。</p> <p>(1) 入所1年未満の職員</p> <p>(2) 申出の日から1年以内（4及び5の申出をする場合は、6ヶ月以内）に雇用関係が終了することが明らかな職員</p> <p>(3) 1週間の所定労働日数が2日以下の職員</p> <p>3 略</p> <p>4 略</p> <p>5 <u>次のいずれにも該当する職員は、子が2歳に達するまでの間で必要な日数について育児休業をすることができる。なお、育児休業を開始しようとする日は、子の1歳6ヶ月に達する日に限るものとする。</u></p> <p>(1) <u>職員又は配偶者が子の1歳6ヶ月に達する日の前日に育児休業をしていること</u></p> <p>(2) <u>次のいずれかの事情があること</u></p> <p>(ア) <u>保育所に入所を希望しているが、入所できない場合</u></p>

旧 条 文	新 条 文
	<p>(イ) <u>職員の配偶者であって育児休業の対象となる子の親であり、1歳6ヶ月以降育児に当たる予定であった者が、死亡、負傷、疾病等の事情により子を養育することが困難になった場合</u></p> <p>6 育児休業をすることを希望する職員は、原則として、育児休業を開始しようとする日の1ヶ月前（4及び5に基づく1歳及び1歳6ヶ月を超える休業の場合は、2週間前）までに、育児休業申出書（様式1①）を人事担当者に提出することにより申し出るものとする。</p>

### ③ 事務規則

平成30年3月28日（水）に開催された第111回通常議員総会において事務局組織改編に伴う当所事務規則の改正を行った。

#### (1) 目的

部・課の編成を変更することにより人員の効率的な配置を実現し、より機動的な組織・事業運営を図るため。

#### (2) 改正箇所

旧 条 文	新 条 文
<p>(部等の設置)</p> <p>第3条 事務局に、次の部を置く。</p> <p>(1) <u>総務・企画部</u></p> <p>(2) <u>中小企業・地域振興部</u></p> <p>(3) 西大寺支所</p> <p>2 略</p>	<p>(部等の設置)</p> <p>第3条 事務局に、次の部を置く。</p> <p>(1) <u>総務部</u></p> <p>(2) <u>事業推進部</u></p> <p>(3) <u>中小企業支援部</u></p> <p>(4) 西大寺支所</p> <p>2 略</p> <p>附 則</p> <p><u>第3条の改正規則は、平成30年4月1日から実施する。</u></p>

## Ⅱ 組 織

### 1 会 員

#### ① 会員数 (平成30年3月31日現在)

区 分	平成28年度末 現在会員数	新規加入者数	脱退者数	平成29年度末 現在会員数
個人	1,414	101	113	1,402
法人	4,929	205	146	4,988
団体	27	1	0	28
合計	6,370	307	259	6,418

#### 会費負担口数別 (金額別) 会員数

持口数	会員数	会費 (年間)	持口数	会員数	会費 (年間)
1	2,920	17,520,000	40	5	1,200,000
2	1,202	14,424,000	42	1	252,000
3	1,813	32,634,000	50	19	5,700,000
4	20	480,000	60	1	360,000
5	208	6,240,000	62	1	372,000
6	14	504,000	67	1	402,000
7	3	126,000	70	1	420,000
8	2	96,000	80	1	480,000
9	2	108,000	90	1	540,000
10	64	3,840,000	100	13	7,800,000
12	1	72,000	150	3	2,700,000
13	1	78,000	165	1	990,000
15	10	900,000	170	1	1,020,000
20	62	7,440,000	200	4	4,800,000
25	3	450,000	250	1	1,500,000
30	31	5,580,000	305	1	1,830,000
32	1	192,000	330	2	3,960,000
33	2	396,000	口数合計		20,971口
35	2	420,000	平均口数		3.28口
			年間会費総額		125,826,000円

## 2 部 会

部会の名称、所属業種、所属部会員数

部 会 名	所 属 業 種	所属部会員数
(1) 織 維	《商業》原糸、織物、呉服、服地、繊維二次製品、手芸、裁縫用品、その他繊維製品各販売 《工業》紡績、織布、縫製、メリヤス、製綿、製網、染色テント、その他繊維製品各製造	168
(2) 機 械 金 属	《商業》機械工具、鋼材、鉄板、屑鉄、電気機械器具、マシン、自転車（原付を含む）、その他機械金属製品各販売 《工業》農機具、陸用舶用内燃機、電気機械器具、自動車、同付属品、計量測定器各製造、鉄工、メッキ加工、鋳造、製缶、その他金属加工	486
(3) 食 料 品	《商業》菓子、パン、一般食料品、米穀、酒類、飲料、調味料、嗜好品、茶、青果物、鮮魚、食肉、水産加工品、その他食料品各販売 《工業》一般食料品、酒類、味噌、醤油、酢、ソース、砂糖、食用油、漬物、パン、菓子、水飴、乳製品、飲物各製造、精穀、製粉、製麺、製氷、その他食料品製造	414
(4) 大型店・雑貨	《商業》室内装飾品、小間物、袋物、アクセサリ類、書籍、文房具、紙、事務機器、金庫、書庫、計量器、貴金属、時計、眼鏡、写真機、楽器、レコード、運道具、釣道具、美術工芸品、生花、造花、神仏具、玩具、家庭雑貨（荒物、金物、陶磁器、漆器、ガラス器、台所用品）、履物（ゴム履物、靴、下駄、草履）各販売 《大型店》百貨店、量販店、総合商社、貿易商社 《建設資材》木材、材木、合板、竹材、建具、家具、表具、畳の製造加工並びに販売、ガラス、建築材料、土石製品、その他木製品各販売	459
(5) 化学・エネルギー	《商業》医薬品、化粧品、農薬、肥料、飼料、工業薬品、塗料、染料、医療衛生器具材料、ゴム、ビニール製品、酸素、その他化学製品各販売 《工業》農薬、肥料、化学薬品、化粧品製造、ゴム製品、製紙（含紙器製造） 《電気燃料》電気、ガス、石油、プロパンガス、薪炭、その他エネルギーに関する販売	213
(6) 金融・不動産	《金融》普通銀行、信託銀行、信用金庫、信用組合、組合金融機関、証券、損害保険、生命保険、保険代理 《不動産》不動産賃貸業、建売業、土地売買業、不動産仲介業、駐車場	427
(7) 運 輸 通 信	旅客輸送、貨物輸送、倉庫、自動車、同関連品販売（レンタルを含む）並びに整備、電話加入権取引、同関連業務	389
(8) 観 光	旅館、ホテル、食堂、レストラン、料理飲食店、喫茶店、バー、キャバレー、旅行斡旋	372
(9) 文化関連産業	新聞、放送、同関連産業、情報計算センター、O A関連機器、ソフトウェア開発、広告代理店、出版業、製本、印刷物加工業、その他印刷に伴うサービス業	385

部 会 名	所 属 業 種	所属部会員数
(10) 建 設 業	土木建築工事、鉄骨、鉄筋、缶工事、タイル、ブロック工事、塗装工事、電気工事、通信工事、管工事、その他建設工事、設計	971
(11) 諸 業	興行、遊技場、理容業、美容業、税務会計、法律・司法書士、クリーニング業、写真撮影、看板装飾、浴場業、洗張染物業、貸衣裳、興信所、清掃、貸金、質、医療、学校その他（他の部に属さないもの）	1,224

### ③ 委員会

#### 【常設委員会】

委員会名	委員数	主な審議（調査・研究）事項
運 営 委 員 会	16	商工会議所運営上、重要な事項。会員増強と財政基盤の拡充。国・自治体等に対する政策提言。商工会議所ビル運営の検討。創立140周年記念事業の計画策定。
中 小 企 業 振 興 委 員 会	19	中小・小規模事業者の経営支援。経営革新・開業支援。消費税対策。企業の社会的責任、働き方改革等の研究推進。マル経の利用促進。
ま ち づ くり 委 員 会	42	岡山市の中心市街地活性化と都市機能の見直しや、まちの魅力づくりの検討。コンベンション及び施設整備の推進。
都 市 交 通 委 員 会	20	中心市街地における回遊性向上のための都市内公共交通の利用促進。超小型モビリティや自転車（コミュニティサイクル）による移動の多様性の推進。路面電車岡山駅乗り入れに関する研究。
文 化 観 光 委 員 会	33	観光資源の魅力向上とエリアの整備支援。インバウンド観光の推進。宇喜多家・池田家の顕彰、フルーツパフェのまちづくり、こだわりの逸品「おかやま果実」の展開。岡山食文化研究会の運営。岡山ブランドの推進。
景 観 環 境 委 員 会	14	都市景観の保全とさくらみちの桜の保持。「旭川かわまちづくり計画」の推進と「ミズベリング」の開催。エネルギー問題への対応。
地 方 創 生 推 進 委 員 会	17	移住・定住の促進。岡山地域発展協議体等と連携した地域活性化の推進。地域医療連携法人への支援。ESDの推進。企業版ふるさと納税制度の検討。
ビ ジ ネ ス 交 流 委 員 会	14	会員相互間の交流（ビジネス、親睦）の促進。地方拠点・近隣都市との経済交流。当所青年部・女性会との事業連携の検討実施。岡山武蔵倶楽部への支援。
人 材 育 成 委 員 会	17	若手経済人の育成支援と次世代を担う若者へのキャリア教育の推進。企業の人材確保に向けたマッチング。大学等教育機関との連携強化。
国 際 委 員 会	12	米国・サンノゼ市との姉妹都市、姉妹会議所交流促進。韓国・富川市など岡山市と友好関係のある諸都市との友好交流。ミャンマーとの経済・友好交流。会員企業の海外展開や留学生の就職支援。

委員会名	委員数	主な審議（調査・研究）事項
スポーツ支援委員会	9	ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ等の県内スポーツの支援。スポーツ施設の充実とスポーツ環境（医療・指導者等）の整備。SPOC研究会との連携。
情報委員会	12	IT化による中小企業の生産性向上支援。IoT、AIなど第4次産業革命に向けた調査研究。IT経営力大賞の支援。広報ツールとしてのSNS活用研究。

### 【特別委員会】

委員会名	委員数	主な審議（調査・研究）事項
西大寺地域活性化特別委員会	14	西大寺地域の観光資源の活用と歴史的建造物の保存。西大寺会陽の実施支援。西大寺地域の商工業振興。

## 2 特別会員

区分	平成29年度末現在会員数
個人	147
法人	759
団体	4
合計	910

## 3 特定商工業者（平成29年4月1日現在）

	総数	内訳	
		会員数	非会員数
特定商工業者数	7,313	2,752	4,561 (1,630)

※（ ）内は非会員のうち負担金納入済業者数

（付 記）

地区外転出、廃業等の特定商工業者数

基準日現在の特定商工業者数	地区外転出数	廃業等数	本社引揚数	平成29年度末特定商工業者数
7,313	13	115	3	7,182



## 4 役員

### ① 平成30年3月31日現在の各役員の定数および実数

区 分	定 数	実 数
会 頭	1人	1人
副 会 頭	4	4
専 務 理 事	1	1
常 議 員	36	36
監 事	3	3
常 務 理 事	(2人以内)	0
理 事	3人以内	2

### ② 平成30年3月31日現在の氏名、企業の名称および企業上の地位

(役職名)	(氏 名)	(企業の名称および企業上の地位)
会 頭	岡 崎 彬	岡山ガス株式会社取締役社長
副 会 頭	中 島 基 善	ナカシマホールディングス株式会社取締役社長
〃	石 井 清 裕	ネットヨタ岡山株式会社取締役社長
〃	梶 谷 俊 介	岡山トヨタ自動車株式会社取締役社長
〃	高 谷 昌 宏	株式会社サンヨープレジャー取締役社長
専 務 理 事	高 橋 邦 彰	岡山商工会議所専務理事
常 議 員	逢 澤 寛 人	アイサワ工業株式会社取締役社長
〃	青 山 肇	株式会社中国銀行専務取締役
〃	浅 野 益 弘	浅野産業株式会社取締役社長
〃	荒 木 雷 太	株式会社荒木組取締役社長
〃	大 塚 祥 文	ライフオス株式会社取締役社長
〃	大 森 實	昭和被服総業株式会社取締役社長
〃	岡 本 隆 明	株式会社山方永寿堂取締役会長
〃	小 川 健	株式会社キョードー取締役社長
〃	尾 崎 茂	菅公学生服株式会社取締役社長
〃	貝 畑 雅 二	株式会社カイトックホールディングス取締役社長
〃	瓦 谷 敏 彦	新生電機株式会社取締役社長
〃	桑 田 茂	山陽放送株式会社取締役社長
〃	桑 田 真 治	おかやま信用金庫理事長
〃	近 藤 弦之介	弁護士法人太陽総合法律事務所代表弁護士
〃	末 長 範 彦	岡山土地倉庫株式会社取締役社長
〃	高 木 晶 悟	株式会社トマト銀行取締役社長
〃	高 田 輝 彦	岡山市商店会連合会
〃	武 田 浩 一	株式会社廣榮堂取締役社長
〃	千 原 行 喜	株式会社成通取締役社長
〃	土 井 雅 人	テレビせとうち株式会社取締役社長
〃	中 静 敬一郎	岡山放送株式会社取締役社長
〃	永 山 久 人	下津井電鉄株式会社取締役社長
〃	西 尾 源治郎	西尾総合印刷株式会社取締役社長

常 議 員	新 田 顕一郎	株式会社フレッシュ取締役社長
〃	野 田 好 信	株式会社デンシヨク代表取締役会長
〃	延 原 正 浩	株式会社マルシン物流取締役社長
〃	福 武 總一郎	株式会社ベネッセホールディングス名誉顧問
〃	福 武 義 修	福武観光株式会社取締役社長
〃	古 市 大 藏	株式会社トミヤコーポレーション代表取締役会長
〃	前 坂 匡 紀	協同組合岡山情報文化研究所理事長
〃	松 尾 雅 卿	吉備システム株式会社取締役社長
〃	松 岡 徹	旭電業株式会社取締役社長
〃	松 田 久	両備ホールディングス株式会社取締役社長
〃	松 田 正 己	株式会社山陽新聞社取締役社長
〃	安 井 久	株式会社大和鉄工所取締役社長
〃	若 林 昭 吾	株式会社三好野本店取締役社長
監 事	江 尻 博 子	株式会社岡山スポーツ会館取締役社長
〃	勝 矢 雅 一	カーツ株式会社取締役社長
〃	岸 本 三七吉	岸本建設株式会社取締役会長
理 事	鶴 岡 良 孝	
〃	須々木 敏 彦	

## 5 議 員

### ① 平成30年3月31日現在の定数および実数

区 分	定 数	実 数
1 号 議 員	56人	56人
2 号 議 員	38	38
3 号 議 員	16	16
合 計	110	110

### ② 平成30年3月31日現在の各号議員の氏名、企業の名称および企業上の地位

#### 1号議員

(氏 名)	(企業の名称および企業上の地位)
逢 澤 寛 人	アイサワ工業株式会社取締役社長
安 藤 喬	日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社取締役副社長
石 井 清 裕	ネッツトヨタ岡山株式会社取締役社長
石 原 孝	株式会社石原工務店代表取締役会長
井 尻 昭 夫	学校法人吉備学園理事長
岩 本 東 勲	株式会社ゲンダイ取締役社長
江 尻 博 子	株式会社岡山スポーツ会館取締役社長
大 岩 道 典	株式会社レイ取締役社長
大 坂 哲 也	株式会社両備リソラ取締役
大 塚 祥 文	ライフォス株式会社取締役社長
大 森 實	昭和被服総業株式会社取締役社長
岡 崎 彬	岡山ガス株式会社取締役社長
岡 崎 正 裕	岡崎運送株式会社取締役社長

岡田拓士	株式会社源吉兆庵代表取締役会長
岡本隆明	株式会社山方永寿堂取締役会長
岡本典久	ライト電業株式会社取締役社長
小川健	株式会社キョードー取締役社長
尾崎茂	菅公学生服株式会社取締役社長
加計孝太郎	学校法人加計学園理事長
梶原康彦	梶原乳業株式会社取締役社長
勝矢雅一	カーツ株式会社取締役社長
河崎修一	株式会社ドコモCS中国岡山支店支店長
岸本三七吉	岸本建設株式会社取締役会長
黒瀬仁志	山陽ヤナセ株式会社取締役社長
黒田季之	株式会社ブックス取締役社長
近藤知之	株式会社トンボ取締役社長
白髭研介	株式会社山陽折込センター取締役社長
武田浩一	株式会社廣榮堂取締役社長
田中一宏	税理士法人田中会計税務事務所代表社員
坪井隆志	岡山ヤクルト販売株式会社取締役社長
徳山靖彦	株式会社徳山電機製作所取締役社長
長尾説子	アサヒ通信システム株式会社取締役
中島義雄	帝人ナカシマメディカル株式会社代表取締役会長
永山久夫	岡山プラザホテル株式会社取締役社長
新田顕一郎	株式会社フレッシュ取締役社長
延原正浩	株式会社マルシン物流取締役社長
服部俊也	服部興業株式会社取締役社長
秀方純	イオンモール株式会社イオンモール岡山ゼネラルマネジャー
藤田康史	富士ゼロックス岡山株式会社取締役社長
藤原盛夫	有限会社ジャパン・ネットワーク・システムズ取締役社長
梶本健太郎	丸正製粉株式会社取締役社長
松尾雅卿	吉備システム株式会社取締役社長
松岡徹	旭電業株式会社取締役社長
松田久	両備ホールディングス株式会社取締役社長
三國慎	オハヨー乳業株式会社専務取締役
三宅健夫	株式会社両備システムズ代表取締役副社長
向井常明	ユニック中四国販売株式会社取締役社長
室賀康史	室賀ネジ機工株式会社取締役社長
安井久	株式会社大和鉄工所取締役社長
安原宗一郎	大紀産業株式会社取締役社長
安場直樹	株式会社林原代表取締役副社長
山川昌夫	研精堂印刷株式会社取締役社長
山下和也	山下産業株式会社取締役社長
山田周二	株式会社岡山高島屋取締役社長
吉村武大	備前自動車岡山教習所代表
米田光雄	株式会社ウッディヨネダ取締役社長

## 2号議員

浅野益弘	浅野産業株式会社取締役社長
荒木雷太	株式会社荒木組取締役社長

石川康晴	株式会社ストライプインターナショナル取締役社長兼CEO
伊藤大介	アクサ生命保険株式会社岡山支社支社長
岩坪誠次郎	日宝総合製本株式会社取締役社長
江國成基	株式会社天満屋取締役社長
貝畑雅二	株式会社カイトックホールディングス取締役社長
梶谷周平	株式会社岡山木村屋取締役社長
梶谷俊介	岡山トヨタ自動車株式会社取締役社長
瓦谷敏彦	新生電機株式会社取締役社長
国富樞雄	国富樞雄税理士事務所所長
桑田真治	おかやま信用金庫理事長
近藤弦之介	弁護士法人太陽綜合法律事務所代表弁護士
榊原敬	社会医療法人社団十全会心臓病センター榊原病院理事長
佐藤好英	株式会社佐藤組取締役社長
高田輝彦	岡山市商店会連合会
高谷昌宏	株式会社サンヨープレジャー取締役社長
田中信行	さんもく工業株式会社取締役社長
千原行喜	株式会社成通取締役社長
中島基善	ナカシマホールディングス株式会社取締役社長
永山久仁彦	下電開発株式会社取締役社長
永山久人	下津井電鉄株式会社取締役社長
西尾源治郎	西尾総合印刷株式会社取締役社長
根木克己	株式会社システムタイズ取締役社長
野口裕年	株式会社野口商店取締役社長
野田好信	株式会社デンショク代表取締役会長
蜂谷泰祐	蜂谷工業株式会社取締役社長
花房昌男	株式会社岡山丸果取締役社長
福武義修	福武観光株式会社取締役社長
藤原恵子	株式会社フジワラテクノアート取締役社長
村社勝	株式会社三幸工務店取締役社長
森健太郎	学校法人森教育学園副理事長
森本昌弘	株式会社ホテルグランヴィア岡山取締役社長
安原晃	岡山県貨物運送株式会社代表取締役会長
吉田大助	株式会社ビザビ取締役社長
吉永教幸	三輝建設株式会社取締役社長
若林昭吾	株式会社三好野本店取締役社長
渡邊育正	日進ゴム株式会社取締役社長

### 3号議員

青山肇	株式会社中国銀行専務取締役
大本万平	株式会社大本組取締役社長
釘崎信行	株式会社商工組合中央金庫岡山支店支店長
桑田茂	山陽放送株式会社取締役社長
佐藤幸次	中国電力株式会社岡山支社執行役員岡山支社長
末長範彦	岡山土地倉庫株式会社取締役社長
高木晶悟	株式会社トマト銀行取締役社長
土井雅人	テレビせとうち株式会社取締役社長
中静敬一郎	岡山放送株式会社取締役社長

西谷紀彦	西日本電信電話株式会社岡山支店支店長
西田良祐	日本エクスラン工業株式会社西大寺工場取締役工場長
福武總一郎	株式会社ベネッセホールディングス名誉顧問
古市大藏	株式会社トミヤコーポレーション代表取締役会長
前坂匡紀	協同組合岡山情報文化研究所理事長
松田正己	株式会社山陽新聞社取締役社長
森本卓壽	西日本旅客鉄道株式会社岡山支社執行役員岡山支社長

## 6 委員長等（平成30年3月31日現在）

### ○運営委員会

委員長	古市大藏	（株式会社トミヤコーポレーション代表取締役会長）
副委員長	野田好信	（株式会社デンシヨク代表取締役会長）

### ○中小企業振興委員会

委員長	西尾源治郎	（西尾総合印刷株式会社取締役社長）
副委員長	岩坪誠次郎	（日宝総合製本株式会社取締役社長）
副委員長	田中一宏	（税理士法人田中会計税務事務所代表社員）
担当副会頭	梶谷俊介	（岡山トヨタ自動車株式会社取締役社長）

### ○まちづくり委員会

委員長	梶原康彦	（梶原乳業株式会社取締役社長）
副委員長	桑田真治	（おかやま信用金庫理事長）
副委員長	服部俊也	（服部興業株式会社取締役社長）
担当副会頭	高谷昌宏	（株式会社サンヨープレジャー取締役社長）

### ○都市交通委員会

委員長	若林昭吾	（株式会社三好野本店取締役社長）
副委員長	永山久人	（下津井電鉄株式会社取締役社長）
副委員長	森本卓壽	（西日本旅客鉄道株式会社岡山支社執行役員岡山支社長）
担当副会頭	高谷昌宏	（株式会社サンヨープレジャー取締役社長）

### ○文化観光委員会

委員長	大森 實	（昭和被服総業株式会社取締役社長）
副委員長	大塚祥文	（ライフオス株式会社取締役社長）
副委員長	花房昌男	（株式会社岡山丸果取締役社長）
副委員長	安原宗一郎	（大紀産業株式会社取締役社長）
担当副会頭	石井清裕	（ネットトヨタ岡山株式会社取締役社長）

### ○景観環境委員会

委員長	黒瀬仁志	（山陽ヤナセ株式会社取締役社長）
副委員長	岡崎正裕	（岡崎運送株式会社取締役社長）
副委員長	福武義修	（福武観光株式会社取締役社長）
担当副会頭	石井清裕	（ネットトヨタ岡山株式会社取締役社長）

### ○地方創生推進委員会

委員長	高木晶悟	（株式会社トマト銀行取締役社長）
副委員長	勝矢雅一	（カーツ株式会社取締役社長）
副委員長	釘崎信行	（株式会社商工組合中央金庫岡山支店支店長）

- 担当副会頭 梶谷俊介 (岡山トヨタ自動車株式会社取締役社長)
- ビジネス交流委員会
- 委員長 田中信行 (さんもく工業株式会社取締役社長)
- 副委員長 向井常明 (ユニック中四国販売株式会社取締役社長)
- 副委員長 河崎修一 (株式会社ドコモCS中国岡山支店支店長)
- 担当副会頭 高谷昌宏 (株式会社サンヨープレジャー取締役社長)
- 人材育成委員会
- 委員長 黒田季之 (株式会社ブックス取締役社長)
- 副委員長 尾崎茂 (菅公学生服株式会社取締役社長)
- 副委員長 吉田大助 (株式会社ビザビ取締役社長)
- 担当副会頭 梶谷俊介 (岡山トヨタ自動車株式会社取締役社長)
- 国際委員会
- 委員長 森健太郎 (学校法人森教育学園副理事長)
- 副委員長 岡本典久 (ライト電業株式会社取締役社長)
- 副委員長 永山久夫 (岡山プラザホテル株式会社取締役社長)
- 担当副会頭 中島基善 (ナカシマホールディングス株式会社取締役社長)
- スポーツ支援委員会
- 委員長 延原正浩 (株式会社マルシン物流取締役社長)
- 副委員長 江尻博子 (株式会社岡山スポーツ会館取締役社長)
- 担当副会頭 石井清裕 (ネットトヨタ岡山株式会社取締役社長)
- 情報委員会
- 委員長 根木克己 (株式会社システムタイズ取締役社長)
- 副委員長 新田顕一郎 (株式会社フレッシュ取締役社長)
- 副委員長 藤田康史 (富士ゼロックス岡山株式会社取締役社長)
- 担当副会頭 中島基善 (ナカシマホールディングス株式会社取締役社長)
- 西大寺地域活性化特別委員会
- 委員長 米田光雄 (株式会社ウッディヨネダ取締役社長)
- 副委員長 徳山靖彦 (株式会社徳山電機製作所取締役社長)
- 副委員長 野口裕年 (株式会社野口商店取締役社長)
- 担当副会頭 中島基善 (ナカシマホールディングス株式会社取締役社長)

## 7 青年部・女性会 (平成30年3月31日現在)

### ○岡山商工会議所青年部

- 会長 佐藤一平 (株式会社双葉店飾社代表取締役)
- 副会長 小川大志 (公協産業株式会社代表取締役)
- 〃 杉本宏 (株式会社ニッカリ代表取締役)
- 〃 高戸賢一 (三要電熱工業株式会社代表取締役)
- 〃 塚本晃久 (三洋エンジニアリング株式会社代表取締役社長)
- 〃 藤井聡志 (有限会社エフ・ライン輸送代表取締役)

### ○岡山商工会議所女性会

- 会長 高田美紀子 (株式会社MASAYA専務取締役)

副会長	波 彦 清 美	(株式会社富士麵ず工房取締役)
副会長	角 南 元 子	(有限会社スナミ製作所取締役)
〃	千 田 恵	(株式会社武田製玉部取締役)
〃	木 下 育 子	(新日本サービス取締役社長)

## 8 顧問・参与 (平成30年3月31日現在)

### ○顧 問

岡 山 県 知 事	伊原木 隆 太
岡 山 市 長	大 森 雅 夫
岡 山 県 議 会 議 長	伊 藤 文 夫
岡 山 市 議 会 議 長	宮 武 博
国立大学法人岡山大学学長	榎 野 博 史
日本銀行岡山支店長	藤 田 研 二
岡山県経済団体連絡協議会座長	中 島 博
一般社団法人岡山県銀行協会会長	宮 長 雅 人
岡山県中小企業団体中央会会長	晝 田 眞 三
岡山県商工会連合会会長	吉 澤 威 人
	高 谷 茂 男
	剣 持 一
	徳 山 武 士
	服 部 弘 平
	木 谷 忠 義

### ○参 与

岡 山 県 産 業 労 働 部 長	横 田 有 次
岡 山 市 産 業 観 光 局 長	山 本 修 司
国立大学法人岡山大学理事・副学長	高 橋 香 代
独立行政法人日本貿易振興機構岡山貿易情報センター所長	高 宮 純 一

# Ⅲ 事務局

## 1 事務局の機構

各部課の名称および所掌事務の概要

部 課 名		所 掌 事 務 の 概 要
総務・企画部	総務課	文書の收受、発送、整理、保管に関する事項並びに各課の連絡調整と議員、役員、顧問、参与及び職員に関する事項並びに会議所に所属する土地、建物及び施設の維持管理、営繕並びに貸室、貸会議室等の運用に関する事項を主要業務とする。
	経理課	現金、預金及び有価証券の出納、保管に関する事項並びに会計帳簿の整理、保管を主要業務とする。
	会員課	会員の募集、会員組織の強化並びに会費の調整、徴収並びに特定商工業者の法定台帳の作成・管理、会員事業所従業員の表彰・親睦に関する事項を主要業務とする。
中小企業・地域振興部	企画課	地域産業経済、企業経営に関する調査研究及び各種の統計調査並びに新規事業の企画立案に関する事項並びに会議所会報の編集、刊行並びに図書資料の収集、保管及び情報の提供サービスに関する事項並びに都市問題、都市交通、各種検定試験及びその他技能向上のための競技会に関する事項を主要業務とする。
	経営指導課	中小企業者特に小規模事業者に対する相談指導を行うため、税務経理に関する事項並びに商工経営の改善合理化に関する事項、労働福祉対策の普及指導に関する事項、労働保険の普及と事務組合の運営に関する事項、社会保険の相談指導に関する事項を主要業務とする。
	金融課	制度融資に関する事項、小企業等経営改善資金の融資の審査及び推せんに関する事項を主要業務とする。
	地域振興課	産業技術、産業教育の振興、国際経済交流、講習会等の開催、貿易証明他各種証明に関する事項並びに観光物産、まつりの振興、環境問題に関する事項を主要業務とする。
	専門指導センター	専門分野別・業種別問題等にかかる専門的相談指導を主要業務とする。
西大寺支所	総務企画課	西大寺地区の会員サービス、地域振興に関する事項並びに支所の土地、建物及び施設の維持管理、貸室、貸会議室の運用に関する事項を主要業務とする。
	中小企業振興課	西大寺地区の経営改善普及事業全般に関する事項を主要業務とする。



## 2 事務局役職員

### A 主な職員の役職、氏名（平成30年3月31日現在）

専務理事	高橋 邦彰
理事、事務局長	鶴岡 良孝
理事、中小企業・地域振興部長	須々木 敏彦
総務・企画部長、経理課長	小川 達夫
西大寺支所長、西大寺支所総務企画課長	吉田 陽一
総務・企画部次長、総務課長	藤原 裕久
総務・企画部次長、企画課長	小山 恵子
中小企業・地域振興部次長、金融課長	内田 薫
中小企業・地域振興部経営指導課長	黒崎 良子
中小企業・地域振興部地域振興課長	岡崎 知博
中小企業・地域振興部専門指導センター課長	山形 章弘
西大寺支所中小企業振興課長	松岡 幸司
総務・企画部経理課長補佐	横原 朋子
総務・企画部経理課長補佐	田村 健二
中小企業・地域振興部専門指導センター課長補佐	枝 純一郎

### B 職員数（平成30年3月31日現在）

区分	専任職員	経営指導員	補助員	専門経営指導員	記帳専任職員	計
男	7人	12人	1人	3人	0人	22人
女	9	4	4	0	1	19
計	16	16	5	3	1	41

# IV 庶務

## 1 文書

平成29年度中の文書の発信・受信は次のとおり。

- A 発信数 314,202通
- B 受信数 115,098通

## 2 表彰・受章

### A. 表彰

平成29年6月21日（水）開催の第110回通常議員総会において次のとおり当所表彰規則に基づく該当者の表彰を行った。（敬称略）

(1) 規則第2条該当者（在職10年以上議員関係）

○30年以上

福 武 総一郎

○25年以上

野 田 好 信

若 林 昭 吾

○20年以上

小 川 健

○15年以上

石 井 清 裕

大 塚 祥 文

瓦 谷 敏 彦

桑 田 真 治

高 田 輝 彦

坪 井 隆 志

中 島 基 善

松 尾 雅 卿

松 岡 徹

○10年以上

武 田 浩 一

大 森 實

(2) 規則第5条該当者（勤続10年以上職員関係）

○35年以上

時 岡 通 栄

○20年以上

板 野 三 枝 子

○15年以上

父 尾 伊公子  
内 田 薫  
山 形 章 弘

○10年以上

高 木 久 志

## B. 受 章

平成29年度中の役員、議員の勲章、国家褒章の受章者は次のとおり。(敬称略)

旭日中綬章

中 島 基 善

## 3 慶弔・儀礼 (主なもの)

平成29年	4月2日(日)	復活第66回宗忠神社「御神幸」に石井副会頭、高谷副会頭、高橋専務理事、須々木理事出席
	4月5日(水)	岡山日蘭協会「オランダおイネ 花まつり」オープニング式典に岡崎会頭出席
	4月20日(木)	岡山後楽園 春の園遊会～池田厚子様を囲んで～に岡崎会頭並びに中島副会頭、石井副会頭、梶谷副会頭、高谷副会頭、高橋専務理事出席
	4月24日(月)～27日(木)	岡山商工会議所・サンノゼシリコンバレー商業会議所友好交流協定30周年記念「経済訪問団」訪米に岡崎会頭並びに中島副会頭、高谷副会頭、高橋専務理事参加
	5月21日(日)	江田五月氏 桐花大綬章を祝う会に岡崎会頭出席
	5月22日(月)	(一社)岡山経済同友会創立70周年記念式典に岡崎会頭並びに高橋専務理事出席
	5月30日(火)	瀬戸大橋開通30周年記念事業岡山県実行委員会設立総会に岡崎会頭出席
	5月31日(水)	ベトナム/チュオン・タン・サン前国家主席歓迎懇談会に岡崎会頭並びに高橋専務理事出席
	6月5日(月)	岡山県経営者協会創立70周年記念講演会・懇親会に岡崎会頭並びに高橋専務理事出席
	6月15日(木)	山陽新聞社会事業団70周年記念式典に高橋専務理事出席
	6月20日(火)	(公社)岡山東法人会社団化40周年記念式典に岡崎会頭並びに鶴岡理事出席
	7月9日(日)	国際医療貢献プラットフォーム設立総会・祝賀会に岡崎会頭並びに高橋専務理事出席
	7月14日(金)	第20回北前船寄港地フォーラムinおかやま 大連市歓迎昼食会に岡崎会頭出席
	7月26日(水)～28日(金)	韓国・富川商工会議所との交流事業に岡崎会頭並びに高谷副会頭、高橋専務理事参加
	7月29日(土)	「浪漫ティック奉還祭」オープニングセレモニーに高谷副会頭出席
	8月21日(月)	岡山県・中国江西省友好提携25周年記念訪問団歓迎レセプションに岡崎会頭出席
	8月27日(日)	瑞宝小綬章受勲報告—森靖喜先生を囲む会—に高橋専務理事出席
	9月1日(金)	児島商工会議所70周年記念式典に高谷副会頭並びに高橋専務理事出席
	9月1日(金)	平成29年度東京岡山県人会総会・岡山県人の集いに岡崎会頭並びに石井副会頭出席
	9月29日(金)	第41回TKC中国会秋期大学記念式典・レセプションに岡崎会頭出席
	10月7日(土)	桃太郎伝説創造発信事業 新・桃太郎ファッションお披露目セレモニーに岡崎会頭、高橋専務理事、須々木理事出席

- 10月12日(木) 殉職警察官慰霊祭に岡崎会頭出席
- 10月13日(金) 2017/18シーズン 岡山シーガルズ激励会に高橋専務理事出席
- 11月4日(土)～11日(土)  
フランス・ストラスブールまちづくり視察に岡崎会頭並びに梶谷副会頭、高谷副会頭、高橋専務理事参加
- 11月11日(土) 新見商工会議所創立50周年記念式典・祝賀会・記念講演会に石井副会頭並びに鶴岡理事出席
- 11月12日(日) おかやまマラソン2017スタートセレモニーに岡崎会頭出席
- 11月12日(日) 星野仙一野球殿堂入り祝賀会に高橋専務理事出席
- 11月13日(月) 金陵山西大寺観音院晋山式に高橋専務理事出席
- 11月13日(月) 菅井竜也王位就位祝賀会に高橋専務理事出席
- 11月19日(日) ファジアーノ岡山募金贈呈式に高橋専務理事出席
- 11月24日(金) (一社)岡山県労働基準協会創立70周年記念式典・講演会・祝賀会に高橋専務理事出席
- 11月27日(月) 水島港インターナショナルトレード協議会設立20周年記念講演会・レセプションに高橋専務理事出席
- 12月1日(金) MOMOTAROH FANTASY2017点灯式に石井副会頭出席
- 12月20日(水) 野津喬氏お別れ会に岡崎会頭出席
- 平成30年 1月4日(木) (一社)岡山経済同友会新年祝賀互礼会に岡崎会頭並びに高橋専務理事出席
- 1月11日(木) 岡山県中小企業団体中央会・岡山中金会 新年祝賀懇親会に高橋専務理事出席
- 1月11日(木) (公社)岡山青年会議所新年賀詞交歓会に岡崎会頭出席
- 1月12日(金) (一社)西大寺青年会議所2018年度新年祝賀会に岡崎会頭出席
- 1月13日(土) 2018民団新年賀詞交歓会に岡崎会頭並びに高橋専務理事出席
- 1月16日(火) ファジアーノ岡山2018キックオフ交流会に岡崎会頭、中島副会頭、高橋専務理事、鶴岡理事出席
- 1月23日(火) (一社)システムエンジニアリング岡山「新春互礼会」に高橋専務理事出席
- 1月26日(金) 岡山県異業種交流プラザ協議会2018年賀詞交歓会に高橋専務理事出席
- 1月29日(月) こだわりの逸品「おかやま果実」ブランド認定式に岡崎会頭並びに須々木理事出席
- 2月17日(土) 北前船交流拡大機構及び北前船寄港地フォーラム2018新春の集いに岡崎会頭並びに須々木理事出席
- 2月24日(土) 岡山商工会議所青年部創立25周年記念式典・祝賀会に岡崎会頭並びに高橋専務理事出席
- 3月11日(日) 井尻昭夫岡山商科大学理事長 山陽新聞賞受賞祝賀会に岡崎会頭並びに高橋専務理事出席
- 3月24日(土) 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産登録記念講演会・祝賀会に岡崎会頭並びに高橋専務理事出席

# V 会議

第110回通常議員総会



平成28年度事業報告・同収支決算について全会一致で承認

第111回通常議員総会



日本銀行岡山支店長 藤田研二氏による講話

岡山市幹部と当所正副会頭との朝食懇談会



岡山市長をはじめとする市幹部と岡崎会頭ほか3名の副会頭が、これからの岡山市の魅力創出について意見交換を行った

第2回西大寺地域活性化特別委員会



大阪府富田林市の重要伝統的建造物群保存地区を視察

第2回中小企業振興委員会「働き方改革セミナー」



中小企業振興委員会が主催して「経営戦略から見た『働き方改革』の進め方」をテーマに開催

# 1 議員総会

## A. 通常議員総会

### 第110回通常議員総会

平成29年6月21日（水）午後4時

会 場 ANAクラウンプラザホテル岡山

出席者 95名

議 題

#### <議 案>

1. 「議員の職務を行う者」の変更について

㈱ドコモCS中国岡山支店、西日本電信電話㈱岡山支店から議員の職務を行う者をそれぞれ河崎修一氏、西谷紀彦氏へ変更の届出があった旨の説明を行い、提出原案のとおり全会一致で承認した。

2. 平成28年度事業報告並びに収支決算について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

#### <その他の報告事項>

1. 県内中小企業・小規模事業者の生産性向上等に関する実態調査の実施について

2. 平成29年度おかやま桃太郎まつり「第44回納涼花火大会」の開催について

3. 「第2回旭川かわまちフォトコンテスト」の実施について

#### <講 話>

「しなやかに超えていく『実りの学都』へ」

国立大学法人岡山大学 学長 横野博史氏

### 第111回通常議員総会

平成30年3月28日（水）午後3時半

会 場 ANAクラウンプラザホテル岡山

出席者 96名

議 題

#### <議 案>

1. 「議員の職務を行う者」の変更について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

2. 平成29年度事業計画書（案）について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

3. 平成29年度収支予算書（案）について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

#### <その他の報告事項>

1. 参与の追加選任について

2. 岡山商工会議所事務規則の一部改正について

3. 当所ビルエレベータのリニューアル工事について

4. まちづくりシンポジウムの開催について

5. 「表町商店街活性化プロジェクト推進協議会」の設立について

6. 「生産性革命」の実現に向けた市内中小企業への支援について

7. 岡山労働局長からの要請

（高齢者・障害者の雇用対策の推進、新規中高卒業者の就職）

8. 岡山市庁舎の早期建替えとアリーナの併設に関する提言について

## 9. その他

### <講 話>

「わが国・わが県の経済 現状と展望」

日本銀行岡山支店 支店長 藤 田 研 二 氏

## B. 臨時議員総会

### 第213回議員総会（第355回常議員会と合同開催）

平成29年10月10日（火） 午後2時

会 場 岡山商工会議所本所4階会議室

出席者 91名

議 題

#### <議 案>

#### 1. 「議員の職務を行う者」の変更について

(株)中国銀行、山陽放送(株)、岡山県貨物運送(株)、テレビせとうち(株)、(株)両備リソラからそれぞれ「議員の職務を行う者」の変更の届出があった旨の説明を行い、青山肇氏、桑田茂氏、安原晃氏、土井雅人氏、向井和司氏の「議員の職務を行う者」への就任を全会一致で承認した。

#### 2. 役員の補充選任について

常議員の退任に伴う補充選任について岡崎会頭への一任を一同に諮ったところ、全会一致で承認した。その後、岡崎会頭から、新たな常議員に(株)中国銀行の青山肇氏、山陽放送(株)の桑田茂氏、テレビせとうち(株)の土井雅人氏、昭和被服総業(株)の大森實氏の就任を提案し、大森實氏の後任の監事として岸本建設(株)の岸本三七吉氏を充てることを諮ったところ、全会一致で承認された。

#### 3. 事務局組織の改編案について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

#### 4. 平成29年度優良従業員表彰における被表彰該当者（案）の承認について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

#### 5. 新規会員の入会について

提出原案のとおり全会一致で承認した。

#### <その他報告事項>

1. 中小企業・地域振興部の平成29年度上半期（4月～9月）の取り組み状況について
2. 「みんなでつくる水辺フェスタ～岡山旭川2017～」の開催について
3. 岡山市White+（ホワイトプラス）企業表彰制度について

#### <講 話>

「地域商社を活用した地方創生に関する調査」

(株)日本政策投資銀行 岡山事務所長 高 橋 淳 悦 氏

## 第214回議員総会

平成29年12月1日（金） 午後4時

会 場 ホテルグランヴィア岡山

出席者 93名

議 題

#### <議 案>

1. 「議員の職務を行う者」の変更について
2. メンタルヘルス対策に向けた就業規則改正（案）について
3. 育児・介護休業規程の改正（案）について

<その他報告事項>

1. フランス・ストラスブールまちづくり視察について
2. 平成30年度岡山県予算編成に関する要望について
3. 平成30年度税制改正に関する要望について

<青年部・女性会からの活動紹介>

当所ビジネス交流委員会田中信行委員長から、青年部・女性会と当所議員との懇談会の開催について説明があった後、当所青年部河上昌平副専務理事、平井真也広報委員会委員長、藪下忠士広報委員会副委員長から青年部の活動について紹介があった。引き続き、当所女性会高田美紀子会長から女性会の活動について紹介があった。

<講 話>

(株)ファジアーノ岡山スポーツクラブ 代表取締役 木 村 正 明 氏

## 2 常議員会

### 第354回常議員会

平成29年6月14日（水） 午後2時

会 場 岡山商工会議所本所常議員会議室

出席者 25名

議 題

<議 案>

1. 岡山商工会議所表彰規則に基づく被表彰該当者（案）について
2. 「議員の職務を行う者」の変更について
3. ビジネス交流委員会副委員長の選任について
4. 平成28年度事業報告並びに収支決算について
5. 新規会員の入会について

<報告事項>

1. 知事・教育長・岡山労働局長による「新規学卒者採用等に関する要請」について
2. 県内中小企業・小規模事業者の生産性向上等に関する実態調査の実施について
3. サービス産業生産性向上セミナー「年間稼働率90%を実現させた、道頓堀ホテルの感動する接客とは」の開催について
4. 平成29年度おかやま桃太郎まつり「第44回納涼花火大会」の開催について
5. 「第2回旭川かわまちフォトコンテスト」の実施について
6. 「第20回北前船寄港地フォーラムin岡山」の開催について

### 第355回常議員会（第213回議員総会と合同開催）

平成29年10月10日（火） 午後2時

会 場 岡山商工会議所本所4階会議室

出席者 91名

議 題

<議 案>

1. 「議員の職務を行う者」の変更について
2. 役員の補充選任について
3. 事務局組織の改編案について
4. 平成29年度優良従業員表彰における被表彰該当者（案）の承認について



5. 新規会員の入会について

<報告事項>

1. 中小企業・地域振興部の平成29年度上半期（4月～9月）の取り組み状況について
2. 「みんなでつくる水辺フェスタ～岡山旭川2017～」の開催について
3. 岡山市White+（ホワイトプラス）企業表彰制度について

<講話>

「地域商社を活用した地方創生に関する調査」

（株）日本政策投資銀行 岡山事務所長 高橋 淳悦 氏

### 第356回常議員会

平成30年3月20日（火） 午後2時

会 場 岡山商工会議所本所常議員会議室

出席者 24名

議 題

<議案>

1. 「議員の職務を行う者」の変更について
2. 参与の追加選任について
3. 岡山商工会議所事務規則の一部改正について
4. 当所ビルエレベータのリニューアル工事について
5. 平成30年度事業計画書（案）について
6. 平成30年度収支予算書（案）について
7. 新規会員の入会について

<その他報告事項>

1. 岡山商工会議所創立140周年記念事業への取り組みについて
2. まちづくりシンポジウムの開催について
3. 岡山市庁舎の早期建替えとアリーナの併設に関する提言について
4. 「表町商店街活性化プロジェクト推進協議会」の設立について
5. 「生産性革命」の実現に向けた市内中小企業への支援について
6. 岡山労働局長からの要請  
（高齢者・障害者の雇用対策の推進、新規中高卒業者の就職）

## 3 監事会

### 第65回監事会

平成29年6月2日（金） 午前10時30分

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 6名

議 題

1. 平成28年度決算関係書類の監査について

## 4 部会・委員会

### 【常設委員会】

#### <運営委員会>

##### 第2回運営委員会

平成29年6月7日（水）午後4時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 19名

議 題

1. 表彰規則に基づく被表彰該当者（案）について
2. 平成28年度事業報告書の承認について
3. 平成28年度決算書の承認について
4. その他委員会報告
5. ワールドカフェ方式による意見交換

<ゲスト> 岡山大学地域総合研究センター 副センター長 前田 芳 男 氏

【テ ー マ】 岡山商工会議所の将来ビジョンについて  
創立140周年事業について



運営委員会

##### 第3回運営委員会

平成30年3月8日（木）午後3時30分

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 20名

議 題

1. 平成30年度事業計画書（案）及び収支決算書（案）について
2. 平成30年度まちづくりシンポジウムの開催について
3. 岡山商工会議所創立140周年記念事業への取り組みについて
4. 講話「いま岡山に足りないもの『一』と『初』」

<ゲスト> 林原美術館 館長 谷 一 尚 氏

#### <中小企業振興委員会>

##### 第2回中小企業振興委員会

平成29年11月1日（水）午後1時30分

会 場 岡山商工会議所本所1階会議室

出席者 41名

議 題 中小企業振興委員会主催 働き方改革セミナー

講 師 プロビティコンサルティング(株) 代表 野田 弘 子 氏

1. なぜ、いま、政府を挙げての働き方改革が叫ばれているのでしょうか？
  - (1)今、なぜ働き方改革なのか？長時間労働はもはや経営リスク
  - (2)求められているのは人材の多様性と付加価値経営～成長戦略
  - (3)日本だからこそ～現場から始まる成長戦略とは
2. 質疑応答



中小企業振興委員会

## <まちづくり委員会>

### 第1回まちづくり委員会

平成29年4月12日（水）午後3時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 29名

議 題

1. 前期まちづくり委員会の取り組みについて
2. 学会開催における岡山市コンベンション施設等の課題について  
＜ゲスト＞ 新見公立大学・新見公立短期大学  
学長 公文裕巳氏
3. 歩いて楽しい道路空間の創出について～県庁通り・西川緑道公園筋～  
＜ゲスト＞ 岡山市 都市整備局都市・交通・公園担当局長 鹿子木 靖 氏  
同 統轄審議監 林 恭 生 氏  
同 庭園都市推進課審議監 赤 坂 隆 氏  
同 庭園都市推進課 街なかにぎわい推進室長 難 波 雅 彦 氏
4. 意見交換



まちづくり委員会

### 第2回まちづくり委員会（第2回スポーツ支援委員会との合同委員会）

平成29年7月10日（月）午後3時30分

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 38名

議 題

1. 岡山市が進める観光振興策について  
・「桃太郎のまち岡山」をキーワードにした魅力発信と観光素材づくり  
・岡山城の魅力アップと岡山後楽園等各施設間の連携強化  
・「岡山型ヘルスツーリズム」の拠点化  
＜ゲスト＞ 岡山市 産業観光局長 山 本 修 司 氏
2. スポーツによるシティ・ブランディング戦略  
—まちづくり先行のスポーツ・ツーリズム推進の方法論—  
＜ゲスト＞ 岡山大学教育学研究科 講師 高 岡 敦 史 氏
3. 意見交換

### 第3回まちづくり委員会

平成30年1月25日（木）午後3時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 27名

議 題

1. 「フランス・ストラスブールまちづくり視察」報告について  
＜ゲスト＞ 岡山大学地域総合センター 助教 岩 淵 泰 氏
2. 岡山市中心市街地における再開発事業について  
＜ゲスト＞ 岡山市 都市整備局都市・交通・公園担当局長 林 恭 生 氏  
同 市街地整備課 都市再開発担当課長 柳 徳 見 氏  
同 市街地整備課計画・指導係長 橋 本 雅 司 氏
3. 意見交換

## <都市交通委員会>

### 第2回都市交通委員会

平成30年2月5日(月) 午後2時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 22名

議 題

1. 岡山都市圏の交通課題の解消に向けて

<ゲスト> 国土交通省 中国地方整備局岡山国道事務所長

池田裕二氏

同 岡山国道事務所計画課長 谷口雄一郎氏

同 岡山国道事務所計画課企画係長 藤田龍二氏

2. 都市圏並びに都市圏間のネットワーク形成に関する調査について

～岡山・倉敷・福山圏域における企業活動および意識調査～

<ゲスト> (一社)中国経済連合会 部長 高見佳宏氏



都市交通委員会

## <文化観光委員会>

### 第3回文化観光委員会

平成29年4月10日(月) 午後2時30分

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 24名

議 題

1. 「岡山後楽園 春の園遊会」開催計画について



文化観光委員会

### 第4回文化観光委員会

平成29年4月17日(月) 午前10時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 22名

議 題

1. 「岡山後楽園 春の園遊会」開催計画について

### 第5回文化観光委員会

平成29年5月9日(火) 午後4時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 28名

議 題

1. 「平成29年岡山後楽園 春の園遊会」の報告について
2. 「フルーツパフェの街おかやま」について
3. 「第7回宇喜多秀家ゆかりの地を訪ねて～鹿児島垂水～」について

### 第6回文化観光委員会

平成29年6月19日(月) 午後4時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 21名

## 議 題

1. 「インバウンド観光客の動向と取り組み状況」について  
＜ゲスト＞（公社）おかやま観光コンベンション協会 観光事業部長 船 越 俊 樹 氏
2. 「第7回宇喜多秀家ゆかりの地を訪ねて～鹿児島垂水～」について
3. 今後の活動について

## 第7回文化観光委員会

平成29年9月8日（金） 午後4時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 27名

## 議 題

1. 「備前焼の用の美を再発見する事業」について  
＜ゲスト＞（協組）備前焼陶友会
2. 「第9回 戦国の貴公子 宇喜多秀家☆フェス」の開催について
3. 「第7回宇喜多秀家ゆかりの地を訪ねて～鹿児島県垂水～」の報告について
4. 「桃太郎伝説創造発信事業」及び「桃太郎伝説の地 吉備路周遊事業」の実施について

## 第8回文化観光委員会

平成29年10月23日（月） 午後4時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 23名

## 議 題

1. 「岡山の歴史と文化」について  
＜ゲスト＞林原美術館 館長 谷 一 尚 氏

## 第9回文化観光委員会

平成30年3月9日（金） 午後4時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 20名

## 議 題

1. 「岡山県の観光施策とブランド戦略」について  
＜ゲスト＞ 岡山県 産業労働部観光課長 石 井 謙 次 氏
2. 「岡山ビジットアソシエーションの観光施策」について  
＜ゲスト＞ 岡山市 産業観光局観光コンベンション推進課  
プロモーション推進係長 東 勝 美 氏
3. 「体験型観光資源のメニュー化」について  
＜ゲスト＞（公社）おかやま観光コンベンション協会 観光事業部長 船 越 俊 樹 氏
4. 視察研修について

## 〔視察〕

～第7回宇喜多秀家ゆかりの地を訪ねて～

鹿児島県垂水市視察会

平成29年7月7日（金）～8日（土）

視察先 宇喜多秀家潜居地跡、平野家、桜島ビジターセンター、さつま無双 等

参加者 12名

### <景観環境委員会>

#### 第2回景観環境委員会

平成29年9月19日（火） 午後4時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 18名

議 題

1. 「岡山市の都市計画および桃太郎大通り・県庁通り・後楽園通りの景観条例等」について

<ゲスト>岡山市 都市整備局都市計画課長

福田 充 弘 氏

2. 「ミズベリング岡山旭川2017」の開催について
3. 「第2回旭川かわまちフォトコンテスト」最終審査



景観環境委員会

#### 第2回旭川かわまちフォトコンテスト授賞式

平成29年12月7日（木） 午前11時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 16名

### <地方創生推進委員会>

#### 第1回地方創生推進委員会

平成29年4月4日（火） 午後3時30分

会 場 岡山商工会議所本所4階会議室

出席者 18名

議 題

1. 国の地方創生の取り組みについて  
<ゲスト> 倉敷市長 伊 東 香 織 氏
2. 今後の委員会活動について
3. その他



地方創生推進委員会

#### 第2回地方創生推進委員会

平成30年3月13日（火） 午後3時30分

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 18名

議 題

1. 岡山市の移住・定住に向けた取り組みについて  
<ゲスト> 岡山市 市民協働局市民協働企画総務課移住・定住推進室長 藤 原 亮 氏
2. 岡山市へ移住しての感想・意見  
<ゲスト> 岡山盛り上げよう会 代表 佐 藤 正 彦 氏  
同 会員 高 田 佳 宏 氏
3. 質疑応答・意見交換
4. その他

## <ビジネス交流委員会>

### 第1回ビジネス交流委員会

平成29年4月5日（水）午後4時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 13名

議 題

1. 今後の委員会活動について
2. その他



ビジネス交流委員会

### 第2回ビジネス交流委員会

平成29年7月26日（水）午後4時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 15名

議 題

1. 議員・青年部・女性会の合同交流会について
2. その他

### 第3回ビジネス交流委員会

平成30年1月24日（水）午前10時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 17名

議 題

1. 議員・青年部・女性会の合同交流会について
2. その他

## <人材育成委員会>

### 第2回人材育成委員会

平成29年8月10日（木）午後4時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 21名

議 題

1. 岡山県教育委員会の取り組みについて
2. 教育関係者との意見交換



人材育成委員会

### 第3回人材育成委員会

平成30年3月6日（火）午後4時

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 15名

議 題

1. 『産官学連携人材ファーム』の取り組みについて

<ゲスト> 岡山大学地域総合研究センター 副センター長 前田 芳 男 氏  
同 実践型教育プランナー 吉 川 幸 氏

2. 『高度実践人』認定資格制度について

<ゲスト> 岡山大学全学教育・学生支援機構 准教授 中 山 芳 一 氏

岡山大学教育学研究科 講師 高岡 敦史 氏

3. 『グローバル人材育成特別コース』について

<ゲスト> 岡山大学グローバルパートナーズ 副センター長 釣 雅雄 氏

<国際委員会>

第1回国際委員会

平成29年8月7日(月) 午後4時

会 場 岡山プラザホテル

出席者 14名

議 題

1. 今後の国際委員会の活動について
2. 「JICAによる中小企業海外展開支援事業について」

<ゲスト> JICA(国際協力機構) 中国

専門嘱託(民間連携) 橘 まき 氏

採択事例発表: 「スーダンにおける活動について」

大紀産業(株) 取締役社長 安原 宗一郎 氏

3. 意見交換



国際委員会

<スポーツ支援委員会>

第2回スポーツ支援委員会(第2回まちづくり委員会との合同委員会)

平成29年7月10日(月) 午後3時30分

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 38名

議 題

1. 岡山市が進める観光振興策について
  - ・「桃太郎のまち岡山」をキーワードにした魅力発信と観光素材づくり
  - ・岡山城の魅力アップと岡山後楽園等各施設間の連携強化
  - ・「岡山型ヘルスツーリズム」の拠点化

<ゲスト> 岡山市 産業観光局長 山本 修司 氏

2. スポーツによるシティ・ブランディング戦略  
—まちづくり先行のスポーツ・ツーリズム推進の方法論—

<ゲスト> 岡山大学教育学研究科 講師 高岡 敦史 氏

3. 意見交換



スポーツ支援委員会

<情報委員会>

第2回情報委員会

平成29年8月23日(水) 午後3時30分

会 場 岡山商工会議所本所4階会議室

出席者 13名

議 題

1. 高度ICT社会を開花させるビッグデータとサイバーセキュリティについて

<ゲスト> 岡山大学大学院自然科学研究科 教授 横平 徳美 氏



### 第3回情報委員会

平成30年3月27日（火） 午前10時30分  
会 場 岡山商工会議所本所3階会議室  
出席者 12名  
議 題

1. 平成30年度中国経済産業局情報政策の概要について  
＜ゲスト＞ 中国経済産業局地域経済部  
参事官（情報・ヘルスケア産業担当）  
閑 田 英 敬 氏
2. データを活用した官民連携による産業競争力強化・地域課題解決  
について  
＜ゲスト＞ （一社）データクレイドル 代表理事 新 免 國 夫 氏



情報委員会

### 【特別委員会】

#### ＜西大寺地域活性化特別委員会＞

第2回西大寺地域活性化特別委員会  
平成29年10月13日（金） 午前7時30分  
出席者 15名  
内 容

- ・姫路城の見学とAR及びCG活用について視察
- ・大阪府富田林市の重要伝統的建造物群保存地区視察



西大寺地域活性化特別委員会

#### 第3回西大寺地域活性化特別委員会

平成29年12月19日（火） 午後3時45分  
会 場 備前岡山西大寺五福座  
出席者 20名  
議 題

1. 「西大寺観光マップ作成報告並びに観光振興についての提言」  
＜ゲスト＞ ノートルダム清心女子大学人間生活学科 教授 豊田尚吾および同大学学生3名
2. 今後の委員会活動について

#### ＜西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会＞

第15回西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会  
平成29年4月6日（木） 午後3時30分  
会 場 備前岡山西大寺五福座  
出席者 18名  
議 題

1. 第6回西大寺五福通りレトロ・マルシェの開催について
2. その他

#### 第16回西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会

平成29年5月18日（木） 午後3時  
会 場 備前岡山西大寺五福座  
出席者 17名

議 題

1. 第6回西大寺五福通りレトロ・マルシェの開催について
2. その他

第17回西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会

平成29年6月27日（火）午後4時30分

会 場 備前岡山西大寺五福座

出席者 15名

議 題

1. 第6回西大寺五福通りレトロ・マルシェ開催報告
2. 意見交換

第18回西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会

平成29年10月5日（木）午後3時

会 場 備前岡山西大寺五福座

出席者 17名

議 題

1. 第7回西大寺五福通りレトロ・マルシェの開催について
2. その他

第19回西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会

平成29年11月27日（月）午後3時

会 場 岡山商工会議所西大寺支所3階会議室

出席者 13名

議 題

1. 平成29年度決算報告について
2. 次回開催日について
3. 意見交換

<重要伝統的建造物群保存地区制度住民説明会>

第4回重要伝統的建造物群保存地区制度住民説明会

平成29年4月28日（金）午後3時30分

会 場 備前岡山西大寺五福座

出席者 22名

議 題

1. 「重伝建の仕組みとメリットについて」  
＜ゲスト＞ 岡山理科大学工学部建築学科 教授 江 面 嗣 人 氏
2. 「重伝建選定までの流れについて」  
＜ゲスト＞ 岡山市東区役所 地域づくり推進室 係長 湯 浅 博 氏
3. 質疑応答

<西大寺五福通り町並み保存会設立会議>

平成29年4月6日（木）午後3時

会 場 備前岡山西大寺五福座

出席者 17名

議 題

1. 保存会の設立趣旨について
2. 役員選任
3. 今後の活動について
4. その他

## 5 小規模事業者経営改善資金審査会

審査会開催回数 48回

小規模事業者経営改善資金

審査件数	293件
推薦件数	293件
推薦金額	260,812万円
貸付件数	289件
貸付金額	257,462万円

業種別推薦状況

①製造業	24件	22,977万円
②建設業	76件	77,460万円
③卸売業	24件	27,940万円
④小売業	45件	40,130万円
⑤サービス業	120件	86,505万円
⑥その他	4件	5,800万円

## 6 フルーツパフェの街おかやま実行委員会

第1回実行委員会

平成29年9月12日(火) 午前10時30分

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 10名

議 題

1. 役員の選任について
2. 平成28年度「フルーツパフェの街おかやま」事業報告及び収支決算について
3. 平成29年度「フルーツパフェの街おかやま」事業計画(案)及び収支予算(案)について

## 7 こだわりの逸品「おかやま果実」実行委員会

第1回実行委員会

平成29年9月25日(月) 午前10時30分

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

出席者 16名

議 題

1. 「こだわりの逸品『おかやま果実』」実行委員会副委員長の選任について
2. 平成28年度「こだわりの逸品『おかやま果実』」事業報告及び収支決算について
3. 平成29年度「こだわりの逸品『おかやま果実』」事業計画（案）及び収支予算（案）について
4. 平成29年度「こだわりの逸品『おかやま果実』」ブランド認定審査会・認定式について

## 8 諸会議

### (1) 正・副会頭

正・副会頭会議 12回

### (2) 行政機関等との懇談会

岡山県幹部との懇談会 5回  
岡山市幹部との懇談会 5回  
岡山市連合町内会幹部との懇談会 1回  
岡山市連合婦人会幹部との懇談会 1回  
岡山市都市戦略懇話会 1回  
おかやま地域発展推進協議体 3回  
おかやま円卓会議 1回  
岡山まちとモビリティ研究会 1回

### (3) 岡山商工会議所青年部

総 会 3回  
役員会 13回  
例 会 10回  
研修会・親睦会 5回  
創立25周年記念式典 1回

#### 岡山県商工会議所青年部連合会

総 会 1回  
臨時総会 1回  
役員会 6回  
総務委員会 7回  
企画委員会 7回  
第6回会員大会 1回

### (4) 岡山商工会議所女性会

総 会 1回  
役員会 12回  
例 会 5回

#### 岡山県商工会議所女性会連合会

総 会 1回  
正・副会長会議 3回

会員講演会	1回
(5) 岡山県地域ジョブ・カードセンター	
ジョブ・カードセンター地区連絡会	3回
(6) 外郭団体諸会議	
岡山県商工会議所連合会	
総会	1回
会頭・副会頭会議	1回
岡山県経済戦略会議	1回
岡山県経済6団体と岡山県経済活性化議員連盟との経済懇談会	1回
専務理事会議	10回
総務担当者会議	1回
景気観測調査担当者会議	1回
金融担当者会議	2回
貸金調査担当者会議	1回
経営改善普及事業のあり方検討会議	3回
広域経営支援センター会議	3回
岡山県小規模事業指導費補助金交付要綱検討会議	1回
岡山総友会・岡山経友会	
総会	1回
合同当番幹事会	4回
合同例会	12回
岡山経済調査協議会	
例会	10回
特別例会	1回
視察研修会	1回
岡山県日韓親善協会	
総会	1回
理事会（書面審議）	1回
岡山珠算振興会	
総会	1回
日本珠算連盟岡山県連合会	
総会	1回
会長・副会長会議	2回
理事会	3回
部会	3回
岡山武蔵倶楽部	
総会	1回
役員会	2回
例会	2回
津山線利用を促進する会	
幹事会	2回
中四国南北軸交流懇談会	

総 会 (書面審議)	1 回
幹事会	1 回
交流会	1 回
N P O 法人旭川を日本一美しい川に育てる会	
総 会 (書面審議)	1 回
理事会 (書面審議)	1 回
臨時総会	1 回
臨時理事会 (書面審議)	1 回

## (7) 関係団体諸会議

岡山東青色申告会	
役員会	1 回
岡山県北方領土返還要求運動県民会議	
総 会	1 回
理事会	1 回
幹事会	2 回
県民大会	1 回
空路利用を促進する会	
理事会	1 回
西大寺青色申告会	
総 会	1 回
役員会	1 回
西大寺青色申告会連合会	
総 会	1 回
役員会	1 回
役員・事務局連絡協議会	2 回
西大寺会陽奉賛会	
役員会	2 回
関係者会議	8 回
西大寺間税会	
総 会	1 回
役員会	1 回
研修会等	2 回
西大寺小売酒販組合	
総 会	1 回
役員会	2 回
研修会	5 回
西大寺酒販協同組合	
総 会	1 回
役員会	2 回
西大寺商店会連合会	
総 会	1 回
役員会	1 回

(一社) 西大寺青年会議所	
総 会	4 回
役員会	12回
例 会	12回
研修会・親睦会	24回
(公社) 西大寺法人会	
総 会	1 回
役員会	5 回
研修会	17回
さわやか東備会西大寺地区	
総 会	1 回
夏まつり西大寺実行委員会	
役員会	2 回
関係者会議	2 回

# VI 事業活動

## 1 平成29年度主要事業

### (1) フランス・ストラスブールまちづくり視察

11月4日（土）～11日（土）、岡崎彬会頭を団長とする「フランス・ストラスブールまちづくり視察」を行った。ストラスブール市は、フランスの中でいち早くトラム（路面電車）を導入し公共交通の充実を図るとともに、自動車の都市への流入をコントロールすることで、中心市街地の活性化に成功した「まちづくり先進都市」として世界に知られており、今回、岡山市、岡山大学、岡山経済同友会とともに総勢24名（当所からは岡崎彬会頭、梶谷俊介副会頭、高谷昌宏副会頭ら13名が参加）で同市を訪れ、人にやさしい都市交通の推進と地域資源を活かした街の魅力づくりについて学び、情報交換を行った。産官学合同の視察としては、2015年のアメリカ・ポートランド視察に続き2回目。

ストラスブール市では、ストラスブール市役所トラム課のフィリップ・バジュノー氏やフランス在住のコーディネーター・ヴァンソン藤井由実氏から、脱車社会、公共交通の整備と公共空間の美化など都市交通政策や、進化を続けるまちづくりについて聞くとともに、強力なリーダーシップでトラムを導入したカトリーヌ・トロットマン元市長と意見交換を行った。また、佐藤隆正在ストラスブール日本国総領事や、基礎自治体の広域連合組織であるストラスブール・ユーロメトロポールのヘルマン議長、ストラスブール大学のデネケン学長、アルザス商工会議所のアムブルジェ会頭を表敬訪問した。

また、併せて、当所参加者は隣接するドイツで、古都の街並みを活かしたハイデルベルク市のまちづくりや、交通先進都市カールスルーエ市で世界初の交通システム（トラムと都市鉄道の相互乗り入れ）を体験するなど、地域資源を活かしたまちづくりを精力的に視察した。



「トラムのまちストラスブール」として都心の活性化に成功したトロットマン元市長を囲んで

参加者名簿（順不同・敬称略）

#### 1. 岡山商工会議所関係者

団長	岡崎 彬	当所会頭・岡山ガス(株)取締役社長
	梶谷 俊介	当所副会頭・岡山トヨタ自動車(株)取締役社長
	高谷 昌宏	当所副会頭・(株)サンヨープレジャー取締役社長
	古市 大藏	当所運営委員長・(株)トミヤコーポレーション代表取締役会長
	古市 恵美	令夫人
	千原 行喜	当所常議員・(株)成通取締役社長
	藤原 恵子	当所議員・(株)フジワラテクノアート取締役社長
	梶原 一義	梶原乳業(株)
	内田 和則	(株)ビザビ執行役員クリエイティブ局長
	小林 裕明	全日本空輸(株)岡山支店長
	島田 久巳	アクサ生命保険(株)中国営業局長
	高橋 邦彰	当所専務理事
	小山 恵子	当所総務・企画部次長



## 2. 岡山経済同友会関係者

松田 久 代表幹事  
松田 節子 令夫人  
清水 大助 代表幹事秘書

## 3. 岡山市

大森 雅夫 市長  
折口 範昭 政策局政策企画課地方創生・政策調整担当課長  
平澤 重之 都市整備局交通政策課長

## 4. 岡山大学

榎野 博史 学長  
北川 博史 大学院社会文化科学研究科（文）教授  
氏原 岳人 大学院環境生命科学研究科（環）教授  
岩淵 泰 地域総合研究センター助教  
流尾 正亮 総務・企画部社会連携支援室（岡山市より出向）

## (2) サンノゼ経済訪問団視察報告

4月21日（金）～26日（水）まで、当所とサンノゼシリコンバレー商業会議所との姉妹縁組締結30周年を記念して「サンノゼ経済訪問団」（名簿のとおり）を組織し、サンノゼ市と姉妹都市縁組締結60周年を迎えた岡山市民訪問団と合同でアメリカのサンノゼを訪問した。

21日サンノゼに到着。サンノゼ市庁舎にて歓迎式典が盛大に行われ、夜には岡山後楽園を模して造られた日本庭園があるケリーパーク内にて歓迎ディナーパーティがあり、現地の舞踏団や演奏家により賑やかに音楽や舞踏が披露され温かい歓迎を受けた。22日には地元サッカーチームの本拠地であるアバイアスタジアムや地ビールのゴードンピアッシュ醸造所を訪問した後、ハマシアターにて文化交流イベントに参加、日本側からは吉備楽や岡山学芸館高校和太鼓部の演奏を披露した。23日はジャパントウンでの日系祭りに参加したほか、夜は送別式典が行われ親睦を深めた。24日にはサンノゼシリコンバレー商業会議所を表敬訪問し、マシューマホッドCEOからシリコンバレーの経済状況や商業会議所の活動などについて説明を受けた後、意見交換を行い、今後も友好関係を深めていくことを確認した。

その後、革新的企業であるトリプルリング社を視察、イノベーションを起こすための組織や風土づくりについて説明を受けた。また、テスラ社のショールームを訪問し、テスラの新型車の開発状況や販売戦略などについて話を聞いた。翌日は、在サンフランシスコ日本国領事館を表敬訪問し、トランプ大統領による国内政策やアメリカ経済などについて話を聞いた後、ナパバレーに移動し、オーパスワンなどのワイナリーを歩きながらワインの醸造について見聞を深めた。



シリコンバレーの先進企業を視察

## 参加者名簿（順不同・敬称略）

団長 岡崎 彬 当所会頭・岡山ガス(株)取締役社長  
中島 基善 当所副会頭・ナカシマホールディングス(株)取締役社長  
中島 永子 令夫人  
高谷 昌宏 当所副会頭・(株)サンヨープレジャー取締役社長  
千原 行喜 当所常議員・(株)成通取締役社長  
松田 久 当所常議員・両備ホールディングス(株)取締役社長  
森 健太郎 当所国際委員会委員長・(学)森教育学園副理事長

永山 久夫 当所国際委員会副委員長・岡山プラザホテル(株)取締役社長  
 永山 いづみ 令夫人  
 大坂 哲也 当所議員・(株)両備リソラ専務取締役  
 室賀 康史 当所議員・室賀ネジ機工(株)取締役社長  
 徳山 靖彦 当所議員・(株)徳山電機製作所取締役社長  
 大崎 泰正 就実大学経営学部教授  
 小林 裕明 全日本空輸(株)岡山支店長  
 清水 大助 両備ホールディングス(株)人事部長  
 中島 徳美 (株)バンケットサプライ取締役会長  
 石本 博郁 (株)石本洋紙取締役社長  
 小笠原 ヒロ子 (有)ニッティ・グリッティ取締役会長  
 高橋 邦彰 当所専務理事  
 藤原 裕久 当所総務・企画部次長  
 高杉 友香 当所総務課

### (3) 岡山後楽園 春の園遊会 ～池田厚子様を囲んで～

4月20日(木)、岡山後楽園において、池田家第16代当主・故池田隆政氏の令夫人で天皇陛下の姉にあたる池田厚子様をお迎えし、第3回目となる春の園遊会を開催した。この催しは、備前岡山藩主として、教育の振興や文化の発展に尽くし、今日の岡山市の都市としての完成度を高めた池田家を顕彰するとともに、この会を通じて岡山後楽園の新たな魅力を県内外に発信し、観光振興と地域活性化につなげることを目的に、当所文化観光委員会(大森實委員長)が企画・実施した。

当日は、逢沢一郎衆議院議員をはじめ、伊原木隆太岡山県知事、大森雅夫岡山市長、行政、経済界、文化界関係者ら約300人が出席。参加者は、厚子様をお迎えした後、池田遙邨画伯の松の絵が描かれている能舞台で厚子様を囲んで記念撮影を行ったほか、西外園の会場で食事やお茶席、琴の演奏を聴きながら歓談するなど、新緑と鮮やかな花々に彩られた後楽園でのひとときを楽しんだ。また、歴代藩主の居間として使われ、通常は非公開の「延養亭」の観覧ツアーを行ったところ、藩主が眺めた景色を堪能できる貴重な体験とあって参加者に大変好評だった。



厚子様を囲み能舞台において記念撮影

### (4) 「おかやまサービス産業生産性向上支援事業」を実施

サービス産業の生産性を高めるため、これまでサービス産業では体系的に取り組んでこなかったとされる「経営効率の向上」や「付加価値の向上」に向けた支援を岡山県商工会議所連合会として実施した。生産性向上に優れた実績を上げている全国の事例や地元企業の事例を交えた意識啓発のためのセミナーを開催したほか、岡山県における製造業等を含めた全産業を対象とした生産性についての現状を把握するためのアンケート調査を実施し、相対的にサービス産業の生産性向上に向けた課題や支援の方向性を把握することができる基礎的情報を整備した。

また、アンケート結果をもとに、生産性(1人あたりの付加価値額)の低かった、「医療・福祉」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業」、また、事業者数や従業員数が多い「卸売業、小売業」、「運輸業、郵便業」の5業種を対象に、モデルとなる事例を創出するための個別の事業者への専門家派遣を実施した。専門家派遣の内容としては、「IT活用」「業務フローの改善」「人材育成」「製造業の“カイゼン”導入」など様々な切り口で、生産性向上を支援した。



先進事例を紹介する意識啓発セミナーには120名が参加した

## (5) マル経資金による資金繰り支援と利用拡大を推進

無担保・無保証・低利率という有利な貸付条件で小規模事業者に対する経営支援を金融面から補完するマル経資金（小規模事業者経営改善資金）について、制度の健全な運営に努めるとともに迅速な推薦手続きを行い、審査会を年48回開催した。

昨年度に引き続き、資金繰り悪化が懸念される地域小規模事業者を金融面から支援する目的で、岡山市より利子補給が実施された。利子補給期間は12カ月、利子補給率は1.0%、実施期間は平成30年3月まで（岡山市の利子補給制度創設後に実行された貸付の借換を除く）。

会報でのマル経制度の紹介記事やチラシの折り込み、巡回を通じての広報活動に加え、DMの送付により積極的なPRを行った。また、日本政策金融公庫国民生活事業や税理士等の士業とも連携を密にし、新規案件の発掘に努めた。その結果、全体の約5割を占める新規利用に加え、再利用（借換・重複・再融資）も大きく伸び、推薦件数293件、推薦金額26億812万円と前年比件数で106.1%、同金額で111.1%と利用が増加した。全国515商工会議所においても、金額で第5位、件数では第6位となり、金額での実績順位が昨年度の6位よりワンランク上昇した。

## (6) 韓国・富川商工会議所との交流事業を実施

7月26日（水）～28日（金）の3日間、当所が友好交流協定を締結している韓国・富川商工会議所から経済訪問団が来岡し、交流事業を実施した。

趙天鏞会長を団長とする8社10名の富川商工会議所経済訪問団は、7月26日（水）に来岡。同日午前中、交流行事として両商工会議所の懇談会を開催し、両都市の情報交換や商工会議所の事業活動を紹介するなど相互に理解を深めた。午後からは農業機械メーカー、みのる産業(株)（赤磐市）や、キリンビール岡山工場を視察した。

27日（木）には後楽ゴルフクラブにて親善ゴルフ大会を開催し、20名の参加者は岡山の美しい深緑のなか交流を深めた。夕刻からは、岡山プラザホテルにてゴルフの表彰式と懇親会を開催し、今後も両地域の経済的な発展につながるよう相互に努め、交流を継続していくことを確認した。



富川商工会議所一行を岡山空港にて出迎え

## (7) 「食の逸品 販路開拓商談会&相談会」を実施

加工食品や生鮮品など岡山の食品関連事業者の販路開拓及びマーケティングを支援することを目的に「食の逸品 販路開拓商談会」事業を実施した。主に首都圏の小売業バイヤーを招いた商談会及び相談会を11月16日（木）及び1月24日（水）の計2回開催した。

商談会には延べ、バイヤー7社、セラー42社が参加し、81回の商談を行った。参加者からは、「今後の取引につながった」「商品改良に役立った」「催事出店が決まった」などの声があり、評価も上々であった。



販路開拓商談会

## (8) 創業スクールを実施

日本政策金融公庫・岡山県信用保証協会との共催により9月16日（土）～10月21日（土）の延べ5日間、岡山商工会議所本所にて開催し、創業予定者等32名が参加した。中小企業診断士等の専門家が創業までの基本ステップの講義を通じて、ビジネスプランの作成・グループ討議・プレゼンテーション等を実施した。また、創業スクールに先立ち、8月19日（土）に「創業



創業スクール10選表彰式

スクール プレセミナー」を開催し、27名の参加があった。

当スクールは、受講者満足度の高い取り組みを行っている支援主体として、全国101スクールの中から「平成29年度創業スクール10選」に選出された。これは平成27・28年度に引き続き3年連続の選出となった。

## 2 各種事業活動

### 1. 地域経済を支える中小・小規模企業の振興

#### ○中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業を実施

国の「平成29年度中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」では、中小企業・小規模事業者を支える支援機関の連携体として、全国に地域プラットフォームを設置し、当地域においても、当所を代表機関として県内商工団体、金融機関、専門家団体等57機関とが連携した「岡山県経営支援プラットフォーム」を構成し、専門家派遣等の経営支援を行った。

今年度は、創業や新事業展開、経営革新計画策定支援等の相談に対して、104件の専門家派遣を実施した。



専門家派遣の様子

#### ○「融資・経営安定特別相談会」を開催

小規模事業者の経営安定化を金融面から支援するため、各種融資制度や経営安定等の個別相談を行う「融資・経営安定」特別相談会を毎月2回開催し、延べ203件の相談があった。融資相談の他、金融円滑化法による条件変更等の厳しい内容の相談も寄せられた。

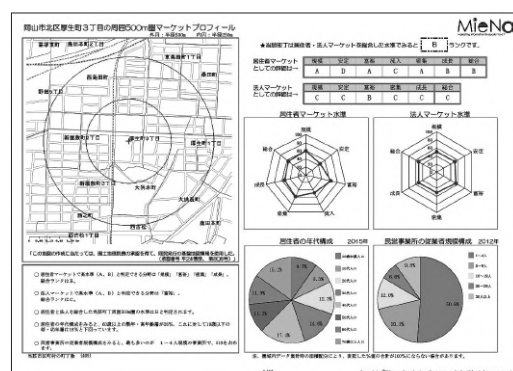
#### ○専門家を派遣し経営改善支援事業を実施

当所経営安定特別相談室では、売上減少や資金繰り悪化などの経営に関する諸課題を抱える事業所、またマル資金利用事業者の経営改善に係る相談に対して、中小企業診断士等の専門家を派遣した。また、金融円滑化法に伴う条件変更を申し込む事業者に対しては、金融機関に提出するための「経営改善計画」の作成支援を行った。当年度、当相談室では84件の専門家派遣を行い、小規模事業者の経営改善に積極的に取り組んだ。

#### ○「商圈分析レポートサービス」事業について

小規模事業者や創業予定者をはじめとした様々な事業者を対象に、事業者自身で行うには困難なマーケット分析について、昨年に引き続き今年度も(株)日本統計センター(本社:北九州市、調査・分析、各種計画策定等を中心としたシンクタンク業務などを実施)と提携し、個社ごとに作成した商圈分析レポートを活用した支援サービスを実施した。

当所に窓口相談に来た創業予定者や小規模事業者に対してレポート結果を提供し、出店エリアの選定や新メニューの検討にあたっての参考材料として活用した。



商圈分析レポート

#### ○ももたろう共済の加入促進

会員事業所の福利厚生充実のための生命共済制度「ももたろう共済」の加入促進に取り組むとともに、加入事業者に対する還元事業として、今年度はホテルグランヴィア岡山においてランチバイキングを開催。6月1日(木)、2日(金)、5日(月)、8日(木)の4日間で137事業所257名の参加があった。

### ○消費税転嫁対策窓口相談等事業を実施

消費税率引き上げ及び軽減税率制度導入に対応するための経営力強化等のセミナーを年10回開催するとともに、個別相談に対しては、税理士・中小企業診断士等の派遣を行うなど、きめ細かい支援を行った。

### ○岡山県最低賃金総合相談支援センター事業の実施

岡山労働局の委託を受け「岡山県最低賃金総合相談支援センター」を開設、経営面と労働面の相談等をそれぞれの専門家によってワンストップで対応できる相談窓口を整備し、中小企業からの労働条件管理等の無料相談を実施した。相談実績は、専任コーディネーターによる窓口相談455件、社会保険労務士等の専門家派遣によるアドバイス125件であった。

## 2. 会員サービス事業を強力に展開

### ○会員ビジネス交流会を開催

地域の中小企業を取り巻く経済環境が厳しさを増すなか、商工会議所の強みであるネットワークを活かしたビジネス交流の場を提供することで、会員事業所のビジネスチャンス創出や事業所相互の交流を図るため、会員ビジネス交流会を年間3回開催した。

7月14日（金）には、「魅力的な協働の場を創造していくためのポイント」をテーマに今年度の第1回会員ビジネス交流会を開催。その後も10月31日（火）には「クラウドソーシング」をテーマとして第2回交流会、1月29日（月）には「ブランド戦略とブランド・ストーリー」をテーマとした第3回交流会をそれぞれ開催した。各回とも「ミニセミナー」、「1分間プレゼンテーション」、「名刺交換・交流会」などを通じて参加者は大いに交流を深めた。



会員ビジネス交流会

### ○プレスリリースサポート事業を実施

地域の中小企業は引き続き厳しい経営環境に置かれているものの、舵取りのしやすい小規模であることを活かした新規性のある事業や、社会のニーズに対応したユニークな事業に取り組んでいる企業も少なくない。当所では、こうした企業の地域社会からの認知を高め、企業の業績向上につなげるため、無料でできる情報発信の手段としてプレスリリースサポート事業を行った。文書の作成や報道機関へのリリース文送付など、広報活動における支援を行い、今年度は、岡山経済金融記者クラブや経済情報誌など各種媒体に42件のリリースを実施した。

### ○平成29年度（第63回）岡山商工会議所優良従業員表彰式を挙

11月21日（火）、会員事業所へ30年以上勤務する永年勤続従業員を対象にした表彰式が、本所4階会議室で挙行された。岡崎会頭の式辞の後、カーツ（株）の長江賢吾氏が代表して表彰状を受け取った。続いて、繁定昭男副市長より、大森雅夫岡山市長からの祝辞が披露された。最後に、ネットヨタ岡山（株）の千田操氏から謝辞が述べられ、式典は終了した。

表彰規則第1条該当者（勤続30年以上の永年勤続者）113名



優良従業員表彰式

### ○岡山武蔵倶楽部を運営

在岡の支店長と地元企業経営者らで組織する岡山武蔵倶楽部は、7月4日（火）に総会を開催し、平成28年度事業報告・決算並びに平成29年度事業・予算計画等が承認された。引き続き、岡山シーガルズの現状と今後の期待について、同チーム顧問も務める岡山大学地域総合研究センター長の三村聡氏による講演があり、河本昭義監督や選

手も登壇し抱負などを語った。3月6日（火）の例会では、京都大学大学院理学研究科教授の森和俊氏を招き「田舎者の少年がどのようにしてノーベル賞候補者になったか？」と題した講演会を開催した。

例年実施している第14回岡山武蔵倶楽部大賞では、岡山城や路面電車を彩り、観光客のみならず地元の人々をも魅了したマスキングテープ『m t』を、特別賞にはぶどう栽培から瓶詰めまで自分たちで行う全国でも珍しいワイナリー『domaine tetta』、黄ニラ・岡山パクチーのブランド化に取り組んだ『☆黄ニラ&岡パク大使☆』を選定し、表彰式を12月19日（火）に行った。

また、ゴルフ大会や、新見で酒造りに励むワイナリーや酒蔵への視察を実施するなど各種事業を行い、会員相互の交流を深めた。



岡山武蔵倶楽部大賞授賞式

### ○夕学講座を開催

会員事業所の自己啓発を支援するビジネス講座「夕学講座」を、当所が事務局を務める岡山県商工会議所連合会と岡山商科大学との連携事業として実施した。慶應義塾大学の社会人教育機関である慶應丸の内シティキャンパスが「夕学五十講」として運営している講座を岡山商科大学の会場で開講。一流の学者や経済人・文化人・ジャーナリストの講演を岡山にいながらにして聴講できるとあって、平成29年度は前期・後期の計30講座を延べ1,770名が受講した。

## 3. 魅力あるまちづくりと中心市街地活性化の推進

### ○重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）制度住民説明会を開催

4月28日（金）、地域住民で組織する西大寺五福通り町並み保存会会員及び当所西大寺地域活性化特別委員等22人が参加し、五福座で開催。

岡山理科大学から重伝建制度の仕組みについて、岡山市東区役所からは平成25年に重伝建選定を受けた津山市城東地区の事例を挙げ、選定までのながれと重伝建制度のメリット・デメリットについて説明を受けた。

岡山理科大学江面嗣人教授より、早い段階で、重伝建選定の判断を担う文化庁に調査に来てもらい、選定の可能性を確認した方がよいとの助言があった。今後、保存会で話し合いの場を設け、調査依頼を行うかどうかについて協議していくこととした。



重伝建制度住民説明会

### ○「ゴールデンフェスタ岡山2017」を開催

岡山市商店会連合会主催、岡山市と当所の共催により5月3日（水・祝）～5月5日（金・祝）の3日間、市内各商店街と商施設で実施。

初日には、アムスメール上之町シンボルタワー前でオープニングイベントが行われた。岡山市商店会連合会公認歌姫Chiiによるオープニングソングにはじまり、主催者による開会宣言などが行われ開会した。期間中、毎回好評のワゴンセールに加え、うまいもん屋台村、空くじなしガラポン抽選会、こだわりバザール&ワークショップマルシェ、奉還百縁日、ネクスト奉還町など多彩な集客イベントが各会場で展開され、家族連れや若者など多くの買い物客で賑わった。

### ○「備前岡山ええじゃないか2017大誓文払い」を開催

11月3日（金・祝）～5日（日）の3日間、岡山市商店会連合会主催、岡山市・当所の共催により市内各商店街

などで開催。今回はコンセプトを「わくわくショッピングな3日間！3世代でええじゃないか！！」とし、アムスメール上之町での商店主決起集会により威勢よく開幕した。期間中は、毎回好評の大ワゴンセールをはじめ、表町商店街の「ストライプマルシェ」や「ハンドメイドバザール」、駅前商店街の「新鮮！海鮮とれとれ市」や「コラボパーティンティング」、奉還町商店街の「おかやまパンマルシェ」や「奉還百縁日」など各地で多彩なイベントが行われ、多くの買い物客で賑わった。

#### ○「旭川さくらみちの桜」保全活動を終了

旭川さくらみちのソメイヨシノは、昭和32年に地元町内会の有志らによって植樹されたものの、明確な管理者がないまま半世紀が過ぎ、全滅の可能性が危惧されていたことから、平成19年10月、当所が中心となり、「旭川さくらみちの桜を守る会」を設立。保全活動を行うとともに、桜並木を次世代に残すため、関係機関と協議を重ねてきた。その結果、国土交通省岡山河川事務所による護岸工事及び岡山市による歩行空間整備が開始され、平成30年3月末に一連の工事が完了。以降は、岡山市が桜並木の管理者として保全、植え替えなどに取り組むこととなり、所期の目的を達成したことから、3月21日、「旭川さくらみちの桜を守る会」の解散総会を旭川河川敷において行った。また、総会に先立ち、桜の記念植樹を行った。

#### ○旭川かわまちづくり計画検討・推進会議を運営

岡山カルチャーゾーン一帯の魅力向上を図ることを目的に、平成25年4月、国へ登録された「旭川かわまちづくり計画」に基づく事業等を円滑に推進するとともに、同計画の変更について検討を行うため「旭川かわまちづくり計画検討・推進会議」が設置された。

平成29年11月8日（水）、第3回会議にて決定した、水辺の回遊路（石山公園下の河川敷）歩行性向上のための舗装方法、舗装の色調について、現地にて説明会を開催。会議において支持された色調で施工することを決定した。

### 4. 産業振興と雇用対策事業の実施

#### ○岡山県地域ジョブ・カードセンターを運営

非正規雇用労働者など職業能力形成機会に恵まれなかった人に対して、企業内で実習や座学を実施することでキャリアアップを図り、正社員登用並びに職場定着を目的とするジョブ・カード制度事業（平成20年度創設）を、企業開拓推進員や訓練コーディネーターを配置し推進した。

平成29年度も岡山県地域ジョブ・カード運営本部会議（事務局：岡山労働局）で策定された「岡山県地域推進計画」に基づいて、ジョブ・カード制度に賛同・協力する「ジョブ・カード普及サポーター企業」の登録推進、雇用型訓練実施企業の開拓等を精力的に行った。

その結果「ジョブ・カード普及サポーター企業」は327社の登録があったほか、岡山労働局が訓練確認済・認定コースは262コース、訓練生の総数は283名であった。

また訓練実施企業の従業員に対し、当センターで実施したキャリアコンサルティングは272件にのぼった。

#### ○「フルーツパフェの街おかやま」事業の実施

旬の果物を使った独創性のあるフルーツパフェを提供し、「食べ歩きの魅力」「集積地としての魅力」を創出することで、全国に岡山県産果物の魅力を発信し、岡山市の産業・観光振興による地域活性化を図ることを目的に実施。

今年度は34店舗の参加があり、参加店並びに市内観光関連施設へのパンフレットの配布や地域情報誌や旅行ガイド誌等への情報提供を行い、PR活動に努めた。

また、8月9日（水）・10日（木）の2日間にかけて「フルーツパフェの街おかやまin未来スクエア」をイオンモール岡山にて開催。フルーツ王国岡山の認知度向上をねらい今年度初めて実施し、岡山県産果物



イオンモール岡山では初開催となるパフェの催し

を使用したフルーツパフェ等の販売を行い、多くの来場者を集めた。

### ○「こだわりの逸品『おかやま果実』」事業の実施

岡山県産の果物を使った、こだわりの逸品の基準を満たす果物加工品を「おかやま果実」ブランドとして認定し、全国に発信することにより、フルーツ王国岡山のイメージアップや参加事業者の販路拡大を図ることを目的に実施。

今年度についても新製品募集を行い、10社12製品を追加認定した。1月29日（月）には、岡山商工会議所第3回会員ビジネス交流会の中でおかやま果実ブランド認定式を行い、当日参加者に対して広くPRを行った。

また、2月7日（水）～9日（金）には、「おかやま果実」ブランド認定製品を「東京国際ナショナルギフトショー feel NIPPON 春2018」に出展した。全国のバイヤーやメディアに向けた試食提供やPRを行い、積極的な商談が行われた。



feel NIPPON 春2018

## 5. まつり諸事業等地域振興の推進

### ○2017岡山さくらカーニバルを開催

岡山さくらカーニバル実行委員会（当所、岡山県、岡山市など8団体で構成）の主催により、3月31日（金）～4月12日（水）の間、蓬莱橋から相生橋にいたる旭川河川敷で開催。河川敷では家族連れや職場グループが弁当やバーベキューに舌鼓を打ちながら桜を楽しんだ。会場周辺は日没から午後9時までちょうちんやぼんぼりでライトアップされ、延べ約7万3,000人が訪れた。

### ○第66回宗忠神社「御神幸」を開催

4月2日（日）、当所、宗忠神社奉賛会主催により開催。平安時代の装束に身を包んだ約1,000人の参加者が岡山市内中心部を練り歩いた。午前7時30分、宗忠神社を次々に出発、後楽園までの往復12kmを歩いた。徳島の阿波踊りや高知のよさこい鳴子踊りなどのパレードもあり、沿道では多くの市民が見入ったほか、後楽園では、お旅所の神事が厳かに行われた。

### ○おかやま西大寺マラソン大会2017を開催

おかやま西大寺マラソン実行委員会（当所、岡山YEG、岡山市など16団体で構成）は、西大寺の魅力を広くアピールすることを目的に4月23日（日）に開催。3キロ・10キロの2コースに3,000人を超えるランナーが参加した。国の重要無形民俗文化財に指定されたはだか祭りでも有名な「西大寺観音院」やレトロな町並みの「五福通り」を通るコースが設定され、地域住民の声援の中、ランナーは西大寺の歴史と文化を感じながら走り抜けた。



おかやま西大寺マラソン大会2017

### ○西大寺五福通りレトロ・マルシェを開催

当所ほか10団体で組織する実行委員会は、5月28日（日）に第6回レトロ・マルシェを開催した。買い物とともに町並み散歩を楽しんでもらうことを目的に開催しているもので、農産加工品や地元産品、手作り雑貨等を販売するテントが約40店立ち並び、約3,000人の来場者で賑わった。

地域住民有志によるチンドン屋をはじめ、恒例の近田屋箆笥店の見学ツアーを開催、学芸館高校和太鼓部による演奏や西大寺高校書道部によるパフォーマンスも好評で、地元学生も参画した華やかなイベン



西大寺五福通りレトロ・マルシェ



トとなった。10月29日（日）に開催予定としていた第7回レトロ・マルシェは台風のため中止した。

### ○夏まつり西大寺2017を開催

当所ほか13団体で組織する夏まつり西大寺実行委員会の主催により、7月15日（土）に夜待まつり、8月19日（土）に水まつりを西大寺観音院で開催した。

夜待まつりは天候に恵まれ、約90店の露店が並ぶ境内で、6団体による演舞、会陽太鼓、吹奏楽団の演奏等が披露された。午後8時から吉井川対岸から約1,000発の花火が打ち上げられ、直径160mに及ぶ大玉花火や水中花火等が夏の夜空を彩り、詰め掛けた観客を魅了した。

水まつりでは、境内において6団体約180名が参加して盆踊り大会を開催。市街地を流れる西川では灯ろう流しが行われ、千を超える灯ろうが作る幻想的な光の帯を多くの見物客が見守った。

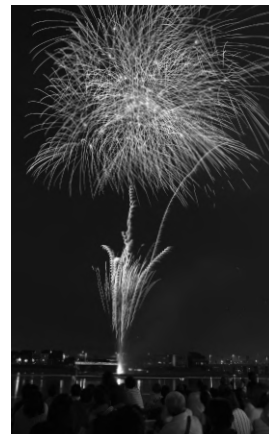


多くの観客で賑わう境内

### ○おかやま桃太郎まつり第44回納涼花火大会を開催

当所などで組織するおかやま桃太郎まつり納涼花火大会実行委員会では、8月5日（土）の夕刻、「桃太郎のまち岡山～夜空に光と音が舞い踊る～」をテーマに「第44回納涼花火大会」を開催。レーザー光線と音楽を織り混ぜた華やかな音と光の世界に会場は歓声と拍手に包まれた。

8月6日（日）は市役所筋や表町商店街などで、うらじゃおどりのパレードや定置演舞が催された。このほか、山陽新聞社さん太広場ではキャラクターショーや大道芸などのファミリーフェスタが開催され、大勢の見物客がまつりを楽しんだ。



約5,000発の花火が夜空を飾った

### ○NPO法人旭川を日本一美しい川に育てる会を支援

旭川アダプト・プログラム一斉清掃に取り組むことにより、旭川清流化啓発活動を行うNPO法人旭川を日本一美しい川に育てる会を支援した。

本年度は一斉清掃を岡山納涼花火大会翌日の8月6日（日）に行い、73の団体・企業・個人から1,481名が参加した。

### ○秋の桃太郎まつりを開催

おかやま桃太郎まつり運営委員会（当所、岡山県、岡山市など10団体で構成）は、郷土の食と芸能と歴史の祭典「秋のおかやま桃太郎まつり」を10月7日（土）～9日（月・祝）の3日間、岡山城をメイン会場に石山公園、山陽新聞社さん太広場において開催した。県内市町村の特産物をそろえた「ふるさと食の自慢市」、大道芸など多彩な催しが行われ、家族連れなどで賑わった。

10月8日（日）は、うきうきクラブが担当し、岡山城天守閣前広場において、「第9回戦国の貴公子宇喜多秀家☆フェス」を開催した。岡山の発展の礎を築いた宇喜多直家・秀家親子を顕彰するとともに、歴史と文化を活かした観光振興を目的に行っている。

八丈島の八丈踊り・八丈太鼓の演奏で幕を開け、情景描写ピアニストで作曲家の山地真美氏が秀家公をイメージした曲を披露。備前岡山城鉄砲隊による火縄銃の演武、名刀太鼓の演奏、古武道の演武、うきフェス特製和菓子の販売など多彩な内容で行った。

フィナーレでは、環太平洋大学マーチングバンド部の華やかな演奏が来場者を魅了し閉幕した。



宇喜多秀家☆フェス

## ○「桃太郎のまち岡山」創造・発信事業の推進

当所、岡山市、おかやま観光コンベンション協会で構成する「岡山ビジットアソシエーション」では、「桃太郎」を都市イメージとして事業を展開。「桃太郎伝説創造発信事業」として、女優の桜井日奈子さんを起用した「鬼カワイイ岡山市」PR動画の制作・配信をするとともに、桃太郎大通りを中心とした回遊イベントを10月7日（土）～11月30日（木）まで開催した。「桃太郎伝説の地 吉備路周遊モニターバスツアー」では、10月～11月の土日祝日の計18日間、桃太郎ゆかりの地を周遊するモニターバスツアーを催行し、各スポットの歴史・文化的背景を学習できる動画を制作、バス車内で上映した。

## ○ファジアーノ岡山募金を贈呈

11月19日（日）、ファジアーノ岡山募金推進委員会の中静敬一郎副委員長が、ファジアーノ岡山の木村正明代表へ募金を贈呈した。

募金は、岡山市を中心に県内の事業所や飲食店、イベントなど約400箇所募金箱を設置して、市民・県民に協力を呼びかけたもの。

今年の贈呈額は約250万円で毎年ホーム最終戦当日、ファジアーノ岡山に贈呈している。平成21年の活動開始からの累計は約3,100万円にのぼる。



ファジアーノ岡山への募金贈呈式

## ○おかやま桃太郎まつり MOMOTAROH FANTASY 2017を開催

12月1日（金）～12月25日（月）まで、MOMOTAROH FANTASY実行委員会（当所、岡山市など11団体で構成）の主催により開催。「桃太郎 光絵本」をテーマに岡山市中心部が8.7万個の電球でライトアップされた。岡山駅前広場では、高さ10mのシンボリックなツリーを設置した。

## ○「雲中の飛龍 山田方谷」NHK大河ドラマ放映実現を求める運動を実施

幕末の備中松山藩の藩政改革を成功させた郷土の偉人山田方谷に学び、広めるため、NHK大河ドラマ放映実現を求める運動を引き続き行った。

1月14日（日）には、岡山市の表町商店街で実行委員会メンバー約20名が署名活動を行い、約800名の署名を集めた。

## ○ファジアーノ岡山「2018年キックオフ交流会」を開催

1月16日（火）、岡山ロイヤルホテルにおいて当所と岡山県サッカー協会、ファジアーノ岡山募金推進委員会の3団体の共催により、ファジアーノ岡山「2018年キックオフ交流会」を開催した。同チームを応援する県内の企業・団体等から約330名が出席し、長澤徹監督や木村正明代表、選手らを激励した。また、当日の参加費の一部からなる激励金を、松田正己募金推進委員会委員長よりチームに贈呈した。

懇談中には、選手らが記念撮影やグッズにサインするなど参加者と和やかな雰囲気での交流を深めた。



2018年キックオフ交流会

## ○第4回晴れの国おかやま検定を実施

昨年に引き続き、「第4回晴れの国おかやま検定」を2月4日（日）、共催の岡山県とともに実施した。当日は、579名が受験し、得点の高い方から達人[90点以上]77名(13.3%)、博士[60～89点]341名(58.9%)を認定した。認定者には認定証のほかバッジとステッカーを、さらに達人には岡山後楽園や岡山県立博物館、岡山県立美術館の年間

パスポート、とっとり・おかやま新橋館商品券を贈呈した。

※( )内は受験者579名中の割合

### ○第509会西大寺会陽を開催

日本三大奇祭の一つに数えられる西大寺会陽が、2月17日(土)、西大寺会陽奉賛会(事務局:当所西大寺支所)の主催により、西大寺観音院において執り行われた。今回は509回目の開催。県内外から多数のメディア取材が相次ぐなか、3万3千人の観客を集めて開催した。

当日は好天に恵まれ、午後3時から大人の部に先立ち、小学生による「第47回少年はだか祭り」を開催。310人の元気な小学生が集結し、5・6年生の部では大人さながらの宝筒争奪戦が繰り広げられた。午後7時30分を過ぎると、肩を組んだ裸衆が仁王門から入場し、境内を練り歩いた。祝主の徳山電機製作所・ネットヨタ岡山からも、合わせて500人を超える参加者が地練りを披露した。

午後9時を過ぎると、宝木争奪に参加する裸衆が次々に境内へ入場し、本堂大床上で激しい揉み合いを展開。修正会が結願した午後10時、全ての照明が消される中、宝木が御福窓から投下されると、約1万人の裸衆が激しい争奪戦を繰り広げ、勇壮な「はだか祭り」が国内外から集まった観客を魅了した。



第509会西大寺会陽

## 6. 広域交流と連携の推進

### ○鹿児島県垂水市視察会を実施

7月7日(金)・8日(土)、文化観光委員会メンバーら12名(団長:石井清裕副会長、副団長:大森實委員長)は、宇喜多秀家ゆかりの地である鹿児島県垂水市を訪問した。垂水市牛根麓は、秀家が関ヶ原の合戦で敗れた後、同じ西軍だった島津義弘を頼り逃れたところ。垂水市水産観光課の森山課長、松ヶ崎郷土史研究会の下世会長の案内で、秀家が2年3カ月の間身を隠していた潜居跡を訪れた。また、当時、本宅を明け渡して秀家一行を世話した平野家現当主の平野利孝氏を訪ね、代々語り継がれている秀家についての話を聞いた。九州新幹線が開通した平成23年に次いで今回が2度目の訪問だったが、潜居跡には、新しく看板や遊歩道が整備されていた。



秀家一行を手厚くもてなした平野家の現当主から、語り継がれた当時の様子を聞く

### ○中四国南北軸交流懇談会徳島交流会

3月1日(木)・2日(金)の両日、鳥取、島根、岡山、香川、徳島、高知の42商工会議所で組織する中四国南北軸交流懇談会は、徳島県の阿波池田商工会議所の主管により三好市内において交流会を開催。6県から正副会長や議員、専務理事等65名が参加した。

交流会では、四国旅客鉄道(株)代表取締役社長の半井真司氏による「わざわざ乗りこぎにきていただける鉄道を目指して」と題した講演が行われたほか、東洋文学者のアレックス・カー氏からは、祖谷地域における古民家再生の取り組みについての講演が行われた。エクスカーションでは、大歩危峡遊覧船や徳島の風土と文化を堪能できる観光列車「四国まんなか千年ものがたり」に乗車するなど、地域の特性を活かした観光への取り組み事例を視察した。



アレックス・カー氏による古民家再生の取り組みについての講演

### 3 意見活動

#### ○小規模事業者経営改善資金（マル経資金）に対する利子補給の実施について

我が国経済は、雇用・所得環境の改善にみられるように好循環が広がりつつある中で、新興国等海外経済の弱さや資源価格の動きが一服したことなどにより、企業の業況観も改善をみせ、生産面を中心に緩やかな回復基調が続いています。

しかしながら、地域の中小・小規模事業者においては、消費の伸び悩みに加えて、原材料の高騰、仕入れ価格の上昇などの影響により依然として厳しい経営環境におかれています。

今後事業者が利益を確保し、継続的に事業活動していくためには生産性の更なる向上が必要とされているところです。

中小・小規模事業者の労働生産性は、大企業の半分以下でこの差は拡大しています。小規模事業者の競争力を維持するためには労働生産性の向上が必要であり、設備導入などによる業務の効率化、省力化やマーケティングなどによる付加価値の向上に取組む余地があります。

また、中小・小規模事業者のライフサイクルにおいて、「創業期」及び「成長初期」は資金調達が最も大きな課題となる企業が多くなっており、今後事業拡大をし、地域経済を支える事業者にとって資金調達は大きな課題となっています。特に資金調達時の金利負担については、大企業と比較すると1%程度の差異があるなど金利負担も重くなっています。

こうした中、商工会議所及び商工会では、国の施策を積極的に活用して事業の持続的な発展を支援するため、岡山市との連携により支援体制を整備し、経営指導員による巡回指導や窓口相談業務等の充実を図るなど、中小・小規模事業者の支援強化に努めてまいりました。

なかでも、「小規模事業者経営改善資金（マル経資金）」は、経営改善普及事業における経営指導を金融面から補完し、単なる事業資金の融資に留まらず、きめ細かく小規模事業者の経営支援を実施する融資制度であります。

また、マル経資金は「無担保・無保証人」であることから、小規模事業者の資金繰り及び経営改善、円滑な事業承継や創業者の成長促進においても極めて重要な融資制度となっており、当地域における雇用の維持・確保・拡大に大きく寄与しています。

岡山市においては、平成24年4月に「岡山市小規模事業者経営改善資金利子補給制度」を創設いただき、小規模事業者への経営支援に努めた結果、平成28年度におけるマル経資金の実績は、利子補給制度創設前の平成23年度と比較して、件数で295.6%、金額では481.5%の増加となり、マル経の推薦件数は着実に増加し、小規模事業者の経営にとって肝要なものとなっています。一方で、マル経資金の小規模事業者における推薦率は5.3%と低く、更なる持続的発展には引き続きマル経の支援拡大に努める必要があります。

つきましては、岡山市、商工会議所及び商工会が一層連携し、当地域小規模事業者の持続的発展の支援を強化するため、マル経資金に対する利子補給の継続につきまして、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

##### 1. 利子補給対象者

岡山商工会議所、岡山北商工会、岡山西商工会、岡山南商工会（東児支所を除く）、赤磐商工会（瀬戸支所）のいずれかの推薦を受け、日本政策金融公庫による融資を受けた小規模事業者

##### 2. 利子補給内容

利子補給額は、融資の契約を交わした日から1年間に支払った利子を対象に、その1%相当額を補給

要望先 岡山市長 大森 雅夫 氏

要望日 平成29年8月21日（月）

要望者 岡山商工会議所、他関係団体と合同

## ○平成30年度税制改正に関する要望

～事業承継を契機とした中小企業の活性化のため今こそ、承継に係る税負担の大胆な減免を！～

### <中小企業の「大企業承継時代」が到来>

- ・わが国の中小企業数は、経営者の高齢化と後継者難等による廃業で、この5年間で40万者減少。間もなく、団塊世代の経営者30万人が70歳を迎える「大企業承継時代」が到来
- ・一方、わが国の開業率は4.6%と諸外国と比べて極めて低く、地方ほど廃業率が開業率を上回っている。このままでは、わが国の経済基盤である中小企業層は衰退の一途へ

### <事業承継税制に関する考え方>

- ・がんばって成長するほど、中小企業の自社株評価は上昇。自社株を引き継ぐ後継者に重い相続税負担が発生
- ・中小企業の自社株は、経営に必須で換金不可能という、他の財産とは違う性格  
中小企業の自社株は、他の財産とは違い、事業を継続する限り売却できない。自由に売却できない自社株に、他の財産と同等の税負担を求めるべきではない
- ・後継者が事業の発展（IT化・生産性向上投資等）に注力できる環境整備が必要
- ・諸外国では、自社株の承継に係る贈与税・相続税の8～10割を軽減する制度を導入済み

### ➡がんばって成長する中小企業の承継負担を大胆に減免する「諸外国並み」の事業承継税制が必要

諸外国並みの事業承継税制の実現に向け、抜本的に見直すべき点は以下のとおり

1. 納税猶予ではなく、5年間事業継続後の納税免除制度の実現
2. 深刻な人手不足を踏まえた雇用要件の見直し
3. 税制の効果を薄める対象株式総数制限の撤廃（2/3→3/3へ）
4. 経営人材の登用を制限する代表者・筆頭株主要件等の撤廃

要望先 地元選出与党議員

要望日 平成29年10月30日（月）

要望者 岡山商工会議所

## ○岡山県予算編成に関する要望

平成30年度岡山県予算編成にあたり、下記の事項について重点的に推進されるよう要望いたします。

### 記

#### I. 景気、中小・小規模企業対策に関する要望

日本銀行の平成29年11月の岡山県金融経済月報では、「県内景気は、緩やかな回復を続けている」、「個人消費」、「設備投資」、「県内主要製造業の生産」は、何れも「持ち直している」としているものの、岡山県商工会議所連合会の平成29年7～9月期の岡山県の景気観測調査では、「景況は2期ぶりに悪化、収益改善の遅れから足踏み状態」となっており、足元の経営環境は依然として厳しい状況にある。

昨今は、少子高齢化・人口減少社会、多様化する社会の変化、さらには国際競争力の強化に向けた「働き方改革」や「生産性向上」が急務ではあるが、こうした取り組み一つを取ってみても、東京一極集中による地域格差は拡大する一方であり、地方の特色を活かし、地方を元気にする地域の中小・小規模企業に対するサポートをより一層きめ細かく実施する必要がある。

こうした中、経済6団体においては、担当エリアや業界、労使問題など、縦糸と横糸を張り巡らせ、支援力アップに向けたサポート体制の強化が求められていることから、次のような対策を講じられたい。

## 1. 地域経済活性化支援について

- (1) 県内企業のサービス産業の生産性向上の支援強化
- (2) 人口減少社会に向けたIT化の促進支援
- (3) 医療関連産業等、県産業の特色と競争力のある産業の創出支援
- (4) 企業の新分野進出に対する支援
- (5) 中小企業連携組織推進指導事業費の維持
- (6) 企業の技術承継などの人づくりに対する支援
- (7) 岡山フードバレーセンター活用による生産性向上のための支援
- (8) 中小・小規模企業の生産性向上を推進する組合等の経営力向上推進機関に対する普及啓発、人材育成等に対する支援
- (9) 県内自動車関連企業の連携事業に対する支援

## 2. 中小・小規模企業振興施策の充実について

- (1) 成長性が見込まれる新技術・新製品の開発への「岡山県版補助金」や「地方創生交付金」など、支援機関と連携した施策の充実
- (2) 地方を活性化させ、より一層きめ細かな伴走型支援の強化をもって中小・小規模企業の稼ぐ力を高めるなど、相談体制強化のための経営指導員等の安定的な確保・増員・スキルアップのための小規模企業振興対策予算の拡充
- (3) 若手、中堅経営指導員等の資質向上のため、中小企業診断士資格取得など中小企業大学校等による教育カリキュラム参加に係る助成措置
- (4) 都道府県を中心とする「事業承継ネットワーク」と連携した「事業承継支援」及び「創業支援」の拡充
- (5) 中小・小規模事業者の経営計画の策定、実施に対する支援の強化
- (6) 魅力ある豊かな地域づくりには、小規模事業者の持続的発展が不可欠であり、企業の「稼ぐ力」の向上や円滑な事業承継、多様な働き方の環境作りを実現するための積極的な支援

## 3. 国内外の販路展開支援について

- (1) アジア地域のみならず、付加価値の高い高級品を販売するための欧州・米国地域が重要な市場と見込まれることから、海外で開催される国際展示会等へ出展する企業への助成の拡充
- (2) 中小食品事業者等に対する首都圏に向けた販路開拓等の支援
- (3) 海外市場に活路を見出す小規模事業者の裾野を広げるため、海外販路開拓塾等の開催や6次産業化や地域資源の活用等により開発された魅力ある岡山県内の加工食品に対する国内外の販路拡大の取組みに対する積極的な支援

## 4. 消費税引上げに伴う転嫁対策について

- (1) 平成31年10月に導入が延長された消費増税は、増税分の価格転嫁が困難な中小・小規模企業に対する支援はもとより、業務量の増大が懸念される軽減税率についても円滑な導入支援
- (2) 将来予定されている税額票（インボイス）について、中小・小規模企業の経営そのものに多大な影響を与える恐れに対する適切な対応

## 5. 金融施策の充実について

県内の中小・小規模企業は、ライフサイクルにおいて、創業期、成長期、再生期、危機時の資金調達が大きな課題であり、資金調達時の金利負担も重くなっているため、県制度融資の拡充はもとより、融資利率や信用保証料の低減など、信用保証を通じた金融施策による資金繰りの安定に万全の対策

## 6. 若手後継者の育成について

- (1) 若手経営者等を対象にしたビジネス連携に繋がるセミナー・交流会に対する支援
- (2) 次世代を担う地域商工業の後継者や若手経営者に対し、地域経済の担い手として必要な資質向上と地域社会発展に貢献するための取組みに対する積極的な支援

## 7. 地域社会維持への対応について

人口減少が加速度的に進む中山間地域において、地域の実情に合致した地域課題解決型ビジネスモデルなど、地域が主体となって地域経済や生活環境の維持に貢献するための活性化事業に対する支援

## 8. その他

景気等の数値が国と地方とでは異なるため、地域に合った数値での検証

## II. 雇用対策に関する要望

全国的に雇用環境は改善が続いている。有効求人倍率は、7・8月が1.52倍、完全失業率は3カ月連続して2.8%、完全失業者もこの3カ月、200万人の大山を割り込み、8月は189万人へと減少傾向になっている。

中でも、岡山県の有効求人倍率は、全国をリードする形で高水準を維持しており、今年1月以降、1.7倍台が続いていたが、6月に1.80倍、7月には1.82倍、そして、8月はやや下がって1.79倍になったが、全国8位の高い水準となっている。

また、正社員の有効求人倍率をみると、全国が1.00倍に対し、岡山県は1.21倍、パートタイムでは2.07倍で全国5位になっている。

地域経済から見ると、雇用環境が明るいことは朗報だが、地場の中小企業にとっては、将来の人口減少と相まって深刻な人手不足になっており、経営に支障が出ている。

国が推進する「働き方改革」を計画しても実行できない状況も生じており、地場企業の人材確保、キャリアアップ、女性の活躍、高齢者雇用の促進など多方面からの施策を早急に打ち出されたい。

### 1. 新卒者の雇用確保について

- (1) 地場中小企業の人材確保は一段と困難になっており、合同就職説明会の開催回数や開催場所の増強
- (2) 新卒者の早期離職を防ぐとともに、若者の雇用のミスマッチを防止するため、学校教育の中で職業教育の強化
- (3) 県内の大学を卒業する学生の県内就職に対する優遇措置の検討
- (4) 県内の中小・小規模企業が優秀な学生を確保するためのインターンシップや企業見学バスツアー実施に対する支援

### 2. 女性・高齢者の雇用、働き方改革の推進について

- (1) 少子高齢化・人口減少社会、多様化する社会の変化、さらには国際競争力の強化に向けた「働き方改革」と「生産性向上」への施策の充実
- (2) 仕事と家庭の両立などワーク・ライフ・バランスの考え方を社会全体に普及させるとともに、女性の活躍を推進するための働きやすい環境づくりへの支援
- (3) 高齢者雇用の促進や若者の雇用定着等対策
- (4) 次世代育成に取り組む企業に対する支援策の充実

### 3. 「健康経営」の普及促進について

- (1) 生産性向上に資する重要な経営資源である健康経営の普及に向けたセミナー等開催支援
- (2) 戦略的に健康経営に取り組む中小・小規模企業への支援

#### 4. その他雇用対策について

- (1) 慢性化しつつある人手不足と人材育成対策
- (2) 首都圏などで活躍する人材の地場企業への転職を支援する「エキスパート人材確保事業」の拡充
- (3) 都市から地方への労働力移転を促すU I J ターン促進等取り組みの強化
- (4) 県内の大学、大学院で学ぶ外国人留学生の県内企業への就職支援策を講じるとともに、海外で活躍できる人材教育の強化
- (5) 求人企業の採用担当者や求人活動に対する支援の強化
- (6) 小・中・高校の教職員と連携した卒業後の地元定着を向上させるための施策

### Ⅲ. 商店街・まちづくりに関する要望

#### 1. 商店街の活性化について

- (1) 空き店舗対策・整備等商店街活性化に向けた助成措置など県独自の支援策の創設
- (2) 中心市街地の回遊性と賑わいの創出を推進するための商店街活性化への支援強化

#### 2. 魅力あるまちづくりについて

- (1) それぞれの地域特性を生かした各地が取り組む街の特色と魅力づくりに対する支援
- (2) 中心市街地の空き店舗対策には、助成制度を含めこれまで多くの支援を行ってきたが、依然として事態は深刻であることから、県事業としての、I T ・ビッグデータを活用した新しい対策のための高度な調査研究の実施
- (3) 新見中央商店街近辺の高梁川河川敷への河川公園、駐車場の整備

### Ⅳ. 地域振興、地域プロジェクト等に関する要望

#### 1. 地域振興、活性化を図るための各地域対策について

- (1) インバウンド観光における整備及び観光産業推進に向けた支援の拡充【岡山会議所】
- (2) 国際経済交流の推進のため海外からの経済訪問団の受け入れに対するコーディネートに係る人的支援並びにビジネス交流会等の開催に係る会場費等の経費面での支援【岡山会議所】
- (3) J R 山陽本線倉敷駅付近高架化事業の推進【倉敷会議所】
- (4) J R 伯備線でのS L ・D 51型蒸気機関車復活走行の実現に向けた支援【倉敷会議所】
- (5) 農商工連携による特産品開発に係る県支援【津山会議所】  
県の農林業関連の研究施設の県北への集中移設により、農林業の新ビジネスモデル（農商工連携）の創設による雇用拡大を図る
- (6) 県施設の分散化による県全体の地域振興の推進【津山会議所】  
県立大学、県立美術館、県立博物館などの県立の都市機能を県北（津山市など各地域）へ移転することにより、県都（岡山市）への一極集中を緩和し、県全土の振興支援
- (7) 国道2号線岡山バイパス・玉島バイパスの4車線化【玉島会議所】
- (8) 山陽自動車道玉島インターチェンジから玉島ハーバーアイランドへのアクセス道路の整備【玉島会議所】
- (9) 宇野港（重要港湾）の持続的発展・充実を図るため、田井新港貯木場の埋立による工業用地の確保と宇野本港へのインバウンド、観光客へ向けての無料W i - F i 整備への支援【玉野会議所】
- (10) 高速道路及び岡山空港へのアクセス強化を図るため、県道22号倉敷玉野線の地域高規格道路への認定推進【玉野会議所】
- (11) J R 宇野駅へのI C O C A カード対応機の設置【玉野会議所】
- (12) 瀬戸大橋開通30周年を機に、鉄道・道路の併用橋として世界最長を誇る「瀬戸大橋」を、日本全国・全世界へ発信するとともに、夜間観光として、瀬戸大橋のイルミネーションのL E D 化と毎日ライトアップの実施【児島会議所】
- (13) 「吉備の児島」陸続き400年記念事業への積極的な参画【児島会議所】



- (14) 県営笠岡港工業用地は、昨年度より企業進出が増加、今後も環境を整え、雇用拡大が見込める企業誘致の積極的な推進（平成16年度以降、企業進出がなかったが、一部商港区に変更、国道2号笠岡バイパスの側道部分の開通により、ニーズが高まっている）【笠岡会議所】
- (15) 県道（笠岡～井原・井原～福山港線）の拡幅並びに歩道の整備【井原会議所】  
両県道ともに歩道が未整備の箇所が多く、特に笠岡～井原線においては、高校生の通学時道路幅が狭く、危険性が高い
- (16) 東備港の整備の実現（地場産業の振興の観点から）【備前会議所】
- (17) J R 赤穂線の増便【備前会議所】
- (18) 日本遺産認定の旧閑谷学校の教育資産としての有効活用と備前焼の普及推進【備前会議所】
- (19) 「まちの駅整備」など観光拠点施設の整備に関する支援【高梁会議所】
- (20) アニメをテーマとした地域活性化への支援【高梁会議所】
- (21) 中山間地域の小都市に対する定住対策への特別な支援【高梁会議所】
- (22) 岡山自動車道暫定2車線区間（賀陽IC～北房IC）の早期4車線化の実現【高梁会議所】
- (23) 岡山総社IC周辺への地域ニーズに応じた土地利用（農振解除を含む）の推進【総社会議所】
- (24) 吉備路にマッチし、震災等により県財産の損失を防ぐことのできる新県立博物館（県立ミュージアム）の総社市への建設【総社会議所】
- (25) 総社産「桃」のブランド力向上と輸出を含む販路開拓への支援【総社会議所】
- (26) 主要地方道新見勝山線の拡幅整備と、国道180号線に直接接続する等の早期整備に向けた支援【新見会議所】
- (27) 国道180号の拡幅整備と、迂回路として主要地方道新見日南線の拡幅延長等の早期整備に向けた支援【新見会議所】
- (28) 高梁川におけるダムの下流河川改修及び治水事業における事業費の確保・拡充【新見会議所】
- (29) 水源林の適正管理と森林資源の有効活用に対するさらなる支援【新見会議所】
- (30) 備前焼、織維等地場産業を構成する団体・企業が、商品開発・販路開拓などの新事業展開を行うための支援【中央会】
- (31) 下庄跨線橋拡幅工事（片側2車線化）【中央会】

以上

要望先 自由民主党岡山県支部連合会、自由民主党岡山県議団

要望日 平成29年11月15日（水）

要望者 岡山県商工会議所連合会、他関係団体と合同

## ○「雲中の飛龍 山田方谷」NHK大河ドラマ放映を求める要望

貴殿におかれましては、ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より郷土の偉人山田方谷の功績を広める活動等に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、県内外の各界代表者による「雲中の飛龍 山田方谷」NHK大河ドラマ放映実現を求める全国100万人署名運動実行委員会では、平成24年10月から署名運動を実施していますが、この度1月現在で、全国の方々から93万人を超える多くの署名をいただき、全国各地の大河ドラマ化運動において最大規模の署名となりましたので、ご報告申し上げますとともに、今後も継続して本運動を進めてまいり所存です。

我が国は、度重なる災害や人口減少・エネルギー問題、国家財政問題等により、国民意識の中に将来への不安感が漂っている状況であります。山田方谷の改革理念と生き方は、こうした状況を打開し、夢と志をもって日本創生の機運を高めるための手本となるものであり、今まさに必要とされています。

こうしたことを考えますと、山田方谷の大河ドラマ化は、日本国民にとって極めて大きな意義を持つものであり、郷土岡山県民の強い願いでもあります。

つきましては、「山田方谷」の大河ドラマ化の趣旨をご理解いただき、是非とも私どもの夢の実現に向けて、絶大なる

ご支援・ご高配を賜りますよう心からお願い申し上げます。

要望先 日本放送協会 会長 上田 良一 氏

要望日 平成30年1月22日（月）

要望者 「雲中の飛龍 山田方谷」NHK大河ドラマ放映を求める全国100万人署名運動実行委員会、他関係団体と合同

## ○岡山市庁舎建替えに関する提言

- ◆県都岡山市の災害対策の本部機能と防災拠点としての機能確保を図るために、岡山市役所本庁舎の早期建替えを提言する。
- ◆同時に、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、スポーツを活かした地域経済の牽引拠点として、民間主導で「日本一女性に優しいアリーナ」及び「複合施設」を併設することを提言する。

### 提言の背景等

#### 1. 岡山市役所の早期建替えの必要性

##### (1) 緊急を要する耐震化

現状の岡山市役所本庁舎は、昭和43年に竣工した旧耐震基準に基づく建物であり、震度6強の地震の発生時には倒壊の危険性を指摘されるなど、その耐久面での脆弱さが危険視されている。現状のままでは災害発生時における対策本部の初動や情報収集、機動的な危機管理に重大な問題が生じるほか、本来が住民の救助や避難、救援にあたるべき公務員の生命すら守りえない状況に陥る危険性が大きい。

岡山市の財政事情を勘案すると、本庁舎の耐震補強工事といった選択肢も当然に考えられる。確かに耐震補強工事では災害時の強度は実現可能となるも、本庁舎の設備・機能は現状のまま継続され、老朽化したビル機能・外観、薄暗い通路、手狭な事務スペースが更新されないため、新たな公共サービスや官民の創意工夫を活かした市民や市外からの来街者向けサービスの提供は望めない。地域社会の持続可能性及び安心安全性を最大限に高める機能を持つ新たな本庁舎の一刻も早い建設を進め、地域住民の安全安心の確保に向けた動きを加速させていく必要が生じている。

##### (2) 地域経済牽引機能の付加

岡山市は平成21年4月に全国で18番目の政令指定都市となり、日本の都市政策上は大都市に該当する。また、平成29年3月には近隣の8市5町と「岡山連携中枢都市圏」を形成し、圏域の中核都市として「経済成長の牽引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を行うことで活力ある社会経済を維持するため重要な役割を有する都市としての位置づけがなされている。申すまでもなく岡山市は、岡山県の県都として、商業や観光をはじめとする経済活動や農業、医療の中核を担うべき都市であり、地方創生が進む只中において、県民・市民からは岡山の牽引役として、更なる発展に向けて寄せる期待も格段に大きい。

その一方で、岡山市ではすでに災害対策基本法に基づき平成25年に岡山市地域防災計画を策定し、防災事業や防災に向けた体制づくりを推進するほか、災害発生時に迅速に市民の避難支援、救急救命、防災地域ぐるみで災害に対処する体制づくりを推進しているところであるが、岡山市には一級河川の旭川水系・吉井川水系のほかに、二級河川の笹ヶ瀬川水系・倉敷川水系等の河川があり、橋梁（2m以上）数が日本一の都市であることから、大規模災害の発生時には、河川氾濫による浸水被害が懸念されるほか、土砂災害の発生リスクも高い。また、岡山市では、現在のところ大きな活断層は確認されていないものの、県西部並びに四国には岡山市に震度6弱以上の揺れをもたらす活断層が存在するほか、南海トラフ巨大地震の発生を想定すると、強い揺れのほか津波の発生が懸念されている。

市民の安心・安全な暮らしを守るためには、地震・津波をはじめ大型台風などに起因する激甚災害の発生を想定して、地域社会が丸一となって備えると共に、岡山市民の生命・財産を守る災害対策の本部機能を果たす使命はもとより、岡山県、ひいては東日本大震災が3県という広域に被害が及んだことから中四国の防災都市として

期待が寄せられている。

すなわち、「経済成長の牽引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を実現・保障するためにも、都市機能の安全、安心を確保できる防災機能を担う本庁舎の可及的速やかな建替えに検討・着手することが希求される。

## 2. 地域経済の牽引に資する施設等の併設

### (1) スポーツによる地域経済の活性化

国は「未来投資戦略2017」（未来投資会議平成29年5月30日）において、地域経済好循環システムの構築をめざして「観光・スポーツ・文化」施策の中でスポーツ産業を通じた地域振興の推進を政策に掲げ、2025年までに20箇所の「多様な世代が集うスタジアム・アリーナの実現」を目標に定めている。また、そのなかで、国はスポーツMBA開講による経営人材の育成確保、さらには女性や障害者等のスポーツ実施率の向上を最重点政策として掲げている。

こうしたなか、民間活力活用による地方創生の取組みとして、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とするスポーツによる地域産業や観光の活性化が同時に進められ、全国各地でスポーツを活かした街の活性化策が展開されている。岡山県においてもファジアーノ岡山、岡山シーガルズなどのプロスポーツをはじめ、岡山マラソンなどのアマチュアスポーツで地域を盛り上げ、国の内外から多くの選手や観客が誘致され、宿泊・滞在を伴うスポーツを活かした交流人口の創出や観光や飲食をはじめアフターコンベンション企画の提供による地域経済の活性化施策が大きな成果をあげつつある。

グローバルな視野では、昨年8月12日には、「日台国際少年柔道選手権大会」に出場した台湾の小学生選手16名、岡山の小学生選手約40名による交流練習会が開催された。また、9月9日・10日には、「Touch the DREAM事業」の第1弾、日本女子ソフトボールリーグ岡山大会が9月9日・10日の2日間、新見ピオーネ球場において開催され、日立、豊田自動織機、SGホールディングス、Hondaの4チームによる熱戦が繰り広げられた。試合終了後には、地元環太平洋大学出身で日本代表選手が所属する「豊田自動織機」の選手により、地元小中学生を対象としたクリニックが開催され、未来のオリンピックをめざす子ども達に夢に触れてもらえるクリニックとなった。

こうしたスポーツを起点に、地域創生を可能とする基礎的素地となる岡山が持つ天の利、地の利を活かした天候面や交通面での優位性・集客能力の高さは、全国の地方中核都市のなかでは屈指と言えよう。また、地方創生の機運に合わせ『スポーツへの参加や観戦を目的とした旅行や、スポーツと観光を組み合わせた取組である「スポーツツーリズム」、域外から参加者を呼び込む「地域スポーツ大会・イベントの開催」、国内外の大規模な「スポーツ大会の誘致」、プロチームや大学などの「スポーツ合宿・キャンプの誘致」などの取組がなされ、各地でこれらの取組を推進しているのが、地方公共団体とスポーツ団体、観光産業などの民間企業が一体となって組織された「地域スポーツコミッション」である（スポーツ庁資料より）』

特筆すべきは、岡山の地においても、産官学金言とスポーツ団体の有志で構成されるスポーツプロモーション研究会での議論を発端として、スポーツに関する大会・合宿・興行及び会議といったスポーツイベントの開催支援、誘致支援活動を推進し、地域の魅力を発信するとともに、市民や団体との多様な交流を通じて、地域の活性化及びスポーツ文化の振興を図ることを目指す、スポーツコミッション組織が本年設立される予定となっている。さらに、スポーツの振興と関係性の深い、健康・医療・ケア領域がもたらす「健康寿命の延伸」についても、医療機関が集積する岡山市においては、経済界、医療界、大学が連携する機運が醸成されており、幅広い産業分野で更なる飛躍を遂げる高いポテンシャルを秘めている。

いまこそ、岡山が日本一のスポーツ先進都市（スポーツの聖地）となることを目標に掲げ、岡山の経済界が知恵と活力を結集して、行政、医療界、大学界、金融界、マスコミと連携を図り、広くオール岡山によるスポーツプロモーション推進体制を実現すべく、ストーリー性の高い事業モデルの構築により、地域社会全体が持続的に潤う産業・観光施策を推進する好機が到来している（『スポーツを核とした街づくりを担う「スマートベニュー」～地域の交流空間としての多機能複合型施設』2013年 日本政策投資銀行 参照）。

(2) Vリーグ機構改革に伴う「岡山シーガルズ」の課題

さて、国が進める地方創生の政策に呼応して、バレーボール界においてはVリーグ機構改革が進み、平成30年11月より、プロチームはトップリーグとなる「Vリーグ」へ移行することが決定され、岡山シーガルズは、メインスポンサーを有しない唯一の市民が支えるクラブチームとして参画を決め、現在、準備を進めている。しかしながら、同リーグへの参加の要件としてVリーグ機構が提示する専用練習場の保持、優先的に3千～5千人を収容できるアリーナでの公式試合の開催など、チーム単独では解決が困難な多くの課題を抱えている。その要因として、チームの資金力不足もさることながら、行政が運営するアリーナ・体育館は、地域住民への機会均等が考慮されなければならない、プロチームを最優先するわけにはいかない事情もある。

経済界からの要望

(1) 新本庁舎に求められる要件

新本庁舎の要件は、震度6強以上の地震においても倒壊・損傷の危険性がなく、災害対策本部としての機能を如何なく発揮するため、公務員の生命・身体の安全、救援に必要な情報網や指揮命令系統の確保、避難・救助の支援の実施などが円滑に実施可能な施設であり、また、岡山駅から市役所筋を南に見通した時、誰もが一目見て判別できるランドマークとしての外観を有し、県都にふさわしい品位と品格に満ちた風貌を兼ね備えた建物であることが望ましい。

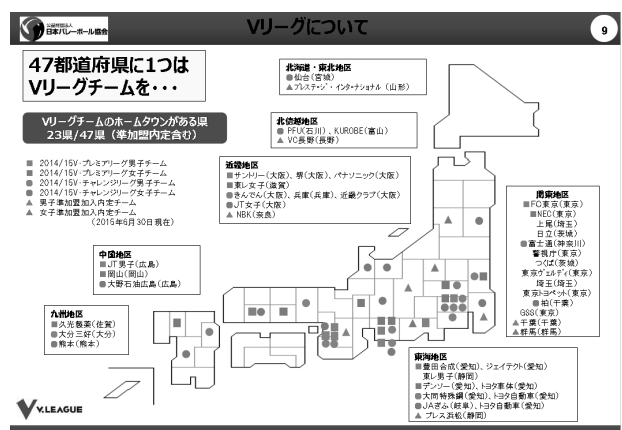
さらには、経済界、医療界、大学の創意が行政機能と融合して、岡山市が進める魅力と活力あるまちづくり、コンパクトでネットワークされた快適で安心・安全なまちづくり拠点として、「人と緑の都心を目指す創造的な都市構想」を推進支援する施設を目指したい（『人と緑の都心1kmスクエア構想』（平成6年 岡山商工会議所）ご参照）。

そして何よりも、市民が高いシビックプライドを持つ県都の実現を目指し、ESD（Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育））活動やSDGs（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標））に象徴されるグローバルな視座に立つ目標・施策を市民協働により展開、常に市民に開かれ、来街者が集い対話を重ねる空間を創造、世界に誇り高き魅力や情報を発信できる拠点機能を有する施設とすることが重要である。

(2) スポーツを活用した地域振興における岡山シーガルズの可能性に向けたアリーナ

岡山シーガルズは、リーグ戦などの公式戦、合同合宿、合同練習、バレーボール教室などの実施により、年間約2万人の観客動員と1万人を超える宿泊者を呼び込むビジネスモデルを既に確立しており、適切な環境整備が行われればさらなる誘客、交流人口の拡大が大いに期待できる。現在の岡山スポーツ界において、優れた実績と高い成長性（潜在能力）を持つクラブはシーガルズを置いてほかにない。このような実績を地域創生の起爆剤として、産官学民連携により、ナショナルチームの積極誘致を含むスポーツ観光を契機としたプロスポーツの活性化のみならず、室内を利用してアマチュアスポーツや広く市民が利用できる総合型アリーナを新設することにより、来場者に対するモビリティサービス、宿泊・飲食・アフターコンベンションサービスの提供など、新たなビジネスモデルを構築することにより、岡山市の賑わいの創出と経済効果を高める拠点として新アリーナを整備することが望まれる。

時あたかも、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機として、国が最重要政策に掲げるスポーツ振興策は「わが国における女性のスポーツ参加率の向上」である。岡山県は、岡山シーガルズ、湯郷ベル、吉備国際大学シャルム、天満屋女子陸上競技部、山陽レディースカップなど女子スポーツが



盛んな土地柄である。

経済界としては、民間主導の建設推進と施設運営を前提として、新アリーナ建設のメインコンセプトを「日本で一番女性に優しいアリーナ」(メダリストを擁するトップチームである岡山シーガルズを核とした、日本初の本格的なレディース仕様)に置き、更にはパラリンピックの精神や仕様に配慮したUD(ユニバーサル・デザイン)を重視しつつ、他のプロスポーツや市民の健康を増進するアマチュアスポーツ(市民マラソンやママさんバレーボールなど)と高い親和性・共有性を確保する総合利用型のアリーナ建設を目指したい。

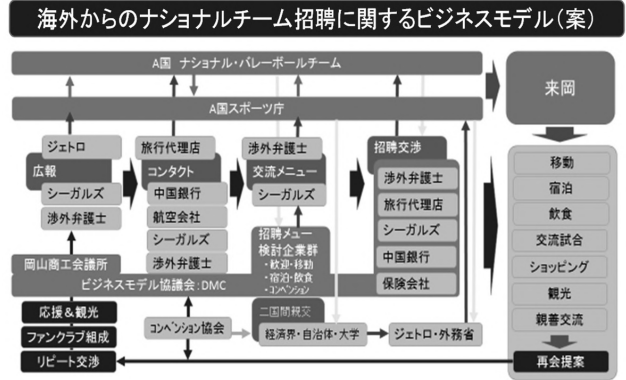
現在、岡山シーガルズが、岡山市民・県民の宝として、永続的にトップリーグで活動できる組織、インフラの整備を目的として、経済界が、医師界、大学、金融機関、マスコミなどに呼びかけ、岡山シーガルズの専用練習場と優先して利用できるアリーナの建設に向けて、「Vリーグ機構改革における岡山シーガルズの活躍に向けた民間活力活用推進協議会(仮称)」の設立・組織化の検討を進めている。

そこでは、アリーナが持つ防災機能についても議論がなされている。すなわち、地域スポーツの活性化に向けて全国各地でアリーナやスタジアムの建設が進められるなか、防災機能及びインフラが必ず具備されている点に着目すると、災害時に本庁舎が陣頭指揮を執る本部機能とするならば、アリーナは救急救命の最前線として罹災者の緊急避難所、急性期病院との連携ネットワーク拠点、支援物資の備蓄・分配拠点など、多機能を発揮する施設として位置づけられ、両者が果たす機能と意義は大きい。こうした観点から、地域の統合防災拠点として本庁舎とアリーナを接続一体化して新設することにより相乗効果を生み出すことを提言する。

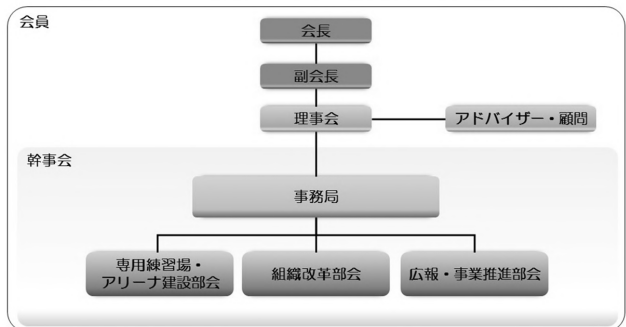
### (3) その他の施設

岡山市は、岡山城、後樂園、文化施設を核とした歴史・文化に彩られた顔、表町商店街や大型商業施設を核とした商業都市としての顔、世界水準を擁する多数の医療機関が集積する医療都市としての顔、中四国一を誇る大学など高等教育機関が集積する教育都市としての顔、メダリストを擁するトップチームを市民役で支えるスポーツ都市の顔を持つ。これらの強みが独立・分散している現状を突破し、総合力の発揮により新たな成長力を創出するためには、産官学医民が協働して相互連関・相乗効果を生み出すための拠点機能を有する複合施設の併設が不可欠であると考える。

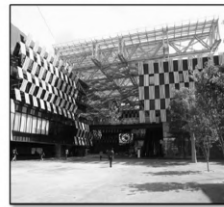
そこで経済界はICT・IoTを活用した新たな産業イノベーションの創造や新商品開発を推進する異業種交流拠点機能や、愛される岡山を情報発信する特産品・みやげ物の広報拠点機能、地元の食材に拘るホテル、カフェ、レストランなどのサービス提供機能を有するプラットフォームを設立する。



### Vリーグ機構改革における岡山シーガルズの活躍に向けた民間活力活用推進協議会(仮称)組織・体制案



### 自治体とアリーナ、スタジアムと高齢者住宅など複合施設の事例



出典：長岡市公式ホームページ



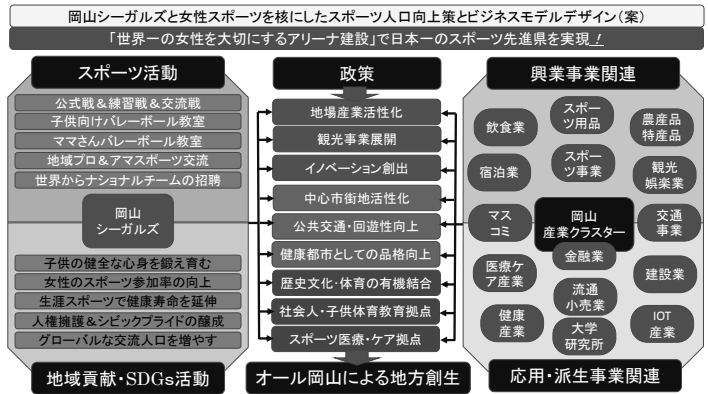
出典：FCバーゼル公式サイト

- (左) アオーレ長岡：長岡駅前に市役所機能を含めた複合施設として整備され、多目的アリーナ、市民交流ホールがあり、施設を核に地域の交流人口が増加している。
- (右) サントヤコブパーク(スイス・バーゼル市にあるサッカー専用スタジアム)：スタンド部分は客席のほか高齢者居住施設を併設し、スタジアム収益の2割をあげる。

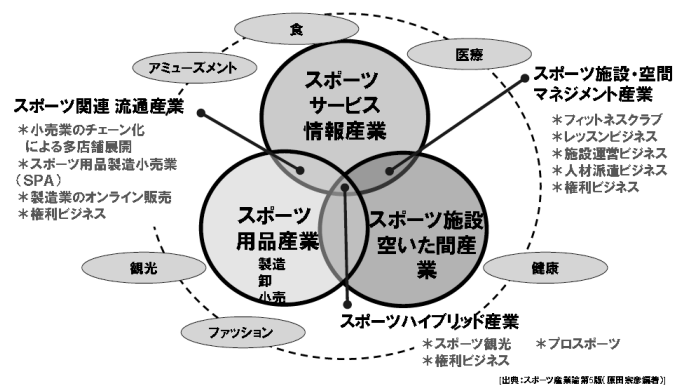
その際、大学に対しては、スポーツマーケティングやスポーツ教育・医療・ケア・食育をはじめ地域社会に密着した研究・教育拠点機能を、医師界からはスポーツ医療・ケア・リハビリ、健康増進拠点機能や研究機能を、そしてスポーツ団体に対しては、郷土岡山を愛する心と健やかな身体を涵養することを目的とした子供バレーボール教室はじめ各種スポーツ教室の開催、ママさんバレーボールや市民マラソンなどアマチュアスポーツの振興をリードするプロ選手による指導やフィジカルトレーニングの提供など、高いクオリティと収益性を念頭に置いた活動展開を希望するものである。

すなわち、アリーナに併設する複合施設の建設により、本庁舎が持つ公共サービス機能がスポーツ、教育、研究、医療、産業、商業などが持つ幅広い機能と融合することにより、多様で大勢の人々で賑わうことにより、無限の可能性を秘めた交流が生まれる空間となる。

また、本庁舎に民間主導の多機能施設を包摂することで来場者数を高めると同時に、新市民会館やシンフォニーホールとの明確な住み分けとシナジー効果を念頭に置いた、アクティブコンベンションなど多機能性を持たせた利用メニューの提供により、アリーナの稼働率を向上させたい。それにより、施設やアリーナの事業継続性を担保することで、将来の世代に負担を残さない運営の実現を目指す。



(参考) スポーツ関連産業の融合化



むすび

岡山市本庁舎については、耐震補強工事ではなく建替えを提言する。また、民間主導による岡山市本庁舎と一体化したアリーナ及び複合施設の併設を提言する。

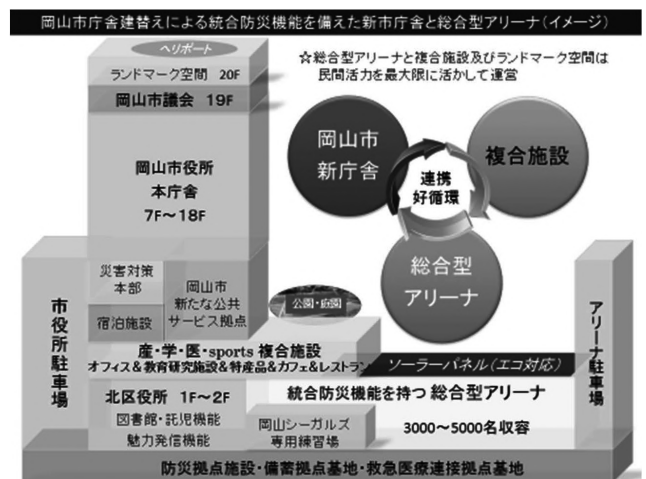
この取組みにより、岡山県の中核都市としての岡山市に確固たる防災機能が備わり、地域住民への安全安心の提供が行われるほか、岡山市の中心市街地に新たなる賑わいが生まれ、企業と社会が潤うことにより、以って、地域住民の暮らしがさらに豊かになる事を望むものである。

要望先 岡山市長 大森 雅夫 氏、  
岡山市議会議長 宮武 博 氏

要望日 平成30年2月16日(金)

要望者 岡山県経済団体連絡協議会

(構成団体：岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、一般社団法人岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会)



## 4 調査研究

### 1. 定期調査

#### ○景気観測調査

地域情勢を的確に把握し、当所事業活動の基礎資料とすることを目的に実施。当所管内の地場企業を対象に、FAXを利用して四半期毎にDI方式で調査した。内容は、景況、生産額・売上額など10項目についての前年同期比実績、来期見通しの比較などについて回答を求め、報告書に取りまとめた。また、景気観測調査で回答のあった企業の中から、特徴のある企業についてその内容や業界動向、トレンドについて補足ヒアリングを行った。

・平成29年4～6月期	調査対象592社	有効回答数565社（回収率95.4%）
・平成29年7～9月期	調査対象590社	有効回答数550社（回収率93.2%）
・平成29年10～12月期	調査対象588社	有効回答数559社（回収率95.1%）
・平成30年1～3月期	調査対象585社	有効回答数551社（回収率94.2%）

#### ○岡山県内の賃金関係調査

地場企業の賃金管理の参考に供することを目的として、平成29年7月～9月にかけて県内企業を対象に調査し、報告書を平成30年3月にまとめた。今回の調査では、以前より引き続いて調査している基本項目に加え、“退職金制度の状況”についての調査を行った。

調査主体	岡山県商工会議所連合会
調査時期	平成29年7月～9月
調査方法	岡山県下12商工会議所の会員企業にアンケート用紙を郵送
回収状況	1,303社/4,110社（回収率31.7%）
調査項目	賃金制度の実態、各種手当及び賞与の支給状況、賃金のベースアップの実施状況、新規学卒者採用・賃金状況、退職金制度の状況など5項目

### 2. その他調査・研究

#### ○新入社員アンケート調査

当所では、平成29年3月29日（水）・30日（木）の両日にわたり「新入社員研修講座」を開催した。研修会終了後、今後の採用活動、従業員確保対策など企業経営の参考資料として提供するため本調査を実施した。

調査主体	岡山商工会議所
調査時期	平成29年3月（集計・取りまとめは4月）
調査方法	研修講座受講者120人にアンケート用紙を配布
回収状況	配布数120に対し、有効回答数118 回収率98%（男性64人・女性46人・未回答8人）
調査項目	就職先の基準・要素、社会人に必要とされる素質、初任給の使い方、理想の上司像など11項目

#### ○「県内中小企業・小規模事業者の生産性向上等に関する実態調査」

岡山県における製造業等を含めた全産業を対象とした、生産性についての現状を把握するためのアンケート調査を実施し、相対的にサービス産業の生産性向上に向けた課題や支援の方向性を把握することができる基礎的情報を整備した。

調査主体	岡山県商工会議所連合会
調査期間	平成29年5月～7月
調査方法	県内商工会議所及び商工会に所属する全24,574社（商号を持たない個人事業主を除く）に調査票を

配布

回収状況 6,714社

調査項目 従業員数の充足状況、生産性向上の取り組みの有無、ITの導入状況、国や県の支援策の利用有無、事業承継の取り組みの有無など

## 5 広報

### 1. 刊行

#### A. 定期刊行

##### ○岡山商工会議所会報

会員事業所への情報提供と会員企業からの情報発信を図るため毎月刊行した。特集では、ローカルベンチマークのすすめ、フランス・ストラスブールまちづくり視察、職場で取り組むメンタルヘルスケアなどを取り上げた。今年度は西アジアを中心に古代から近世までの貴重な考古資料や美術品を多数保有している岡山市立オリент美術館の収蔵品を表紙にした。経営判断により大きな成長を果たした企業を紹介する「飛躍への決断」では11社を取り上げた。会員企業の情報発信ツールとして設けている「会員情報プラザ」のコーナーでは、新製品の開発・販売、新規出店など、92社の企業情報をカラー写真とともに無料で掲載し紹介した。

各号の主な内容は以下のとおり。

- 4月号 特集:「桃太郎のまち」岡山市グランドデザインのあるべき姿 第3回「デザインを活用した街づくりを考える」  
飛躍への決断 Vol.21 協和ファインテック(株)  
平成29年度 税制改正のポイント  
会員情報プラザ アジアン・パラダイス・マーケット他7社  
New Face (創業事業所紹介)  
今月のイチオシ! atelier Hair Closet
- 5月号 特集:岡山商工会議所 平成29年度 事業計画・収支予算 決まる  
岡山商工会議所 伴走型小規模事業者支援事例  
飛躍への決断 Vol.22 旭電業(株)  
平成29年度セミナーカレンダー  
会員情報プラザ 犬の床屋さんDOG EIGHT他5社  
今月のイチオシ! 麦酒島
- 6月号 特集:岡山商工会議所・サンノゼシリコンバレー商工会議所 友好交流協定締結30周年記念経済訪問団派遣報告  
岡山後楽園 春の園遊会 ~池田厚子様を囲んで~  
飛躍への決断 Vol.23 (株)キョードー  
新入社員アンケート 平成29年度新入社員に聞く  
会員情報プラザ (株)石井事務機センター他9社  
New Face (創業事業所紹介)  
今月のイチオシ! Carlotta Pizzeria&Bar
- 7月号 特集:岡山へ移住、岡山で働く ~U I J ターンで作る新しい企業のかたち~  
ミズベリング岡山旭川2017 ~みんなで作る水辺フェスト~ イベントの募集  
飛躍への決断 Vol.24 (株)石井事務機センター  
岡山商工会議所 伴走型小規模事業者支援事例  
こだわりの逸品「おかやま果実」平成29年度新製品募集





- 会員情報プラザ (株)アスティ・プロモーション他7社  
 今月のイチオシ! 博多ラーメンにこいち
- 8月号 特集: ローカルベンチマークのすすめ  
 今年も出そろいました フルーツパフェの街おかやま 新メニューご紹介  
 New Face (創業事業所紹介)  
 「無期転換ルール」にご留意ください  
 会員情報プラザ (株)マリンポリス他7社  
 今月のイチオシ! 岡山いちご農園 | plate
- 9月号 特集: 変わる岡山都心 ~創ろう! 歩いて楽しい岡山のまち~  
 ~第7回宇喜多秀家ゆかりの地を訪ねて~ 鹿児島県垂水市視察報告  
 韓国・富川商工会議所との交流事業を実施  
 飛躍への決断 Vol.25 オージー技研(株)  
 会員情報プラザ ポリテクセンター岡山他5社  
 今月のイチオシ! Cucina
- 10月号 特集: 需要開拓・販売促進を全力で支援します  
 ビジネスサポートQ&A 第25回 事業承継では株式の取扱いが大切  
 飛躍への決断 Vol.26 (株)植田板金店  
 New Face (創業事業所紹介)  
 ミズベリング岡山旭川2017 ~みんなでつくる水辺フェスト~  
 会員情報プラザ 池田電業(株)他5社  
 今月のイチオシ! milenga
- 11月号 特集: 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 (平成29年版)」にみる岡山のインバ  
 ウンド戦略の今後の一手とは  
 第2回旭川かわまちフォトコンテスト入賞作品  
 飛躍への決断 Vol.27 (株)富士麵ず工房  
 岡山商工会議所 伴走型小規模事業者支援事例  
 会員情報プラザ 岡山理科大学研究・社会連携室他7社  
 今月のイチオシ! 手打そば 柚子彦
- 12月号 特集: フランス・ストラスブルまちづくり視察  
 飛躍への決断 Vol.28 (株)ニッカリ  
 New Face 創業スクール修了生特集!  
 会員情報プラザ Iris. (イリス) 他7社  
 今月のイチオシ! Bistro Ourson
- 1月号 特集: 年頭所感・新年のご挨拶  
 飛躍への決断 Vol.29 (株)フジワラテクノアート  
 岡山商工会議所 伴走型小規模事業者支援事例  
 ビジネスサポートQ&A 第26回 組織力を強化し、事業性を明らかにする知的資産経営の実践  
 会員情報プラザ (株)イケル他7社  
 今月のイチオシ! 立岡靴工房
- 2月号 特集: 黄ニラ&岡パク大使に学べ! ~岡山からの魅力発信~  
 おかやま果実 平成29年度認定製品  
 飛躍への決断 Vol.30 (株)大和鉄工所  
 会員情報プラザ インタッチ ナチュラル (同) 他7社  
 New Face (創業事業所紹介)



今月のイチオシ！ 服部管楽器

- 3月号 特集：職場で取り組むメンタルヘルスケア  
平成30年度 税法改正のポイント  
飛躍への決断 Vol.31 (株)システムタイズ  
平成29年度 岡山県内の貸金関係調査報告(概要)  
岡山商工会議所 伴走型小規模事業者支援事例  
会員情報プラザ (一社)おかやま中小企業支援実務家協議会他7社  
今月のイチオシ！ 古民家カフェ 神武橋

#### ○岡山商工会議所西大寺支所だよりの発行

西大寺支所管内のイベントの紹介を中心に、年3回発行。山陽新聞朝刊へ折り込み、各号21,000戸へ配布した。

各号の内容は以下のとおり。

- 第31号 平成29年4月9日発行  
西大寺会陽協賛寄付者一覧  
西大寺会陽太鼓演者募集  
西大寺マラソン大会開催案内  
西大寺五福通りレトロ・マルシェ開催案内  
貸会議室案内
- 第32号 平成29年7月1日発行  
岡山県共済紹介  
西大寺朝市・海水浴開催案内  
ジョブ・カード制度の紹介  
岡山県よろず支援拠点無料経営相談  
夏まつり西大寺2017開催案内
- 第33号 平成29年10月9日発行  
夏まつり西大寺2017協賛寄付者一覧  
西大寺五福通りレトロ・マルシェ開催案内  
健康診断実施案内

## 2. Web広報

#### ○ホームページ及びフェイスブックでの情報発信

当所で行っている事業やイベント、各種支援メニューの情報を、ホームページやフェイスブックを通じて各担当者がタイムリーに発信している。

#### ○ツイッター情報発信事業

当所公式アカウント (@okayamacci) を活用し、会員企業の情報発信を積極的に支援するとともに、当所のセミナーやイベント、検定等の情報を発信し、広く周知を行った。平成30年3月末現在のフォロワー(読者)数2,627名。

## 3. 会頭記者会見

平成29年度第1回会頭記者会見

平成29年4月17日(月) 午後1時30分

会場 岡山商工会議所本所3階会議室

内容 景気観測調査結果について(平成29年1~3月期)

平成29年度第2回会頭記者会見

平成29年7月25日（火） 午後1時30分

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

内 容 景気観測調査結果について（平成29年4～6月期）

平成29年度第3回会頭記者会見

平成29年10月26日（木） 午後1時30分

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

内 容 景気観測調査結果について（平成29年7～9月期）

平成29年度第4回会頭記者会見

平成30年1月31日（水） 午後1時30分

会 場 岡山商工会議所本所3階会議室

内 容 景気観測調査結果について（平成29年10～12月期）

平成29年度岡山商工会議所管内市街地「商店街現況調査」結果について

## 6 証明・鑑定

- a. 貿易関係証明 1,242件
  - 原産地証明 939件 （P69に統計表掲載）
  - インボイス証明 10件
  - サイン証明 292件
  - 法人証明 1件
  - 営業証明 0件
  - 会員証明 0件
- 平成30年3月31日現在 貿易登録申請業者 117社  
代行業者 1社

b. 国内取引関係証明 0件

c. 特定原産地証明 714件

国・地域	件数	国・地域	件数
アセアン	52	フィリピン	1
インド	134	ブルネイ	0
インドネシア	69	ベトナム	89
オーストラリア	34	ペルー	0
スイス	0	マレーシア	10
タイ	251	メキシコ	74
チリ	0	モンゴル	0
		合計	714

平成29年度分 原産地証明書 仕向国別・品目別統計表

国別	商品別 コード	品目別										合計	
		1 一般機械	2 電気機器	3 輸送用器	4 精密機器	5 金属及 金属製品	6 化学製品	7 紡績及 繊維製品	8 食料品	9 雑貨	10 その他		
アジア	バングラデシュ	1	2		30	7							39
	中国（香港含む）	2	107			79	117		7		50		360
	インド	3	5			36	85				1		127
	インドネシア	4			3						1		4
	韓国	5				1	49	1					51
	マレーシア	6	2						1				3
	ミャンマー	7	3										3
	パキスタン	8											
	フィリピン	9	14					2					16
	シンガポール	10								1			1
	スリランカ	11	3		1								4
	台湾	12	1				6		27				34
	タイ	13								2		12	14
	ベトナム	14	1							21	4		53
	その他	15	1										1
小計		139		31	3	123	259	24	40		91	710	
中近東	イラン	16				3							3
	イラク	17											
	イスラエル	18											
	ヨルダン	19				1							1
	クウェート	20	4										4
	レバノン	21											
	オマーン	22											
	カタール	23											
	サウジアラビア	24				1							1
	シリア	25											
トルコ	26	1			10							11	
アラブ首長国連邦	27				1	1			8		2	12	
その他	28	1									1	2	
小計		6			1	16			8		3	34	
アフリカ	アルジェリア	29											
	エジプト	30											
	南アフリカ	31											
	チュニジア	32											
	その他	33	2										2
小計		2										2	
欧州	ベルギー	34				1							1
	デンマーク	35											
	フランス	36	11			2							13
	ドイツ	37	4			24	4						32
	ギリシャ	38											
	オランダ	39				6							6
	イタリア	40	4			23		8					35
	ポルトガル	41											
	ロシア	42	1			14							15
	スイス	43											
	スペイン	44	4			2							6
	スウェーデン	45											
	イギリス	46				1		1					2
	その他	47	20			2		1					23
小計		44			75	4	10					133	
北・中南米	カナダ	48				1							1
	アメリカ	49	3					11					14
	アルゼンチン	50											
	ボリビア	51											
	ブラジル	52					31						31
	チリ	53	3			1							4
	エクアドル	54											
	メキシコ	55	2			4							6
	パナマ	56											
	パラグアイ	57				3							3
ペルー	58												
ベネズエラ	59												
その他	60												
小計		8			9	31	11					59	
大洋州	オーストラリア	61							1				1
	ニュージーランド	62											
	その他	63											
	小計								1				1
合計		199		31	4	223	294	53	41		94	939	

※ 内 外国産原産地証明 0件

## 7 各種行事

### 1. 講演会

#### ○2018新春経済講演会

開催日 平成30年1月12日（金）

内容 新年の経済を展望する

講師 法政大学大学院 政策創造研究科 教授 真壁 昭夫 氏

参加人数 400名

### 2. 講習会（講座・セミナー）

#### ○新入会員交流会

開催日 平成29年4月12日（水）

内容 ～会社成長のためのキーワード～ “我が社の生産性向上”を10の視点から考える！

講師 ワタナベ中小企業診断士事務所 代表 渡辺 昌平 氏

参加人数 30名

#### ○「もう一度会いたい人」を育てる、ビジネスマナー講座

開催日 平成29年4月26日（水）

内容 社内外から信頼を得られる敬語、慶弔等のビジネスマナーを習得する

講師 社会保険労務士 オフィスリファイン 代表 桑田 朋美 氏

参加人数 13名

#### ○判断力と交渉力をアップして上手に解決！クレーム対応セミナー

開催日 平成29年5月18日（木）

内容 クレーム対応時の基礎や組織的に取り組める体制づくりを学ぶ

講師 安藤経営戦略研究所 代表コンサルタント 安藤 覚 氏

参加人数 20名

#### ○プラスITセミナー

開催日 第1回：平成29年6月8日（木）

第2回：平成29年6月16日（金）

第3回：平成29年6月27日（火）

講師 第1回：明治大学経営学部 教授 岡田 浩一 氏、(株)ミノダ 代表取締役 箕田 順一 氏

第2回：ネッパン協議会 参事 木村 裕一 氏、ネッパン協議会 山崎 広隆 氏

第3回：(株)ピットイン・リンクス 代表取締役 久保田 浩二 氏、

Found-Act 代表 片山 警二 氏

参加人数 第1回：24名 第2回：21名 第3回：7名

#### ○おかやまサービス産業生産性向上支援セミナー

開催日 平成29年6月20日（火）

内容 講演「年間稼働率90%を実現させた、道頓堀ホテルの感動する接客とは」

講師 (株)王宮 専務取締役 橋本 明元 氏

経営効率向上事例「ITで実現する働き方改革」

事例発表者 (株)Orb 代表取締役 河井 七美 氏

付加価値向上事例「異業種連携で特産品開発を实践」

事例発表者 洋菓子工房ベルジェ オーナーシェフ 加賀 琢也 氏

参加者数 120名

○消費税軽減税率対策経営力強化セミナー

開催日 平成29年7月11日（火）

内容 なぜ今「働き方改革」なのか？仕事の見直しのポイント、活用したい対策と事例について

講師 山元経営労務事務所 山元 正揮 氏

参加人数 33名

○第1回会員ビジネス交流会

開催日 平成29年7月14日（金）

内容 神山プロジェクト～創造的過疎から考える地方創生～

講師 認定特定非営利活動法人グリーンバレー 理事長 大南 信也 氏

参加人数 43名

○消費税軽減税率対策助成金活用セミナー

開催日 平成29年7月26日（水）

内容 助成金制度のおさらいと最近の傾向、働き方を見直しをするときの助成金、人気のキャリアアップ助成金について

講師 杉本社会保険労務士事務所 杉本 由起夫 氏

鷺江社会保険労務士事務所 鷺江 直哉 氏

参加人数 31名

○創業セミナー

開催日 平成29年8月19日（土）

内容 創業成功のためのセミナー、先輩起業家体験談

講師 中小企業診断士 栗原 茂 氏

ほごっこCAFE 代表 坂 真由美 氏

参加人数 27名

○消費税軽減税率対策経営力強化セミナー

開催日 平成29年8月25日（金）

内容 人間関係の秘宝、接客接遇の極意、接遇のための心の状態管理

講師 (株)UP-ting Japan 代表取締役社長 爰野 寿美子 氏

参加人数 46名

○消費税軽減税率対策経営力強化セミナー

開催日 平成29年8月30日（水）

内容 どんな商売も「誰に」「何を」「どのように」、  
「売れる店」と「売れない店」の違い、ネットショップの  
売上公式

講師 難波三郎中小企業診断士事務所 難波 三郎 氏

(株)オリーズデザイン 代表取締役 岡崎 理枝子 氏

参加人数 27名

### ○ものづくり現場塾

開催日 第1回：平成29年8月31日（木）  
第2回：平成29年9月7日（木）  
第3回：平成29年9月14日（木）  
内容 第1回：5Sの進め方  
第2回：製造現場での公開指導  
第3回：5S推進計画の作成  
講師 (株)和田SCコンサルティング 代表取締役 和田 益幸氏  
参加人数 第1回：14名 第2回：19名 第3回：11名

### ○夜間初級簿記入門講座

開催日 平成29年9月5日（火）～11月2日（木）の原則火・木曜日、延べ18日間  
内容 日商簿記検定3級程度の実力養成を目的しての簿記講座  
講師 岡山県立岡山南高等学校、岡山東商業高等学校 教諭4名  
参加人数 36名

### ○岡山市企業人材育成セミナー2017（全4回）

開催日 第1回：平成29年9月22日（金）  
第2回：平成29年9月27日（水）  
第3回：平成29年10月26日（木）  
第4回：平成29年11月24日（金）  
内容 第1回：心のエネルギーを満タンに！成功の循環を促す「コミュニケーション・スキルアップ」セミナー  
第2回：ビジネス基礎力をマスター！若手・中堅社員の「仕事力」習得セミナー  
第3回：限られた時間を有効活用、生産性を大幅アップ！！リーダー・中堅・若手社員の1日を2倍に使う時間管理と仕事術  
第4回：「指示待ち社員」から「自ら行動する社員」へと成長することができる社員の「先読み仕事術」  
講師 第1回：(有)志縁塾 代表取締役 大谷 由里子氏  
第2回：EMIコンサルティング 代表 福井 充雄氏  
第3回：インサイトラーニング(株) 代表取締役 箱田 忠昭氏  
第4回：エンパワーモチベーション 代表 北川 和恵氏  
参加者 第1回：38名 第2回：37名 第3回：49名 第4回：38名

### ○経営改善・労働効率を見直すことで会社を強くするセミナー

開催日 平成29年9月28日（木）  
内容 経営改善・労働効率の見直しにより生産性を向上させる手法を学ぶ  
講師 社会保険労務士 宮子 智子氏  
参加人数 35名

### ○「経営力向上計画」作成セミナー

開催日 第1回：平成29年9月28日（木）  
第2回：平成29年10月2日（月）  
内容 第1回：経営力向上計画作成の意義と効果について、作成実習Ⅰ  
第2回：経営力向上計画の作成実習Ⅱ  
講師 馬場輝税理士事務所 税理士 馬場 輝氏

中小企業診断士 窪 田 司 氏

中小企業診断士 藤 井 正 徳 氏

中小企業診断士 栗 原 茂 氏

参加人数 第1回：8名 第2回：9名

#### ○消費税軽減税率対策補助金・助成金活用セミナー

開催日 平成29年10月4日（水）

内 容 補助金で販売促進や設備投資を！助成金で人件費や研修費を！

講 師 未来創造コンサルティング 近 藤 厚 志 氏

榊原労務管理事務所 榊 原 秀 樹 氏

参加人数 27名

#### ○これから始める労務管理セミナー

開催日 平成29年10月17日（火）

内 容 必要な届け出とその意味合い、「従業員の方が詳しい」では恥ずかしい、人を雇うときの法律の基礎

講 師 杉本社会保険労務士事務所 杉 本 由起夫 氏

参加人数 23名

#### ○職場のメンタルヘルス対策セミナー

開催日 平成29年10月25日（水）

内 容 メンタルヘルス不調社員の近年の増加推移と労災認定、セルフケア・ラインケアの方法、メンタルヘルスの観点からみた適切な労務管理

講 師 社会保険労務士 鷲 江 直 哉 氏

参加人数 13名

#### ○発想法ワークショップ

開催日 平成29年10月28日（土）

内 容 新たな取り組み等に向けたアイデアの発想法やまとめ方をワークショップ形式で学ぶ

講 師 岡山商科大学経営学部商学科 教授 三 好 宏 氏 他

参加者 8名

#### ○第2回会員ビジネス交流会

開催日 平成29年10月31日（火）

内 容 中小企業におけるクラウドソーシングの活用

講 師 I T C池田商店(株) 代表取締役 池 田 雅 之 氏

参加人数 30名

#### ○消費税軽減税率対策経営力強化セミナー

開催日 平成29年11月2日（木）

内 容 学校で教えられるSNSを使った就職活動、会社概要とは違う！求人向けホームページで載せるべき項目

講 師 イーンスパイア(株) 代表取締役 横 田 秀 珠 氏

参加人数 23名



○消費税軽減税率対策経営力強化セミナー

開催日 平成29年11月14日(火)

内容 キャラメル包み、多当包み、リボンテクニック、市販の袋のアレンジ

講師 ラッピングコーディネーター 水内 英津子 氏

ラッピングコーディネーター 青木 智恵子 氏

参加人数 26名

○消費税軽減税率対策経営力強化セミナー

開催日 平成29年12月5日(火)

内容 デパート包み、ボトルラッピング、リボンテクニック、市販の袋のアレンジ

講師 ラッピングコーディネーター 水内 英津子 氏

ラッピングコーディネーター 青木 智恵子 氏

参加人数 29名

○第3回会員ビジネス交流会

開催日 平成30年1月29日(月)

内容 ブランド戦略とブランド・ストーリー

講師 就実大学 副学長・経営学部長 杉山 慎策 氏

参加人数 56名

○創業者等交流会&個別相談会

開催日 平成30年2月15日(木)

内容 自己PRプレゼンテーション、商品・サービス展示、名刺交換会、セミナー：新規顧客開拓・営業のコツ

講師 中小企業診断士 藤井 正徳 氏

参加人数 25名

○社会保険・労働保険実務講座

開催日 平成30年2月22日(木)

内容 制度の仕組みや法改正のポイント、活用したい助成金を学ぶ

講師 社会保険労務士 渡邊 真遼子 氏

特定社会保険労務士 周東 佳織 氏

参加人数 14名

○知っておきたい時間外労働の「リスク」と「対策」セミナー

開催日 平成30年2月26日(月)

内容 働き方改革の方向性について、事例から考える「リスク」と「対策」、直ぐに取り組める「対策」について

講師 山元経営労務事務所 山元 正揮 氏

参加人数 30名

○新入社員研修講座

開催日 平成30年3月28日(水)～29日(木)

内容 社会人としての心構えや仕事の進め方、ビジネスマナーの修得を目指す

講師 コンサルタントネットワーク(株) 副社長 本田 祐美 氏

コンサルタントネットワーク(株) 執行役員エグゼクティブコンサルタント 松田 周司 氏

参加人数 94名

### 3. 説明会

○平成29年度汚染負荷量賦課金申告・納付に関する説明・相談会

開催日 平成29年4月17日(月)

内容 制度の概要と賦課料率、申告・納付の留意事項について説明

講師 (独)環境再生保全機構担当者

参加人数 43名

○記帳開始説明会

開催日 平成29年5月23日(火)

内容 記帳制度及び青色申告制度の概要、具体的な記帳の仕方

講師 岡山東・西税務署担当官

参加人数 118名

○消費税の軽減税率制度等説明会

開催日 平成29年11月15日(水) 午前の部・午後の部

内容 軽減税率制度について、軽減税率対策補助金について

講師 岡山東税務署担当官

参加人数 午前：47名 午後：32名

○決算説明会

開催日 平成29年12月11日(月)～14日(木)

内容 記帳の仕方、決算における注意点、消費税のあらまし

講師 税理士 加藤 雅 信 氏

税理士 島 原 実 氏

税理士 小 田 達 也 氏

税理士 平 田 宏 氏

税理士 大 澤 和 弘 氏

税理士 小 野 陽 祐 氏

参加人数 271名

○平成29年分青色申告決算・申告無料相談会

開催日 平成30年1月30日(火)～2月8日(木)

内容 個人事業者の決算、所得税・消費税申告相談

相談員 税理士、岡山東・西青色申告会職員、当所経営指導員等

参加人数 118名

### 4. パソコン教室

入学者 254人

### 5. 健康管理サービス

<本所>

実施日 平成29年6月26日(月)

会 場 岡山商工会議所本所 4 階会議室  
 内 容 生活習慣病健診  
 受診者数 122名

<支所>

実 施 日 平成29年11月17日 (金)  
 会 場 百花プラザ  
 内 容 健康診断  
 受診者数 57名

## 8 技術技能の普及検定

### 1. 検 定

<簿記検定>

回 次	級 別	実施期日	申込者数	実受験者数	合格者数
146	1	H29.6.11	39	30	5
	2		375	301	136
	3		591	481	213
147	1	H29.11.19	64	52	2
	2		441	349	46
	3		774	610	267
148	2	H30.2.25	494	394	106
	3		640	480	238

<リテールマーケティング（販売士）検定>

回 次	級 別	実施期日	申込者数	実受験者数	合格者数
80	2	H29.7.8	59	54	27
	3		165	159	79
81	1	H30.2.21	17	14	3
	2		75	67	23
	3		55	49	29

<簿記（初級）・原価計算（初級）>

申込者数	実受験者数	合格者数
27	27	16

<PC検定>

試験科目	級 別	申込者数	実受験者数	合格者数
文書作成	2	16	16	7
	3	39	32	26
	ベーシック	3	3	3
データ活用	2	10	10	9
	3	24	22	18
	ベーシック	4	4	3
プレゼン 資料作成	2	3	3	1
	3	1	1	1

<カラーコーディネーター検定>

回 次	級 別	実施期日	申込者数	実受験者数	合格者数
42	2	H29.6.18	11	9	1
	3		27	21	20
43	1	H29.12.3	8	8	2
	2		18	13	4
	3		21	18	15

<ビジネス実務法務検定>

回 次	級 別	実施期日	申込者数	実受験者数	合格者数
41	2	H29.7.2	39	34	5
	3		52	45	28
42	1	H29.12.10	1	1	0
	2		61	50	24
	3		62	56	39

<福祉住環境コーディネーター検定>

回 次	級 別	実施期日	申込者数	実受験者数	合格者数
38	2	H29.7.9	177	162	82
	3		34	32	21
39	1	H29.11.26	6	4	0
	2		209	190	71
	3		79	73	15

<eco (環境社会) 検定>

回次	実施期日	申込者数	実受験者数	合格者数
22	H29.7.23	75	68	55
23	H29.12.17	67	61	51

<ビジネスマネジャー検定>

回次	実施期日	申込者数	実受験者数	合格者数
5	H29.7.16	47	42	19
6	H29.11.12	39	35	28

<ビジネス会計検定>

回次	級別	実施期日	申込者数	実受験者数	合格者数
21	2	H29.9.3	27	20	7
	3		67	59	35
22	1	H30.3.11	5	4	0
	2		32	25	9
	3		82	73	40

<晴れの国おかやま検定>

回次	級別	実施期日	申込者数	実受験者数	合格者数
4	達人90点以上	H30.2.4	640	579	77
	博士60~89点				341

<珠算検定>

回次	実施期日	人数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
210	H29.6.25	申込者数	31	58	72	27	28	38	6	5	265
		実受験者数	31	58	69	25	27	37	6	5	258
		合格者数	8	20	36	17	22	32	6	5	146
211	H29.10.22	申込者数	31	46	72	29	35	31	9	8	261
		実受験者数	30	45	72	28	34	30	9	8	256
		合格者数	7	15	26	21	22	27	8	8	134
212	H30.2.11	申込者数	29	55	89	32	44	26	5	8	288
		実受験者数	27	55	87	31	43	26	5	8	282
		合格者数	5	21	58	20	36	22	5	8	175

<暗算検定>

回次	実施期日	人数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
130	H29.6.25	申込者数	9	19	40	18	16	20	122
		実受験者数	11	21	42	19	15	19	127
		合格者数	5	11	34	19	15	19	103
131	H29.10.22	申込者数	8	22	31	22	13	19	115
		実受験者数	8	22	31	22	13	19	115
		合格者数	1	7	19	21	13	17	78
132	H30.2.11	申込者数	12	28	50	19	19	12	140
		実受験者数	12	27	48	18	17	12	134
		合格者数	5	11	34	18	17	12	97

<段位認定>

第120回

期日 平成29年6月25日(日)  
 場所 岡山商工会議所本所、岡山県立西大寺高等学校  
 受験者数 26名  
 結果 珠算 準初段3名/準2段1名/2段2名  
 暗算 準初段1名/初段1名/準2段1名

第121回

期日 平成29年10月22日(日)  
 場所 岡山商工会議所本所、岡山県立西大寺高等学校  
 受験者数 29名  
 結果 珠算 準初段2名/初段5名/2段1名/3段1名  
 暗算 準初段1名/準2段2名

第122回

期日 平成30年2月11日(日)  
 場所 岡山商工会議所本所、岡山市立西大寺小学校  
 受験者数 24名  
 結果 珠算 準初段3名/初段2名  
 暗算 準初段1名/準2段3名/4段1名

## 2. 競技会

2017年そろばんコンテスト・オカヤマ

主催 岡山県商工会議所連合会・日本珠算連盟岡山県連合会  
 期日 平成29年5月14日(日)  
 会場 岡山商工会議所本所  
 参加者 スクール・シニア部門 50名  
 ジュニア部門 110名

## 9 業者照会

国内取引

取引件数 15件

国外取引

取引件数 0件

## 10 経営改善普及事業

### 1. 一般指導事業

#### a. 巡回・窓口相談事業

		対 象 企業数	経 営 革 新	経 営 一 般	情 報 化	金 融	税 務	労 働	取 引	環 境 対 策	その他	計
巡 回 指 導	製 造 業	141	7	303	0	48	8	5	0	0	8	379
	建 設 業	157	1	168	1	106	0	2	0	0	13	291
	小 売 業	292	6	484	5	151	2	3	0	0	15	666
	卸 売 業	41	2	120	1	25	1	3	0	0	6	158
	サ ー ビ ス 業	366	10	637	3	151	11	5	0	0	21	838
	そ の 他	66	4	82	0	25	2	0	0	0	6	119
	計	1,063	30	1,794	10	506	24	18	0	0	69	2,451
窓 口 指 導	製 造 業	210	12	392	85	50	56	71	0	0	158	824
	建 設 業	247	2	174	3	246	60	11	0	0	121	617
	小 売 業	364	6	371	29	273	31	144	0	0	158	1,012
	卸 売 業	85	6	155	26	60	9	21	0	0	115	392
	サ ー ビ ス 業	553	14	667	5	391	117	145	0	0	192	1,531
	そ の 他	149	0	124	8	73	35	68	0	0	57	365
	計	1,608	40	1,883	156	1,093	308	460	0	0	801	4,741
合 計		2,671	70	3,677	166	1,599	332	478	0	0	870	7,192
創 業 指 導	巡 回 指 導	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3
	窓 口 指 導	49	0	25	0	40	0	0	0	0	0	65
	計	52	0	26	0	42	0	0	0	0	0	68
総 合 計		2,723	70	3,703	166	1,641	332	478	0	0	870	7,260

b. 講習会等の開催による指導

		経 営 革 新	経 営 一 般	情 報 化	金 融	税 務	労 働	取 引	環 境 対 策	そ の 他	計
集 団 指 導	回 数	0	0	0	26	17	0	0	0	18	61
	人 数	0	0	0	203	507	0	0	0	36	746
個 別 指 導	回 数	5	2	0	0	31	12	0	0	14	64
	人 数	5	2	0	0	47	4	0	0	14	72

c. 金融斡旋

	斡 旋 件 数	貸 付 件 数	斡 旋 金 額	貸 付 金 額
マ ル 経 資 金	293	289	260,812万円	257,462万円
日 本 政 策 金 融 公 庫 一 般 貸 付 等	34	25	28,550	19,550
新 創 業 融 資	32	29	18,170	16,420
岡 山 県 信 用 保 証 協 会	0	—	0	—
会 員 向 け 特 別 融 資	0	—	0	—
合 計	359	343	307,532	293,432

d. 記帳継続指導

記帳指導回数	469回
記帳対象事業所	104事業所
記帳専任職員	1名
記帳指導員	3名



## 2. 専門指導事業

巡回・窓口相談事業

			対 象 企業数	専 門 分 野	業 種 別	中 心 地 市 街 活 性 化	地 域 振 興	環 境 対 策	そ の 他	計
巡 回 指 導	製 造 業	回 数	11	15	0	1	0	0	0	16
		人 数		15	0	1	0	0	0	16
	建 設 業	回 数	4	4	0	0	0	0	0	4
		人 数		4	0	0	0	0	0	4
	小 売 業	回 数	55	76	0	2	0	0	0	78
		人 数		76	0	2	0	0	0	78
	卸 売 業	回 数	28	46	0	2	0	0	0	48
		人 数		46	0	2	0	0	0	48
	サ ー ビ ス 業	回 数	34	43	0	4	0	0	0	47
		人 数		43	0	4	0	0	0	47
	そ の 他	回 数	13	19	0	2	0	0	0	21
		人 数		19	0	2	0	0	0	21
	計	回 数	145	203	0	11	0	0	0	214
		人 数		203	0	11	0	0	0	214
窓 口 指 導	製 造 業	回 数	22	28	0	0	0	0	0	28
		人 数		28	0	0	0	0	0	28
	建 設 業	回 数	28	43	0	0	0	0	0	43
		人 数		43	0	0	0	0	0	43
	小 売 業	回 数	99	170	0	0	0	0	0	170
		人 数		170	0	0	0	0	0	170
	卸 売 業	回 数	14	20	0	0	0	0	0	20
		人 数		20	0	0	0	0	0	20
	サ ー ビ ス 業	回 数	134	251	0	0	0	0	0	251
		人 数		251	0	0	0	0	0	251
	そ の 他	回 数	12	26	0	0	0	0	0	26
		人 数		26	0	0	0	0	0	26
	計	回 数	309	538	0	0	0	0	0	538
		人 数		538	0	0	0	0	0	538
創 業 指 導	巡 回 指 導	回 数	2	2	0	0	0	0	0	2
		人 数		2	0	0	0	0	0	2
	窓 口 指 導	回 数	46	59	1	0	0	0	0	60
		人 数		59	1	0	0	0	0	60
	計	回 数	48	61	1	0	0	0	0	62
		人 数		61	1	0	0	0	0	62
総 合 計	回 数	502	802	1	11	0	0	0	814	
	人 数		802	1	11	0	0	0	814	

## 11 経営安定特別相談事業

取扱件数	98件	
処理内容	倒産回避	98件
	整理	0件
	調停不能	0件
	継続中	0件

### 1. 「融資・経営安定」特別相談会

開催日 本所 平成29年4月～平成30年3月 毎月第1・3水曜日  
内容 融資・経営安定に関する特別相談  
相談員 日本政策金融公庫、岡山県信用保証協会、岡山市ほか担当者  
参加人数 延べ 203名

### 2. 特別相談事業

相談件数 11件  
第1四半期 2件  
第2四半期 2件  
第3四半期 1件  
第4四半期 6件

### 3. 経営安定支援事業

専門家派遣 84件

### 4. 経営安定セミナー

#### ○ローカルベンチマーク活用セミナー

開催日 平成29年9月5日（火）  
講師 秩父商工会議所 中小企業支援課長 黒澤元国氏  
参加人数 60名

#### ○弁護士活用セミナー（事例から学ぶ事業承継の基本）

開催日 平成29年10月11日（水）  
講師 岡山ひかり法律事務所 弁護士 森智幸氏  
小林裕彦法律事務所 弁護士 田中利佳氏  
参加人数 17名

#### ○ローカルベンチマークフォローアップセミナー

開催日 平成29年10月24日（火）  
講師 税理士 山本直也氏 他2名  
参加人数 7名

#### ○はじめての弁護士活用講座

開催日 平成29年10月24日（火）、11月7日（火）、21日（火）、12月5日（火）  
講師 吉備総合法律事務所 弁護士 土方彬弘氏 他3名

参加人数 全4回 23名

○行政書士活用セミナー（知的資産経営セミナー）

開催日 平成30年2月14日（水）

講師 岡山県行政書士会 行政書士 佐藤好英氏、下村幸喜氏

参加人数 23名

5. 特別相談窓口

<継続している特別相談窓口>

- 北朝鮮制裁措置に係る特別相談窓口 平成18年10月13日（金）設置  
（平成30年3月末日をもって廃止）
- 平成23年東北地方太平洋沖地震災害に関する特別相談窓口 平成23年3月11日（金）設置
- デフレ脱却等特別相談窓口 平成26年2月24日（月）設置  
（平成30年3月末日をもって廃止）
- 三菱自動車工業(株)関連企業特別相談窓口 平成28年5月10日（火）設置
- 自動車サプライチェーン等関連中小企業支援対策  
特別相談窓口（三菱自動車関連） 平成28年5月20日（金）設置  
（平成29年4月20日をもって廃止）
- タカタ(株)関連相談窓口設置 平成29年6月26日（月）設置

## 12 中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業

○専門家派遣事業

相談件数 104件（本所84件、西大寺支所20件）

内 訳 販路拡大・販促支援31件、創業7件、経営革新15件、雇用・労務関係4件、農商工連携3件、ものづくり1件、  
ITを活用した経営力強化31件、その他経営課題12件

## 13 受託・共済事業

①労働保険事務組合	受託事業所数	220事業所（1,748人）
②小規模企業共済	加入者数	873人
③会員事業所共済制度	加入状況	643事業所（2,293人）
	加入口数	6,461口
④特定退職金共済制度	加入状況	576事業所（3,577人）
	加入口数	23,252口
⑤大型・医療共済制度	加入者数	大型保障プラン701 22人 大型損保セット702 1人
⑥個人年金プラン	加入者数	28人
⑦がん保険	加入者数	29人
⑧がん治療保険	加入者数	111人
⑨終身保障プラン	加入者数	46人
⑩総合	加入者数	529人

⑪低払型定期保険	加入者数	81人
⑫経営者年金共済	加入者数	13人
⑬業務災害補償プラン	加入状況	793事業所
⑭P L（製造物責任）保険制度	加入状況	中小企業P L 保険制度 166事業所
		全国商工会議所P L 団体保険制度 0 事業所
		全国商工会議所中小企業海外P L 保険制度 6 事業所
⑮休業補償プラン	加入者数	132人
⑯情報漏えい損害賠償保険	加入状況	51事業所
⑰ビジネス総合保険	加入状況	269事業所
⑱経営セーフティ共済	加入状況	208事業所

#### ももたろう共済還元事業

##### ○ランチバイキングご招待

開催日 平成29年6月1日（木）、2日（金）、5日（月）、8日（木）の4日間

開催地 ホテルグランヴィア岡山19階「アプローズ」

参加人数 257名

## 14 情報処理事業

### 1. 情報処理業務

給与計算管理等中小企業個別処理業務 1件

### 2. GS1事業者コード（JAN企業コード）登録受付業務

新規登録 10件

更新登録 56件

## 15 受託事業

### 1. 汚染負荷量賦課金の徴収業務

委託団体 (独) 環境再生保全機構

事業内容 汚染負荷量賦課金徴収業務のうち、97社の申告書等の受理及び点検、提出協力の要請を行った。

### 2. 容器包装リサイクルの委託業務

委託団体 (公財) 日本容器包装リサイクル協会

事業内容 特定事業者から再商品化委託申込の受付及びこれに伴う関連業務を行った。

### 3. 雇用型訓練を活用する企業に対する支援実施事業（ジョブ・カードセンター業務）の委託業務

委託団体 日本商工会議所中央ジョブ・カードセンター

事業内容 岡山県地域ジョブ・カードセンターを運営し、岡山県内の企業に向け、ジョブ・カード制度の普及啓発を図るとともに、雇用型訓練の活用を促し、人材育成支援を行った。

#### 4. 岡山県職域等に対する自殺予防支援事業

委託団体 岡山県保健福祉部  
事業内容 人材育成業務（研修）  
開催日 平成29年10月25日（水）  
講師 社会保険労務士 鷺江直哉氏  
参加人数 13名

健康教育業務（個別相談会）  
開催日 平成29年11月1日（水）・平成30年2月7日（水）  
相談員 社会保険労務士 鷺江直哉氏  
参加人数 延べ6名

#### 5. 専門家派遣・相談等支援事業（岡山県最低賃金総合相談支援センター）

委託団体 岡山労働局  
事業内容 経営改善及び労働条件管理等の相談業務、専門家派遣業務を行った。

#### 6. 消費税軽減税率対策窓口相談等事業

委託団体 日本商工会議所  
事業内容 消費税率引き上げ及び軽減税率制度導入に対応するため、専門家派遣の実施、セミナーの開催、巡回・窓口相談による国の軽減税率対策事業の広報活動等を行った。

## 16 補助金申請・採択状況

平成28年度2次補正予算 小規模事業者持続化補助金【追加公募分】  
申請：95件 採択：31件

平成29年度予算 事業承継補助金  
申請：3件 採択：0件

---

# VII 登 録

---

## 1 法定台帳

平成29年度特定商工業者について法定台帳を作成し、取引紹介、信用調査等商工関係諸調査、統計資料として運用した。

平成29年度における法定台帳整備件数 7,313件

## VIII 会館・事務所等

### 1 岡山商工会議所ビルディング概要

(本所)

名 称	岡山商工会議所ビルディング
所 在 地	岡山市北区厚生町3丁目1番15号
敷地面積	3,241.98㎡ (980.69坪)
建築面積	1,090.44㎡ (329.85坪)
延床面積	9,845.00㎡ (2,978.11坪)
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地下1階、地上8階、塔屋3階
主要設備	エレベータ：客用（17人乗）2基 人荷用（10人乗）1基 冷暖房：全室 個別空調方式
外 装	エポキシボンタイル仕上げ

(支所)

名 称	岡山商工会議所西大寺支所
所 在 地	岡山市東区西大寺中3丁目6番15号
敷地面積	254.52㎡ (76.99坪)
建築面積	187.25㎡ (56.64坪)
延床面積	579.32㎡ (175.24坪)
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地上3階、塔屋1階
主要設備	冷暖房：全室 個別空調方式
外 装	タイル仕上げ

### 2 各階床面積

(本所)

階 数	床 面 積	貸 室	展 示 場	会 議 室	備 考
地 下 1	1,116.84㎡	360.90㎡	㎡	㎡	レストラン、機械室
1	1,010.76		38.76	271.25	会議所中小企業・地域振興部、会議室
2	1,035.30	719.98			貸室
3	1,035.30				会議所役員室、事務局
4	1,035.30			701.50	大・中・小会議室
5	1,035.30	640.14			記者クラブ、各経済団体、貸室
6	1,035.30	719.98			貸室
7	1,035.30	719.98			貸室
8	1,035.30	719.98			貸室
塔 屋 1	206.50				倉庫
2	206.50				機械室
3	57.30				機械室
合 計	9,845.00	3,880.96	38.76	972.75	

(支所)

階 数	床 面 積	貸 室	展 示 場	会 議 室	備 考
1	187.25㎡	㎡	㎡	㎡	
2	194.03	11.47			役員室、支所事務局
3	185.22	11.61		104.56	貸室、会議室
塔 屋	12.82				
合 計	579.32	23.08		104.56	

### 3 岡山商工会議所ビル入居者

(本所)

<地下1階>

ランチ&喫茶プロペラス

<2階>

岡山県機械金属工業厚生年金基金、公益財団法人岡山県暴力追放運動推進センター、岡山東青色申告会、一般社団法人岡山ビルメンテナンス協会、株式会社シーズ

<5階>

株式会社あどりえ、ぼう、岡山経済金融記者クラブ、一般社団法人岡山経済同友会、一般社団法人岡山県LPガス協会、島本総合法書士法人岡山事務所、ハウスプラス中国住宅保証株式会社、藤井歯科診療所

<6階>

公益社団法人おかやま観光コンベンション協会、一般財団法人岡山県サッカー協会、岡山県仲人協会、公益社団法人岡山青年会議所、株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ、株式会社プロセス、ライオンズクラブ国際協会336-B地区キャビネット事務局

<7階>

アクサ生命保険株式会社岡山支社、アクサ生命保険株式会社岡山パートナービジネス営業所、NPO法人岡山県婚活支援センター、岡山県地域ジョブ・カードセンター、企業組合日本ユビックコマース

<8階>

岡山県経営コンサルタント事業協同組合、岡山県自動車販売健康保険組合、岡山シーガルズ事務局、株式会社学研エデュケーショナル、キッセイ薬品工業株式会社広島支店岡山営業所、独立行政法人日本貿易振興機構岡山貿易情報センター、フクビ化学工業株式会社岡山営業所、三宅健社会保険労務士事務所、株式会社リスコ

(支所)

<3階>

一般社団法人西大寺青年会議所

### 4 附帯駐車場の概要

(本所)

所在地 岡山市北区厚生町3丁目1番8号  
敷地面積 3,767.83㎡  
駐車台数 143台  
形態 平面駐車場  
管理方式 24時間機械式ゲート方式(無人対応)  
営業時間 終日(年中無休)

(支所)

所在地 岡山市東区西大寺中3丁目3番14  
敷地面積 339.57㎡  
駐車台数 14台  
形態 平面駐車場



# Ⅸ 関係団体への加入および連繋

## 1 日本商工会議所

当所は日本商工会議所の議員であり、会頭は常議員に選任されている。

また、下記の委員を委嘱されており、会頭、専務理事が出席し審議に当たっている。

<第30期> 平成28年11月17日～平成31年10月31日

産業経済委員会・国際経済委員会・中小企業委員会・教育委員会・広報特別委員会の委員

○総会、常議員会、委員会等への出席

会員総会	3回
議員総会	6回
常議員会	10回
委員会	17回

## 2 中国地方商工会議所連合会

当所は中国地方商工会議所連合会の会員であり、会頭は副会長に就任している。

○総会、幹事会等への出席 2回

## 3 岡山県商工会議所連合会

(別掲-P38に掲載)

## 4 その他関係団体・企業（主なもの、五十音順）

明るいはだか祭りを守る会	岡山県卸売市場審議会
アクサ生命保険(株)	(協)岡山県卸センター
安全・安心岡山県づくり県民会議	岡山県学校図書館協議会
因美線・津山線近代化促進期成同盟会	(公財)岡山県環境保全事業団
宇野港振興協会	(公社)岡山県観光連盟
会陽冬花火実行委員会	岡山県企業スポーツ連絡協議会
大本育英会	岡山県企業誘致推進協議会
(株)オービス	岡山県行政情報公開制度運営審議会
おかやま魚島横丁振興会	(社福)岡山県共同募金会
おかやま円卓会議	(公財)岡山県郷土文化財団
(公社)おかやま観光コンベンション協会	岡山県金融広報委員会
岡山行政苦情処理委員会	岡山県経営者協会
岡山行政評価事務所	岡山県経済団体連絡協議会
岡山空港ターミナル(株)	岡山県警察友の会
(一財)岡山経済研究所	岡山県献血推進協議会
(一社)岡山経済同友会	岡山県高度情報化推進協議会
(公財)岡山県育英会	岡山県港湾漁業協会

(一社)岡山県国際経済交流協会  
(一財)岡山県国際交流協会  
岡山県子どもを健やかに生み育てるための環境づくり推進協議会  
(公財)岡山県産業振興財団  
岡山県産業人材育成コンソーシアム  
(社福)岡山県社会福祉協議会  
N P O 法人岡山県就労支援事業者機構  
岡山県障害者差別解消支援地域協議会  
岡山県商工会連合会  
岡山県商店街振興組合連合会  
岡山県消費生活懇談会  
岡山県職業能力開発協会  
岡山県信用保証協会  
岡山県神社庁  
(公社)岡山県青少年育成県民会議  
岡山県赤十字有功会  
岡山県総合流通センター運営協議会  
(一社)岡山県宅地建物取引業協会  
岡山県地域・職域保健連携推進協議会  
岡山県地域訓練協議会  
岡山県地産地消推進会議  
岡山県地方港湾審議会  
岡山県中小企業振興審議会  
岡山県中小企業団体中央会  
岡山県天神山文化プラザ文化振興会  
岡山県図書館協会  
岡山県トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議  
岡山県菜の花プロジェクト推進協議会  
(一社)岡山県発明協会  
(公財)岡山県暴力追放運動推進センター  
岡山県北方領土返還要求運動県民会議  
おかやま県民文化祭実行委員会  
岡山県立美術館運営協議会  
(公社)岡山県緑化推進協会  
岡山県レクリエーション協会  
岡山県労働協会  
岡山広告協会  
おかやま国際音楽祭実行委員会  
(株)岡山コンベンションセンター  
岡山・産学官連携推進会議  
岡山シーガルズ  
(一財)岡山市勤労者サポートプラザ  
岡山市都市戦略懇話会  
岡山市献血推進委員会

岡山市建築審査会  
(公財)岡山市公園協会  
岡山市ゴルフ協会  
岡山市ジュニアオーケストラ後援会  
岡山市商店会連合会  
岡山市女性活躍推進協議会  
(公財)岡山市シルバー人材センター  
(公財)岡山市スポーツ・文化振興財団  
岡山市総合政策審議会  
(株)岡山シティエフエム  
岡山自動車道利用促進協議会  
岡山市防火安全協会  
岡山市まちづくり賞選考委員会  
おかやま新卒者等就職・採用応援本部  
(公財)岡山シンフォニーホール  
おかやまスポーツプロモーション研究会  
岡山大学産学官融合センター  
岡山大学地域総合研究センター  
岡山地域産業保健センター  
おかやま地域発展協議体  
(公財)岡山中央暴力追放推進協議会  
岡山中金会  
おかやま都市交通戦略連携会議  
岡山都市整備(株)  
岡山西社会保険委員会  
岡山西地区国際化対策連絡協議会  
(公社)岡山西法人会  
岡山西暴力追放推進協議会  
岡山ネットワーク(株)  
岡山東青色申告会  
岡山東納税貯蓄組合連合会  
岡山東暴力追放推進協議会  
岡山ビルディング協会  
岡山まちとモビリティ研究会  
おかやま桃太郎まつり運営委員会  
岡山ユニセフ協会  
岡山労働局  
雄町サミットinおかやま実行委員会  
恩賜財団済生会支部岡山県済生会  
(学)吉備高原学園  
吉備線電化促進期成同盟会  
健康市民おかやま21推進会議  
空港津山道路整備促進協議会  
空路利用を促進する会

公益信託百間川水と緑の基金  
更生保護法人備作恵済会古松園  
高齢者雇用推進委員会  
後楽園魅力向上委員会  
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構  
国土審議会中国地方開発特別委員会  
(公財)児島湖流域水質保全基金  
雇用均等行政推進員会議  
山陽SC開発(株)  
(公社)山陽技術振興会  
山陽時事問題懇談会  
(社福)山陽新聞社会事業団  
(一社)システムエンジニアリング岡山  
生涯現役社会づくり検討会  
(一財)積善会  
全国空港建設整備促進協議会  
全国警察友の会  
全国健康保険協会岡山支部  
(一財)全国商工会議所共済会  
(一社)全国労働保険事務組合連合会岡山支部  
大学コンソーシアム岡山  
「第20回北前船寄港地フォーラムinおかやま」実行委員会  
地域年金事業運営調整会議  
「小さな親切」運動岡山県本部  
(一社)中国経済連合会  
中国地域エネルギーフォーラム岡山県支部  
中国地域観光推進協議会  
中国地域産学官コラボレーション会議  
中国地域発展推進会議  
中国地方交通審議会岡山県部会  
中国地方生産性本部岡山支部  
中国地方整備局総合評価審査委員会岡山県支部  
(公社)中国地方総合研究センター  
(独)中小企業基盤整備機構  
津山線高速化促進期成同盟会  
(公社)鉄道貨物協会岡山支部  
難病患者就労支援ネットワーク会議・難病患者就職支援連絡協議会  
日本商工連盟  
日本赤十字社岡山県支部  
(公財)日本電信電話ユーザ協会岡山支部  
日本年金機構岡山西年金事務所  
(一社)日本ビルヂング協会連合会  
(独)日本貿易振興機構岡山貿易情報センター  
バイオアクティブおかやま  
バス利用促進検討会議  
(株)ファジアーノ岡山スポーツクラブ  
ファジアーノ岡山募金推進委員会  
三木記念事業基金運営審議会  
マイクロものづくり岡山推進協議会  
水島港インターナショナルトレード協議会 (MITA)

# X 外郭団体等

## 1. 外郭団体

当商工会議所が事業推進のために中心となって組織し、事務局内で事務を取り扱っている団体

旭川さくらみちの桜を守る会

NPO法人旭川を日本一美しい川に育てる会

岡山経済調査協議会

岡山芸道保存の会

岡山県警察友の会

岡山県商工会議所連合会

岡山県日韓親善協会

岡山珠算振興会

日本珠算連盟岡山県連合会

岡山総友会

岡山経友会

岡山・ミャンマー友好推進会議

岡山武蔵倶楽部

津山線利用を促進する会

中四国南北軸交流懇談会

日本商工連盟岡山地区

「方谷さんを広める会」応援連絡会

## 2. 事業関係団体及び組織

上記以外で当商工会議所が委託を受けて事務を執行し、当所事業活動に関係ある団体及び組織

旭川かわまちづくり計画検討・推進会議

「雲中の飛龍 山田方谷」NHK大河ドラマ放映実現を求める全国100万人署名運動実行委員会

おかやま桃太郎まつり納涼花火大会実行委員会

西大寺青色申告会

西大寺青色申告会連合会

西大寺会陽奉賛会

西大寺間税会

西大寺小売酒販組合

西大寺五福通りレトロ・マルシェ実行委員会

西大寺酒販協同組合

西大寺商店会連合会

(一社)西大寺青年会議所

西大寺地区雇用開発協会

(公社)西大寺法人会

さわやか東備会西大寺地区

瀬戸大橋通行料金の抜本の見直しを求める協議会  
夏まつり西大寺実行委員会  
「6月1日岡山市民の日」推進協議会

# 平成 29 年 度 収 支 決 算 書

自 平成29年 4 月 1 日  
至 平成30年 3 月31日

岡 山 商 工 会 議 所

# 平成29年度収支決算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

(1) 平成29年度一般会計収支決算書	96
貸借対照表	101
(2) 平成29年度法定台帳関係費特別会計収支決算書	102
(3) 平成29年度共済事業特別会計収支決算書	105
貸借対照表	108
(4) 平成29年度労働保険事務組合委託保険料特別会計収支決算書	109
(5) 平成29年度小規模事業特別会計収支決算書	111
(6) 平成29年度ビルディング特別会計収支決算書	116
貸借対照表	120
(7) 平成29年度財政調整基金特別会計収支決算書	122
貸借対照表	123
(8) 平成29年度事業運営積立金特別会計収支決算書	124
貸借対照表	125
(9) 平成29年度退職給与積立金特別会計収支決算書	126
貸借対照表	127
(10) 合計貸借対照表	128
(11) 財産目録	129

平成29年度収支決算書総括表

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

(単位 円)

会 計	繰越額	収 入	支 出	収支残高	繰入額	差引収支残高	備 考
一 般 会 計	5,117,445	208,207,308	142,025,527	71,299,226	△ 62,640,099	8,659,127	小規模・財政調整へ繰出
法定台帳関係費特別会計	0	9,442,500	9,442,500	0	0	0	
共済事業特別会計	20,165,525	47,133,526	47,133,526	20,165,525	0	20,165,525	
労働保険事務組合委託保険料特別会計	0	9,869,122	9,869,122	0	0	0	
小規模事業特別会計	0	192,759,044	246,799,143	△ 54,040,099	54,040,099	0	一般会計より繰入
ビルディング特別会計	23,940,516	196,837,159	175,207,886	45,569,789	0	45,569,789	
小 計	49,223,486	664,248,659	630,477,704	82,994,441	△ 8,600,000	74,394,441	
財政調整基金特別会計	41,610,723	2,426	0	41,613,149	8,600,000	50,213,149	一般会計より繰入
事業運営積立金特別会計	449,339,513	1,042,924	0	450,382,437	0	450,382,437	
退職給与積立金特別会計	155,746,169	17,240	8,193,000	147,570,409	26,000,000	173,570,409	収支5会計より繰入
小 計	646,696,405	1,062,590	8,193,000	639,565,995	34,600,000	674,165,995	
合 計	695,919,891	665,311,249	638,670,704	722,560,436	26,000,000	748,560,436	



平成29年度一般会計収支決算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

収入の部 (単位 円)

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 会 費		122,391,000	118,200,000	4,191,000	
	1. 会 費	122,391,000	118,200,000	4,191,000	20,398口他 (1口 6,000円)
2. 事 業 収 入		50,198,271	50,290,000	△ 91,729	
	1. 検 定 受 験 料	22,746,265	22,420,000	326,265	
	2. 講 座・講 習 会 受 講 料	6,112,765	7,360,000	△ 1,247,235	1. 講習会受講料 1,784,500 2. パソコン教室 4,328,265
	3. 広 告 料	9,997,840	9,900,000	97,840	会報等広告料
	4. 手 数 料 等	4,336,401	3,610,000	726,401	1. 汚染負荷量賦課金業務手数料 1,817,586 2. 貿易証明・特定原産地証明手数料 2,127,000 3. その他手数料等 391,815
	5. 岡山後楽園春の園遊会	7,005,000	7,000,000	5,000	参加費および協賛金
3. 交 付 金		30,476,551	31,800,000	△ 1,323,449	
	1. 委 託 金	28,726,551	31,500,000	△ 2,773,449	岡山地域ジョブ・カードセンター委託金 (岡山分)
	2. 賦 課 金	300,000	300,000	0	
	3. おかやま検定負担金	1,350,000	0	1,350,000	岡山県共催負担金
	4. 心の健康づくり計画助成金	100,000	0	100,000	(独) 労働者健康安全機構助成金

4. 雑 収 入		525,006	150,000	375,006	
	1. 雑 収 入	525,006	150,000	375,006	預金利息、その他手数料等
5. 事務分担金		4,616,480	4,800,000	△ 183,520	
	1. 事務分担金	4,616,480	4,800,000	△ 183,520	外郭団体等事務受託分担金
6. 繰 入 金		0	0	0	
	1. ビルディング 特別会計繰入金	0	0	0	
	2. 財政調整基金 特別会計繰入金	0	0	0	
7. 繰 越 額		5,117,445	4,200,000	917,445	
	1. 繰 越 額	5,117,445	4,200,000	917,445	
合 計		213,324,753	209,440,000	3,884,753	

支出の部

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 事 業 費		106,142,833	112,500,000	△ 6,357,167	
	1. 一 般 事 業 費	77,416,282	81,000,000	△ 3,583,718	
	(1) 商 工 奨 励 費	28,355,270	28,380,000	△ 24,730	1. 地域づくり推進費 1,261,233 2. 商工業に関する事業 3,655,826 3. 観光物産の振興に関する事業 2,210,878 4. 国際交流の推進に関する事業 4,477,721 5. 行事費 5,255,250 6. 岡山春の園遊会事業費 7,087,686 7. その他商工奨励費等 記者クラブ運営費込 4,406,676
	(2) 商工技術振興費	13,742,771	12,100,000	1,642,771	検定事業費
	(3) 講演会・講習会	5,693,448	6,560,000	△ 866,552	講習会、パソコン教室開催経費
	(4) 調査活動費	11,471,827	12,810,000	△ 1,338,173	1. 委員会・部会活動費 6,013,491 2. 研究研修費 3,447,866 3. 調査費・資料費等 2,010,470
	(5) 広 報 費	16,215,442	17,410,000	△ 1,194,558	会報・支所だより発行費
	(6) 会員拡充強化費	1,426,371	2,700,000	△ 1,273,629	
	(7) 交流会等開催費	511,153	1,040,000	△ 528,847	会員交流会・ビジネス交流会開催費
	2. 委 託 事 業 費	28,726,551	31,500,000	△ 2,773,449	岡山地域ジョブ・カードセンター委託事業費 (岡山分)

2. 管 理 費		31,900,997	41,610,000	△	9,709,003	
1. 給 与 費		13,295,170	16,280,000	△	2,984,830	
(1) 俸 給		10,069,500	12,460,000	△	2,390,500	
(2) 特 別 手 当		2,375,570	2,440,000	△	64,430	
(3) 諸 手 当		850,100	1,380,000	△	529,900	
(4) 派 遣 社 員 費		0	0		0	委託費に計上
2. 福 利 厚 生 費		2,848,961	3,640,000	△	791,039	
(1) 社 会 保 険 料		1,927,791	2,480,000	△	552,209	
(2) 退 職 年 金 掛 金		700,340	830,000	△	129,660	
(3) 福 利 厚 生 費		220,830	330,000	△	109,170	
3. 旅 費 ・ 交 通 費		2,801,981	2,600,000		201,981	
4. 事 務 費		7,764,623	11,360,000	△	3,595,377	
(1) 通 信 費		1,000,757	2,250,000	△	1,249,243	
(2) 印 刷 費		1,309,584	1,780,000	△	470,416	
(3) 消 耗 品 費		1,437,057	1,460,000	△	22,943	
(4) 表 彰 費		563,326	500,000		63,326	永年在任議員表彰・永年勤続職員表彰
(5) 慶 弔 費		176,615	300,000	△	123,385	
(6) 委 託 費		3,277,284	5,070,000	△	1,792,716	OA機器リース料等 公用車運行管理の派遣社員費を含む
5. 会 議 費		3,004,490	3,300,000	△	295,510	総会・常議員会・委員会等会議費
6. 公 課 分 担 金		2,185,772	4,430,000	△	2,244,228	日商会費等
3. 選 挙 費		0	0		0	
1. 選 挙 費		0	0		0	
4. 退 職 給 与 引 当 金		3,400,000	1,400,000		2,000,000	
1. 退 職 給 与 引 当 金		3,400,000	1,400,000		2,000,000	退職給与積立金特別会計へ繰入

5. 繰 出 金		62,640,099	52,050,000	10,590,099	
	1. 小規模事業特別会計繰出金	54,040,099	52,050,000	1,990,099	小規模事業特別会計へ繰入
	2. 財政調整基金特別会計繰出金	8,600,000	0	8,600,000	一般会計剰余金の1/2を限度に繰出可能
6. 雑 費		581,697	680,000	△ 98,303	
	1. 雑 費	581,697	680,000	△ 98,303	
7. 予 備 費		0	1,200,000	△ 1,200,000	
	1. 予 備 費	0	1,200,000	△ 1,200,000	
合 計		204,665,626	209,440,000	△ 4,774,374	

収入支出比較表

収 入 決 算 額	支 出 決 算 額	差 引 残 額	備 考
213,324,753	204,665,626	8,659,127	本年度剰余金

貸 借 対 照 表  
一 般 会 計

平成30年3月31日現在

(単位 円)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
( 資 産 の 部 )			( 負 債 の 部 )		
流 動 資 産			流 動 負 債		
現 金	1,182,020		未 払 金	62,697,339	
預 金	124,177,691	当座預金 5,228,901 普通預金 118,948,790	前 受 金	267,520	
未 収 金	38,351,797		預 り 金	65,412,611	
前 払 金	2,524,379		仮 受 金	30,001,201	
立 替 金	6,457,892		継 続 事 業 引 当 金	2,007,495	
流動資産合計	172,693,779		福 利 厚 生 引 当 金	3,648,486	
			流動負債合計	164,034,652	
固 定 資 産			( 正 味 財 産 の 部 )		
投 資 有 価 証 券	0		固 定 財 産	676,642,980	
土 地	676,642,980		剰 余 金		
			剰 余 金	8,659,127	
固定資産合計	676,642,980		正味財産の部合計	685,302,107	
合 計	849,336,759		合 計	849,336,759	

平成29年度法定台帳関係費特別会計収支決算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

収入の部 (単位 円)

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 本 年 度 負 担 金		9,442,500	9,350,000	92,500	
	1. 本 年 度 負 担 金	9,442,500	9,350,000	92,500	特定商工業者の内 3,777事業所 (1件 2,500円)
2. 過 年 度 負 担 金		0	0	0	
	1. 過 年 度 負 担 金	0	0	0	
3. 繰 越 額		0	0	0	
	1. 繰 越 額	0	0	0	
合 計		9,442,500	9,350,000	92,500	

支出の部

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 給 与 費		5,526,535	5,840,000	△ 313,465	
	1. 俸 給	3,308,434	4,120,000	△ 811,566	一部他事業の負担有
	2. 特 別 手 当	1,817,950	1,230,000	587,950	
	3. 諸 手 当	400,151	490,000	△ 89,849	
2. 事 務 局 費		1,083,971	550,000	533,971	
	1. 消 耗 品 費	386,954	100,000	286,954	
	2. 委 託 費	697,017	450,000	247,017	
3. 事 業 費		1,472,288	1,600,000	△ 127,712	
	1. 通 信 費	966,845	1,090,000	△ 123,155	
	2. 印 刷 費	505,443	510,000	△ 4,557	
4. 福 利 厚 生 費		559,706	860,000	△ 300,294	
	1. 福 利 厚 生 費	559,706	860,000	△ 300,294	社会保険料等 一部他事業の負担有
5. 退 職 給 与 引 当 金		800,000	500,000	300,000	
	1. 退 職 給 与 引 当 金	800,000	500,000	300,000	退職給与積立金特別会計へ繰入
6. 予 備 費		0	0	0	
	1. 予 備 費	0	0	0	
合 計		9,442,500	9,350,000	92,500	



收入支出比較表

収 入 決 算 額	支 出 決 算 額	差 引 残 額	備 考
9,442,500	9,442,500	0	

平成29年度共済事業特別会計収支決算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

収入の部 (単位 円)

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 手数料収入		47,133,113	42,540,000	4,593,113	
	1. 手 数 料 収 入	47,133,113	42,540,000	4,593,113	
	(1)会 員 事 業 所 共 済	12,506,215	13,500,000	△ 993,785	事務手数料を含む
	(2)特 定 退 職 金 共 済	13,604,634	14,000,000	△ 395,366	
	(3)個 人 年 金 等 共 済	7,884,884	6,030,000	1,854,884	
	(4)業 務 災 害 補 償 プ ラ ン	9,793,149	7,000,000	2,793,149	
	(5)個 人 情 報 漏 え い 保 険 等	3,344,231	2,010,000	1,334,231	PL保険、所得補償、経営者年金、県共済、ビジネス総合保険
2. 雑 収 入		413	20,000	△ 19,587	
	1. 雑 収 入	413	20,000	△ 19,587	
3. 繰 越 額		20,165,525	20,160,000	5,525	
	1. 繰 越 額	20,165,525	20,160,000	5,525	
合 計		67,299,051	62,720,000	4,579,051	

共済掛金額	会 員 事 業 所 共 済	51,457,496
	特 定 退 職 金 共 済	283,391,100

支出の部

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 事 業 費		5,877,195	4,190,000	1,687,195	
	1. 募 集 推 進 費	4,022,641	3,240,000	782,641	
	2. 広 報 費	1,854,554	950,000	904,554	
	(1) 会 報 発 行 費	1,272,234	750,000	522,234	
	(2) 資 料 費	582,320	200,000	382,320	
2. 管 理 費		32,228,428	33,050,000	△ 821,572	
	1. 給 与 費	16,458,130	19,600,000	△ 3,141,870	
	(1) 俸 給	12,186,900	15,080,000	△ 2,893,100	
	(2) 特 別 手 当	3,258,980	2,950,000	308,980	
	(3) 諸 手 当	1,012,250	1,570,000	△ 557,750	
	2. 福 利 厚 生 費	2,912,845	3,730,000	△ 817,155	
	(1) 社 会 保 険 料	2,380,177	3,090,000	△ 709,823	
	(2) 退 職 年 金 掛 金	337,513	400,000	△ 62,487	
	(3) 福 利 厚 生 費	195,155	240,000	△ 44,845	
	3. 旅 費	1,061,926	600,000	461,926	
	4. 事 務 費	6,635,494	5,040,000	1,595,494	
	(1) 通 信 費	1,119,570	1,260,000	△ 140,430	
	(2) 印 刷 費	1,013,770	1,180,000	△ 166,230	
	(3) 消 耗 品 費	1,262,736	1,080,000	182,736	
	(4) 慶 弔 費	70,647	120,000	△ 49,353	
(5) 委 託 費	3,168,771	1,400,000	1,768,771		

	5. 支 払 手 数 料	481,140	2,360,000	△	1,878,860	振込手数料他
	6. 会 議 費	1,242,693	200,000		1,042,693	
	7. 公 課 分 担 金	3,436,200	1,520,000		1,916,200	
3. 退 職 給 与 引 当 金		8,800,000	5,100,000		3,700,000	
	1. 退 職 給 与 引 当 金	8,800,000	5,100,000		3,700,000	退職給与積立金特別会計へ繰入
4. 繰 出 金		0	0		0	
	1. 一 般 会 計 繰 出 金	0	0		0	
5. 雑 費		227,903	220,000		7,903	
	1. 雑 費	227,903	220,000		7,903	
6. 次 年 度 繰 越 額		20,165,525	20,160,000		5,525	
	1. 次 年 度 繰 越 額	20,165,525	20,160,000		5,525	
合 計		67,299,051	62,720,000		4,579,051	

共済掛金納付額	会 員 事 業 所 共 済	40,182,555
	特 定 退 職 金 共 済	269,786,466

#### 収入支出比較表

収 入 決 算 額	支 出 決 算 額	差 引 残 額	備 考
67,299,051	47,133,526	20,165,525	次年度繰越

貸 借 対 照 表

共済事業特別会計

平成30年3月31日現在

(単位 円)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
普 通 預 金	10,835,525	特定退職金共済口座の一部	次 年 度 繰 越 額	20,165,525	
投 資 有 価 証 券	9,330,000	T&Dホールディングス株式			
合 計	20,165,525		合 計	20,165,525	

平成29年度労働保険事務組合委託保険料特別会計収支決算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

収入の部 (単位 円)

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 手数料収入		9,869,107	10,200,000	△ 330,893	
	1. 取扱手数料	7,282,367	7,400,000	△ 117,633	本所155件、支所65件
	2. 報 奨 金	2,526,908	2,700,000	△ 173,092	岡山労働局
	3. 助 成 金	59,832	100,000	△ 40,168	加入勧奨・成功報酬 全国労働保険事務組合連合会
2. 雑 収 入		15	10,000	△ 9,985	
	1. 雑 収 入	15	10,000	△ 9,985	預金利息
合 計		9,869,122	10,210,000	△ 340,878	

支出の部

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 管 理 費		9,869,122	10,210,000	△ 340,878	
	1. 給 与 費	5,134,071	5,920,000	△ 785,929	
	(1)俸 給	3,375,250	4,150,000	△ 774,750	
	(2)特 別 手 当	1,308,100	1,310,000	△ 1,900	
	(3)諸 手 当	450,721	460,000	△ 9,279	
	2. 福 利 厚 生 費	873,852	910,000	△ 36,148	
	(1)社 会 保 険 料	873,852	910,000	△ 36,148	一部他事業の負担有
	3. 事 務 費	3,861,199	3,380,000	481,199	
	(1)募 集 推 進 費	376,520	440,000	△ 63,480	
	(2)通 信 費	1,109,293	1,150,000	△ 40,707	
	(3)印 刷 費	957,629	770,000	187,629	
	(4)消 耗 品 費	935,360	800,000	135,360	
	(5)委 託 費	482,397	220,000	262,397	
合 計		9,869,122	10,210,000	△ 340,878	

収入支出比較表

収 入 決 算 額	支 出 決 算 額	差 引 残 額	備 考
9,869,122	9,869,122	0	

## 平成29年度小規模事業特別会計収支決算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

収入の部 (単位 円)

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 補 助 金		171,350,604	159,650,000	11,700,604	
	1. 県小規模事業 指導費補助金	144,711,520	142,990,000	1,721,520	1. 経営指導員・補助員人件費 115,905,640 2. 事業費 28,805,880
	2. 市 補 助 金	21,123,600	7,660,000	13,463,600	1. 岡山市経営改善普及事業等補助金 7,660,000 2. 岡山市マル経利子補給金 13,463,600
	3. 日 商 補 助 金	4,954,304	9,000,000	△ 4,045,696	日本商工会議所 伴走型小規模事業者支援推進事業
	4. 中小企業基盤整備機構 補 助 金	561,180	0	561,180	創業支援事業者補助事業 (創業スクール)
2. 委 託 金		17,228,724	17,000,000	228,724	
	1. 最低賃金総合相談 支援センター委託金	11,063,045	12,000,000	△ 936,955	岡山労働局
	2. 消費税軽減税率対策 窓口相談等委託金	3,701,041	3,800,000	△ 98,959	日本商工会議所
	3. 職域に対する相談 支援事業委託金	604,666	0	604,666	岡山県メンタルヘルス対策事業
	4. 地域創業促進 支援事業委託金	0	1,200,000	△ 1,200,000	中小企業庁・創業スクール
	5. 小規模事業者経営力 向上支援事業委託金	1,859,972	0	1,859,972	日本商工会議所スーパーバイザー事業
3. 一 般 会 計 繰 入 金		54,040,099	52,050,000	1,990,099	
	1. 一 般 会 計 繰 入 金	54,040,099	52,050,000	1,990,099	



4. 記帳事務 代 行 料		475,200	510,000	△	34,800	
	1. 記帳事務代行料	475,200	510,000	△	34,800	
5. 受 講 料		1,062,328	430,000		632,328	
	1. 受 講 料	1,062,328	430,000		632,328	夜間簿記講座、機構創業スクール、岡山市人材育成セミナー
6. 講習会開催 負 担 金		50,000	50,000		0	
	1. 負 担 金	50,000	50,000		0	青色申告会と共催
7. 雑 収 入		2,592,188	2,080,000		512,188	
	1. 雑 収 入	2,592,188	2,080,000		512,188	1. 容器包装リサイクル業務委託手数料等 399,600 2. 小規模企業共済事務取扱手数料 1,466,456 3. 中小企業倒産防止共済事務取扱手数料 475,740 4. 受託セミナー分担金、持続化手数料その他 250,392
合 計		246,799,143	231,770,000		15,029,143	

支出の部

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 事 業 費		48,734,434	36,400,000	12,334,434	
	1. 指 導 事 業 費	23,930,677	8,050,000	15,880,677	
	(1) 講 習 会 等 開 催 費	1,748,681	1,860,000	△ 111,319	小規模事業指導費補助金関係分
	(2) その他講習会等開催費	0	0	0	
	(3) 記 帳 指 導 員 謝 金	1,413,040	1,410,000	3,040	
	(4) 金 融 指 導 事 務 費	940,801	830,000	110,801	
	(5) 受 託 講 習 会 開 催 費	538,836	650,000	△ 111,164	他団体との共催、受託講習会他
	(6) そ の 他 事 業 費	19,289,319	3,300,000	15,989,319	マル経利子補給金給付額13,463,600円を含む
	2. 研 修 事 業 費	1,374,434	2,260,000	△ 885,566	
	(1) 研 修 参 加 費	786,750	1,200,000	△ 413,250	中小企業大学校研修会
	(2) 指 導 員 等 研 修 事 業 費	587,684	1,060,000	△ 472,316	経営指導員等研修会開催経費、研修旅費
	3. 経 営 安 定 特 別 相 談 事 業 費	7,058,760	6,980,000	78,760	
	4. 嘱 託 専 門 指 導 員 謝 金	6,666,720	6,670,000	△ 3,280	
	5. 女 性 会 事 業 費	1,698,100	1,700,000	△ 1,900	県女連補助金
	6. 青 年 部 事 業 費	1,732,800	1,740,000	△ 7,200	県青連事業費
	7. 伴 走 型 小 規 模 事 業 者 支 援 推 進 事 業	4,954,304	9,000,000	△ 4,045,696	日本商工会議所補助事業
	8. 中 小 企 業 基 盤 整 備 機 構 補 助 事 業 費	1,318,639	0	1,318,639	創業支援事業者補助事業（創業スクール）
2. 委 託 事 業 費		17,228,724	17,000,000	228,724	
	1. 最 低 賃 金 総 合 相 談 支 援 セ ン タ ー 事 業 費	11,063,045	12,000,000	△ 936,955	岡山労働局委託事業費
	2. 消 費 税 軽 減 税 率 対 策 窓 口 相 談 等 委 託 事 業 費	3,701,041	3,800,000	△ 98,959	日本商工会議所

	3. 職域に対する 相談支援事業費	604,666	0		604,666	岡山県メンタルヘルス対策事業
	4. 地域創業促進 支援事業費	0	1,200,000	△	1,200,000	中小企業庁・創業スクール
	5. 小規模事業者経営力 向上支援事業費	1,859,972	0		1,859,972	日本商工会議所スーパーバイザー事業
<b>3. 管 理 費</b>		170,659,819	172,020,000	△	1,360,181	
	1. 給 与 費	141,531,479	142,860,000	△	1,328,521	
	(1)俸 給	92,138,400	92,940,000	△	801,600	経営指導員・補助員等
	(2)特 別 手 当	35,802,400	35,000,000		802,400	
	(3)諸 手 当	13,590,679	14,920,000	△	1,329,321	
	2. 福 利 厚 生 費	26,944,946	27,140,000	△	195,054	
	(1)社 会 保 険 料	22,523,804	22,640,000	△	116,196	
	(2)退 職 年 金 掛 金	4,240,278	4,270,000	△	29,722	
	(3)福 利 厚 生 費	180,864	230,000	△	49,136	
	3. 旅 費 ・ 交 通 費	285,580	200,000		85,580	指導旅費
	4. 事 務 費	1,897,814	1,820,000		77,814	
	(1)通 信 費	762,550	760,000		2,550	
	(2)印 刷 費	244,113	180,000		64,113	
	(3)消 耗 品 費	822,761	820,000		2,761	事務用消耗品費
	(4)調 査 研 究 費	62,990	50,000		12,990	調査研究資料等購入費
	(5)会 議 費	5,400	10,000	△	4,600	
<b>4. 退 職 給 与 引 当 金</b>		10,000,000	6,000,000		4,000,000	
	1. 退 職 給 与 引 当 金	10,000,000	6,000,000		4,000,000	退職給与積立金特別会計へ繰入
<b>5. 雑 費</b>		176,166	200,000	△	23,834	
	1. 雑 費	176,166	200,000	△	23,834	

6. 予 備 費		0	150,000	△	150,000	
	1. 予 備 費	0	150,000	△	150,000	
合 計		246,799,143	231,770,000		15,029,143	

収入支出比較表

収 入 決 算 額	支 出 決 算 額	差 引 残 額	備 考
246,799,143	246,799,143	0	

平成29年度ビルディング特別会計収支決算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

収入の部 (単位 円)

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 貸室料・共益費		114,095,086	115,020,000	△ 924,914	
	1. 貸室料・共益費	114,095,086	115,020,000	△ 924,914	1. 貸室料 68,898,899 2. 共益費 42,192,107 3. 倉庫料 3,004,080
2. 使用料		48,913,704	44,300,000	4,613,704	
	1. 会議室・設備使用料	48,913,704	44,300,000	4,613,704	1. 会議室使用料 42,837,859 2. 設備使用料 6,075,845
3. 駐車場収入		32,283,386	32,860,000	△ 576,614	
	1. 駐車場収入	32,283,386	32,860,000	△ 576,614	1. 月極駐車場収入 9,635,890 2. 時間貸駐車場収入 22,647,496
4. 雑収入		1,544,983	1,550,000	△ 5,017	
	1. 雑収入	1,544,983	1,550,000	△ 5,017	1. 自動販売機手数料 1,488,538 2. その他雑収入 56,445
5. 繰越額		23,940,516	25,000,000	△ 1,059,484	
	1. 繰越額	23,940,516	25,000,000	△ 1,059,484	
合 計		220,777,675	218,730,000	2,047,675	

支出の部

款	項 目	決 算 額	予 算 額	比較増・減 (△)	備 考
1. 維 持 費		84,945,122	99,830,000	△ 14,884,878	
	1. 電 力 使 用 料	6,928,094	8,450,000	△ 1,521,906	
	2. 水 道 使 用 料	1,854,882	2,110,000	△ 255,118	
	3. ガ ス 使 用 料	5,500,975	7,890,000	△ 2,389,025	
	4. 設 備 整 備 費	2,702,151	2,910,000	△ 207,849	1. 空調設備 1,352,553 2. 給排水衛生設備 338,472 3. その他設備 1,011,126
	5. 設 備 保 守 料	4,493,054	5,690,000	△ 1,196,946	1. エレベーター 3,135,510 2. 電話設備 300,720 3. 消防設備 750,600 4. その他設備 306,224
	6. 委 託 料	29,640,444	29,000,000	640,444	ビル管理委託料
	7. 保 険 料	936,422	1,350,000	△ 413,578	火災保険料等
	8. 公 課 分 担 金	24,364,037	25,160,000	△ 795,963	1. 消費税 16,229,907 2. 固定資産税 7,776,620 3. その他 357,510
	9. 営 繕 費	4,740,396	12,400,000	△ 7,659,604	1. 諸修繕費 4,366,116 2. 支所ビル修繕費 374,280
	10. そ の 他 管 理 費	3,784,667	4,870,000	△ 1,085,333	1. 通信回線費 1,195,692 2. 設備消耗品費 1,083,250 3. その他 リース料他 1,505,725

2. 駐車場運営費		9,750,686	9,070,000	680,686	
	1. 駐車場維持費	3,402,975	3,700,000	△ 297,025	駐車機器リース料、機械警備費等
	2. 駐車場管理費	3,664,981	2,500,000	1,164,981	清掃委託費、消耗品等、北側駐車場白線全面補修経費
	3. 公課分担金	2,682,730	2,870,000	△ 187,270	固定資産税、損害保険料等
3. 管理費		49,976,886	64,280,000	△ 14,303,114	
	1. 給与費	41,089,839	53,080,000	△ 11,990,161	
	(1) 俸給	26,541,015	36,510,000	△ 9,968,985	
	(2) 特別手当	10,871,610	11,720,000	△ 848,390	
	(3) 諸手当	3,677,214	4,850,000	△ 1,172,786	
	2. 福利厚生費	7,719,745	9,810,000	△ 2,090,255	
	(1) 社会保険料	6,613,056	8,410,000	△ 1,796,944	
	(2) 退職年金掛金	1,032,215	1,250,000	△ 217,785	
	(3) 福利厚生費	74,474	150,000	△ 75,526	
	3. 事務費	1,167,302	1,390,000	△ 222,698	
	(1) 通信費	259,582	310,000	△ 50,418	
	(2) 印刷費	267,840	310,000	△ 42,160	
	(3) 消耗品費	108,000	110,000	△ 2,000	
	(4) 旅費・交通費	278,880	400,000	△ 121,120	
	(5) 会議費	60,000	60,000	0	
	(6) 広告宣伝費	143,000	150,000	△ 7,000	
	(7) 慶弔費	50,000	50,000	0	
4. 退職給与引当金		3,000,000	3,000,000	0	
	1. 退職給与引当金	3,000,000	3,000,000	0	退職給与積立金特別会計へ繰入
5. 繰出金		0	0	0	
	1. 一般会計繰出金	0	0	0	

6. 雑 費		106,881	300,000	△	193,119	
	1. 雑 費	106,881	300,000	△	193,119	振込手数料他
7. 減価償却費		27,428,311	27,700,000	△	271,689	
	1. 減 価 償 却 費 等	27,428,311	27,700,000	△	271,689	資産計上（1階防災センター空調設備、屋外ゴミ分別保管庫） 当期除却費5円を含む
8. 予 備 費		0	150,000	△	150,000	
	1. 予 備 費	0	150,000	△	150,000	
9. 次年度繰越額		45,569,789	14,400,000		31,169,789	
	1. 次 年 度 繰 越 額	45,569,789	14,400,000		31,169,789	
合 計		220,777,675	218,730,000		2,047,675	

収入支出比較表

収 入 決 算 額	支 出 決 算 額	差 引 残 額	備 考
220,777,675	175,207,886	45,569,789	次年度繰越額



貸借対照表

ビルディング特別会計

平成30年3月31日現在

(単位 円)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
流動資産	372,113,066		流動負債	11,979,143	
現金	526,101		未払金	5,868,704	
預金	318,449,075	当座預金 7,193,159 普通預金 281,029,393 定期預金 30,226,523	前受金	6,110,439	貸室料、会議室使用料等
			仮受金	0	
有価証券	0		固定負債	28,835,271	敷金
商品	0		長期預り金	28,835,271	
未収金	7,960,406		固定財産	875,038,611	
仮払金	31,405,000		固定財産	875,038,611	
前払費用	13,772,484				
建設仮勘定	0		次年度繰越額	45,569,789	
有形固定資産	1,723,628,042		剰余金	45,569,789	
減価償却引当金	△ 1,135,129,240	588,498,802			
建物	801,090,467				
減価償却引当金	△ 621,247,365	179,843,102			
附属設備	321,841,932				
減価償却引当金	△ 277,841,943	43,999,989			

借 方			貸 方		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
構 築 物	63,177,663				
減価償却引当金	△ 60,528,064	2,649,599			
設 備	72,247,189				
減価償却引当金	△ 70,182,711	2,064,478			
什 器 備 品	100,072,878				
減価償却引当金	△ 98,408,245	1,664,633			
車 輜	6,920,915				
減価償却引当金	△ 6,920,912	3			
土 地	358,276,998	358,276,998			
無形固定資産	810,946				
電話加入権等		810,946			
ソフトウェア		0			
合 計	961,422,814		合 計	961,422,814	

## 平成 29 年度 財政調整基金特別会計収支決算書

自 平成29年 4月 1日  
至 平成30年 3月 31日

### 収入の部 (単位 円)

科 目	決 算 額	備 考
繰 入 金	8,600,000	一般会計剰余金の1/2を上限に繰入可能
預 金 利 息	2,426	
繰 越 額	41,610,723	
合 計	50,213,149	

### 支出の部

科 目	決 算 額	備 考
繰 出 金	0	
次 年 度 繰 越 額	50,213,149	
合 計	50,213,149	

### 収入支出比較表

収 入 決 算 額	支 出 決 算 額	差 引 残 額	備 考
50,213,149	0	50,213,149	次年度繰越額

貸 借 対 照 表  
財政調整基金特別会計

平成30年 3月31日現在  
(単位 円)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
( 資 産 の 部 )					
普 通 預 金	27,030,404		次 年 度 繰 越 額	50,213,149	
定 期 預 金	14,582,745				
未 収 金	8,600,000				
合 計	50,213,149		合 計	50,213,149	

平成29年度事業運営積立金特別会計収支決算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

収入の部 (単位 円)

科 目	決 算 額	備 考
繰 入 金	0	
預 金 利 息	68,374	
配 当 金	974,550	(株)岡山コンベンションセンター、(株)オービス、アクサ生命保険(株)、岡山空港ターミナル(株)
雑 収 入	0	
繰 越 額	449,339,513	
合 計	450,382,437	

支出の部

科 目	決 算 額	備 考
退 職 慰 労 金	0	
有 価 証 券 譲 渡 損	0	
雑 費	0	
繰 出 金	0	
次 年 度 繰 越 額	450,382,437	
合 計	450,382,437	

収入支出比較表

収 入 決 算 額	支 出 決 算 額	差 引 残 額	備 考
450,382,437	0	450,382,437	次年度繰越額

# 貸 借 対 照 表

事業運営積立金特別会計

平成30年3月31日現在

(単位 円)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
預 金	388,862,753	普通預金 89,534,052	次 年 度 繰 越 額	450,382,437	
		定期預金 299,328,701			
出 資 金	61,519,684				
合 計	450,382,437		合 計	450,382,437	

平成29年度退職給与積立金特別会計収支決算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

収入の部 (単位 円)

科 目	決 算 額	備 考
当 年 度 繰 入 金	26,000,000	一 般 会 計 3,400,000 法定台帳関係費特別会計 800,000 小規模事業特別会計 10,000,000 共済事業特別会計 8,800,000 ビルディング特別会計 3,000,000
利 息	17,240	預金利息、厚生貸付金利息
繰 越 額	155,746,169	
合 計	181,763,409	

支出の部

科 目	決 算 額	備 考
退 職 給 与 金	8,193,000	4名分
合 計	8,193,000	

収入支出比較表

収 入 決 算 額	支 出 決 算 額	差 引 残 額	備 考
181,763,409	8,193,000	173,570,409	次年度繰越額

# 貸 借 対 照 表

退職給与積立金特別会計

平成30年 3月31日現在

(単位 円)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
( 資 産 の 部 )			( 負 債 の 部 )		
退職給与引当預金	173,170,409		退職給与積立金	173,570,409	
普通預金	151,170,409				
定期預金	5,000,000				
未収金	17,000,000				
その他資産					
厚生貸付金	400,000				
合 計	173,570,409		合 計	173,570,409	



## 合 計 貸 借 対 照 表

平成30年 3月31日現在

(単位 円)

借 方			貸 方		
科 目	金 額		科 目	金 額	
流 動 資 産	946,371,808		流 動 負 債	110,667,331	
固 定 資 産	1,493,372,821		固 定 負 債	202,405,680	
有 形 固 定 資 産	1,265,141,782		正 味 財 産	2,126,671,618	
そ の 他 固 定 資 産	228,231,039		固 定 財 産	1,551,681,591	
			積 立 金	500,595,586	
			剰 余 金	74,394,441	
合 計	2,439,744,629		合 計	2,439,744,629	

# 財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位 円)

勘 定 科 目	摘 要	金 額
〔資産の部〕		
<b>流 動 資 産</b>		
現 金 及 び 預 金		
	現金手元有高	1,708,121
	当座預金	12,422,060
	普通預金	527,378,164
	定期預金	344,137,969
未 収 金	貸室料・会議室使用料	2,385,056
	委託補助金ほか	35,880,524
前 払 金	郵送料、消費税中間納付、ビル損害賠償保険料他	16,296,863
立 替 金	外郭団体等立替金	4,758,051
仮 払 金	駐車場精算機内釣銭他	1,405,000
<b>固 定 資 産</b>		
(有形固定資産)		
建 物	取得価額	801,090,467
	償却累計額 △	621,247,365
		179,843,102
附 属 設 備	取得価額	321,841,932
	償却累計額 △	277,841,943
		43,999,989
構 築 物	駐車場他	63,177,663
	償却累計額 △	60,528,064
		2,649,599
設 備	冷暖房設備他	72,247,189
	償却累計額 △	70,182,711
		2,064,478
什 器 備 品	机・椅子他	100,072,878
	償却累計額 △	98,408,245
		1,664,633



# 監 査 意 見 書

岡山商工会議所平成29年度収支決算書について関係書類、諸帳簿を監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを認めます。

平成30年6月1日

岡 山 商 工 会 議 所

会 頭 岡 崎 彬 殿

監 事 江 尻 博 子 ⑩

監 事 勝 矢 雅 一 ⑩

監 事 岸 本 三 七 吉 ⑩

